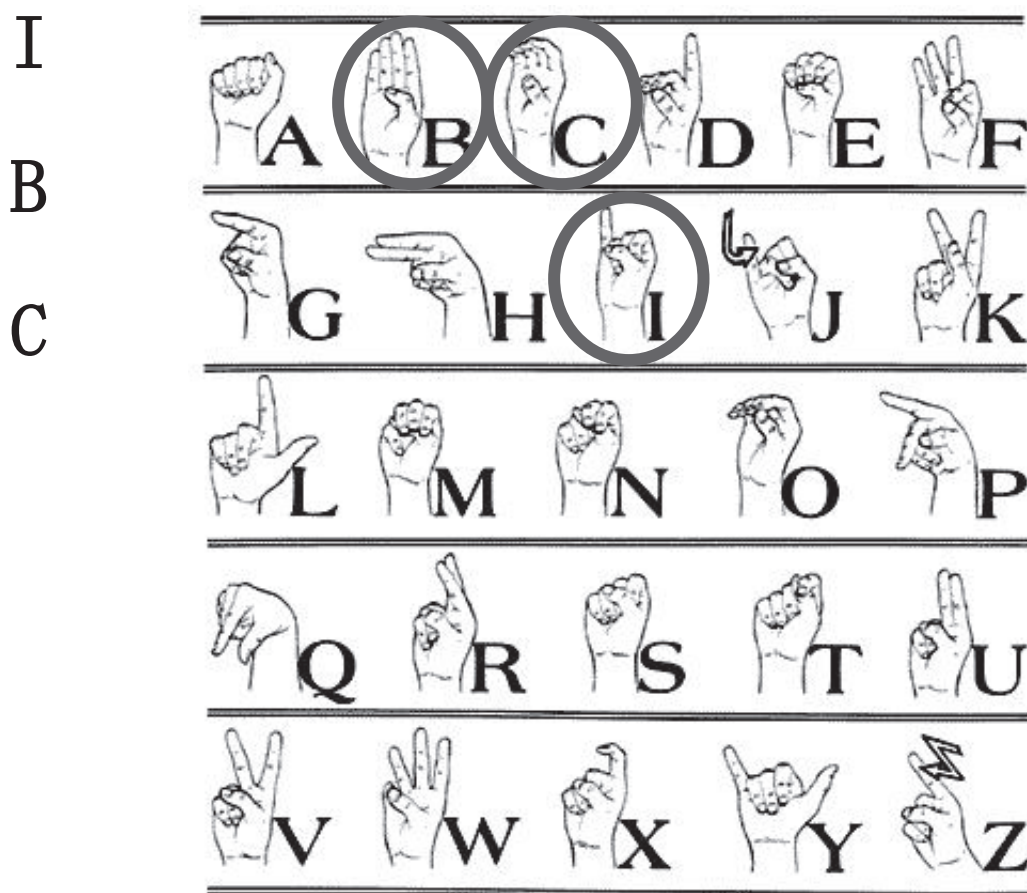


# 2023年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ

## <目次>

共通	.....	P1~23
ホテル・ブライダル	.....	P25~49
エアライン	.....	P51~77
鉄道	.....	P79~104
国際ホテルマネジメント	.....	P105~143
国際ビジネス	.....	P145~171
夜間総合観光	.....	P173~184

# 共通

学年	科目名	クラス
1	TOEIC I	EQDY①
1	TOEIC II	EQDY①
1	英検対策 I・II	EQDY②～⑦
1	ホテル英会話	ES
1	コンピュータ	E、Q、Y
1	ビジネスマナー	Q、D、N、Y
1	SPI言語対策	QD
1	SPI非言語対策	QD
1	貿易実務	QD
1	ホテル総論	S、Y
1、2	観光英語	OD
1、2	西鉄グループ未来塾	E2C
1、2	選択TOEIC	OMQ、AEQ
1、2、3	韓国語	AT、Q、Z、N
1、2、3	中国語	AT、Q、M
1、2、3	フランス語	AT
2	フロントオフィス	AU
2	SPI言語対策	OC
2	SPI非言語対策	OC
2	サービス接遇検定対策	MZ
2	TOEIC	OZ①
2	英検対策	OZ②～④

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC I			クラス	EQDY①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 9					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く			
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる			
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題			
4回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く			
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題			
7回	Part5(2)		名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題			
8回	Part5(4)		形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題			
9回	Part5(6)		前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題			
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く			
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む			
12回	Part7(3)		クーポン、招待状、メールを読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く			
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す			
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ 広告、チラシ、レビュー 要約力を身につける			
15回	応用問題		ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解答法 「位置選択問題」の解き方			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・国際ビジネス・夜間総合観光科
科目名	TOEIC II			クラス	EDQY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 9				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part1	Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題			
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答			
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題			
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む			
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く			
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する			
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 練習問題			
8回	Part5(5)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する			
9回	Part5(7)	主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題			
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題			
11回	Part7(2)	メモ・オンラインチャット・記事を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む			
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ 手紙と広告を読む 練習問題			
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ Eメールと申し込みフォームを読む 練習問題			
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ オンラインの投稿、Eメール、ウェブページを読む 要約力を身につける			
15回	まとめと復習	TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル、エアライン、国際ビジネス、夜間総合観光科
科目名	英検対策 I & II			クラス	EQDY
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、脇谷奈々、岩永弘輝、大神香寿沙			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説、英作文、二次試験対策 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	英検2023年度第1回に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2023年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)/単語は各クラスで対応				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	各2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	2022年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	2022年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	2022年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	2022年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2022年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	2022年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	2022年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
8回	2023年度第1回検定 解答解説	2023年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
9回	2022年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	2022年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	2021年度第3回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	2021年度第3回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	2021年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	2021年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題			
15回	期末試験直前対策	前期授業総括 前期総復習 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科・ホテルブライダル科
科目名	ホテル英会話			クラス	S・E
担当講師(フルネーム)	日高郁子・中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で対応できるようになる				
使用テキスト	ホテル英会話II 応用編				
成績評価方法	・試験50% 会話テスト・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法 英語で自己紹介 ホテルスタッフとしての英語で挨拶			
2回	Lesson 1 Reservation	宿泊予約の手順と英語表現 * 暦・月・週・時間・電話番号の英語表現			
3回	Lesson 1 Reservation	D1 第三者からの予約 * 英語の敬称			
4回	Lesson 1 Reservation	D2 予約の変更 D3 取り消し D4 満室の対応			
5回	Lesson 2 Check in	Lesson 1 復習テスト チェックインの手順と英語表現 * 客室設備、備品の英語表現			
6回	Lesson 2 Check in	D1 延泊の申し入れ D2 ウォークイン D3 ルームチェンジ			
7回	Lesson 2 Check in	D4 カードキーの説明 D5 障がいをお持ちの方のチェックイン * ベルマンのチェックインの英語表現			
8回	Lesson 3 Hotel service	Lesson 2 復習テスト D3&D4 メツツセージ			
9回	Lesson 3 Hotel service	D5&D6 セーフティデポジットボックスの受け渡し			
10回	Lesson 3 Hotel service	D7、D8&D9 外貨両替 * 数字の英語表現			
11回	Lesson 3 Hotel service	D10\$D11 遺失物の取り扱い D12 日本の土産			
12回	Lesson 4 Tour Information	Lesson 3 復習テスト * 館内、館外道案内の英語表現			
13回	Lesson 4 Tour Information	Dd1&D2 観光案内			
14回	Lesson 5 Check out	Lesson 4 復習テスト チェックアウトの手順と英語表現			
15回	Lesson 5 Check out	D1クレジットカードでの支払い			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・エアライン・夜間総合観光 科	
科目名	コンピュータ			クラス	E Q Y	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	IT基礎	OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
11回	前期期末試験	前期期末試験実施				
12回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
13回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
14回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
15回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ) 学期内小テスト実施				



対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン・鉄道・夜間総合観光科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	QDNY	
担当講師(フルネーム)	榎本美和子 田中友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2023年度版					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法				
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ				
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第2章 仕事の基本となる8つの意識				
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、工作中的のマナー				
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談				
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性				
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客対応と訪問の基本マナー				
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い				
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話対応				
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方				
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用				
15回	期末試験対策	期末試験前対策 前期授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI言語対策			クラス	QD	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策事業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	内定ナビ！時事＆一般常識(高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	目指せ「漢検2級」		授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定模擬試験(現在取得している級より上の級の問題にチャレンジします)			
2回	地理基礎知識(1)		都道府県庁所在地を確認 日本の国土に関する基礎知識			
3回	地理基礎知識(2)		主要国の首都を確認 世界の国土に関する基礎知識			
4回	地理基礎知識(3)		地理学・地図に関する基礎知識 時事問題で扱われる国や地域			
5回	国際(1)		国際連合のしくみ 新型コロナウイルスの感染対策で奔走しているWHOなど、国連の専門機関とその役割を学びます			
6回	国際(2)		EU及び地域協定 世界の平和・発展には国同士の付き合いが大切です。世界の地域協定を学びます			
7回	国際(3)		主要国首脳会議(G7サミット) 年1度開かれるG7サミットについて学び、主要国の首脳をおぼえます。 今年のG7サミットは広島で開催されます。			
8回	政治(1)		日本国憲法の基礎知識 三権分立			
9回	政治(2)		国会・内閣のしくみ 内閣と省庁			
10回	政治(3)		裁判所のしくみ 裁判員制度			
11回	政治(4)		地方自治の役割			
12回	経済(1)		経済の三主体			
13回	経済(2)		日本銀行の役割			
14回	経済(3)		為替相場、主要国の通貨単位 経済用語の基礎知識			
15回	前期のまとめ		前期の復習 夏休みの課題説明			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	クラス	QD
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	SPIの説明、計算演習				
2回	四則計算1	小数、分数から一次方程式までの計算演習				
3回	四則計算2	計算演習の応用				
4回	割合の問題	百分率や比を使った問題を解く				
5回	金銭の問題1	清算を求める問題				
6回	金銭の問題2	損益を求める問題を解く①				
7回	金銭の問題3	損益を求める問題を解く②				
8回	速度算1	速さを求める基本計算を確認する 単位を変えた時の計算を正確に行う				
9回	速度算2	速度算の標準的な問題を解く 求める時間の単位に変えて計算できる力をつける				
10回	速度算3	速度算の応用問題を解く 単位に合わせて式を立てる				
11回	代入法の問題	表中のA、B、C、D、Eにあたる数を代入して式の答えを求める				
12回	濃度算1	食塩水の濃度の基本問題を解く 公式を理解する				
13回	濃度算2	濃度算の標準的な問題を解く				
14回	濃度算3	濃度算の応用問題を解く				
15回	前期のまとめ	前期のまとめ、復習して知識の定着を目指す				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン・国際ビジネス 科	
科目名	貿易実務			クラス	Q, D	
担当講師(フルネーム)	中村秀茂			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	貿易実務の基本を学んでいきます。貿易実務英語に関しては、プリント等で学習していきます。			授業形態	講義	
到達目標	貿易実務検定C級の合格を目指す					
使用テキスト	最新貿易実務ベーシックマニュアル(改訂4版MHJ出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	貿易に関するガイドライン	① 貿易とは(貿易と聞いて各自が持たれているイメージは?) ② 日本における貿易の歴史 ③ 貿易と私たち日常生活の関わり				
2回	国際貿易体制の基礎知識	① 日本の貿易の現状 ② 国際貿易体制とGATT				
3回	国際貿易体制の基礎知識	③ WTOと日本の貿易関連法 ④ 貿易と環境 ⑤ AEO制度				
4回	貿易取引の全体像の理解	① 貿易取引と国内取引の相違点 ② 貿易取引の流れ ③ 貿易取引と関係機関 ④ いろいろな貿易取引				
5回	市場調査から契約の成立まで	① 市場調査と取引先の発見 ② 取引交渉 ③ 信用調査 ④ 契約書の基礎知識				
6回	信用状の基礎知識	① 信用状の基礎知識 ② 輸入信用状の実務				
7回	信用状の基礎知識	③ 輸出信用状の実務 ④ 信用状条件の変更と不一致				
8回	品質条件・数量条件等	① 品質条件 ② 数量条件 ③ 貨物の受渡条件 ④ 価格条件				
9回	インコタームズの基礎知識	① インコタームズとは ② インコタームズによる貿易条件 ③ 輸送方法とインコタームズ				
10回	貿易運送	① 輸送形態の種類 ② 海上輸送				
11回	貿易運送	③ 航空輸送 ④ 国際複合一貫輸送				
12回	1回～5回までの復習	貿易に関するガイドライン、国際貿易体制の基礎知識、貿易取引の全体像の理解、市場調査から契約の成立までのおさらいとポイント				
13回	6回～11回までの復習	信用状の基礎知識、品質条件・数量条件等、インコタームズの基礎知識、貿易運送のおさらいとポイント				
14回	過去問	貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。				
15回	前期期末試験	期末試験の実施、および解答例の解説				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科・夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論			クラス	S,Y	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内外のホテル産業の歴史と変遷 ホテル各部門の業務内容			授業形態	講義	
到達目標	ホテル総論ビジネスの基本構造を理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論					
成績評価方法	・試験50% 提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 第1章ホテルとは	授業内容、評価方法 世界のトップ10ホテル				
2回	第1章ホテルとは	法律から見たホテル ホテルの語源 ホテルの加盟する団体				
3回	第2章ホテルの分類	機能別ホテルの分類 グレード別ホテルの分類 資本形態別ホテルの分類				
4回	第2章ホテルの分類	経営の形態別によるホテルの分類				
5回	第2章ホテルの分類	経営の形態別によるホテルの分類				
6回	第3章ホテルの発達の歴史	ヨーロッパの宿泊施設の始まり				
7回	第3章ホテルの発達の歴史	ヨーロッパのホテル発展史				
8回	第3章ホテルの発達の歴史	アメリカのホテル発展史(1)				
9回	第3章ホテルの発達の歴史	アメリカのホテル発展史(2)				
10回	第3章ホテルの発達の歴史	多様・高度化する現代のホテル経営				
11回	第3章ホテルの発達の歴史	アジアの近代史ホテル				
12回	第3章ホテルの発達の歴史	外国ホテル企業との提携				
13回	第3章ホテルの発達の歴史	日本のホテル歴史(1)				
14回	第3章ホテルの発達の歴史	日本のホテル歴史(2)				
15回	前期まとめ					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	エアライン・国際ビジネス科	
科目名	観光英語			クラス	OD	
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。 プロとして必要な英語コミュニケーションを楽しみながら学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit1(1)	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 旅行の情報を英語で伝える ツアーの案内				
2回	Unit1(2)	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit2(1)	ツアーの予約を受ける お客様の情報を入手する 支払いの手続きをする				
4回	Unit2(2)	Dialogue at a Travel Agency Pair Speaking Practice Role Play				
5回	Unit1(3) Unit2(3)	パンフレットを読む(p16) キャンセル規約を読む(p22) 質問に答える				
6回	Unit5(1)	時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
7回	Unit5(2)	Dialogue at an Ailine Office Pair Speaking Practice Role Play				
8回	Unit5(3)	予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える				
9回	Unit6(1)	時差の知識 フライトの情報、予約の確認や変更についての電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions				
10回	Unit6(2)	Dialogue at an Ailine Office Pair Speaking Practice Role Play				
11回	Unit6(3)	E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える				
12回	Unit7(1)	空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを確認する Vocabulary and Useful Expressions				
13回	Unit7(2)	Dialogue at the Ailine Check-in Counter Pair Speaking Practice Role Play				
14回	Unit7(3)	荷物の許容範囲に関する説明書を読む オンラインチェックインの方法の説明を読む 質問に答える				
15回	まとめと復習	前期の復習 Vocabulary and Useful Expressionsのまとめ 基本的な会話表現をマスターする				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科(ホテル3年グローバルコース1年)・国際ビジネス科2年
科目名	西鉄グループ未来塾			クラス	E / C
担当講師(フルネーム)	西鉄グループ各企業・講師 (伊藤 潤・友納 真・藤田 祐子)			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	西鉄グループの企業から様々な業種業界のプロによる講話 幅広い業種について学び、社会経済や企業への理解を深める			授業形態	講義
到達目標	西鉄グループの業種業界を学び、活躍できる人材を目指す				
使用テキスト	なし(講話によりプリント配布)				
成績評価方法	・提出物(レポート等)70% 平常点(出席状況・受講態度等)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
テーマ		授業内容			
1回 4/12(水)	オリエンテーション	西鉄グループとは グループ企業・業種紹介 講話スケジュール確認			
2回 4/19(水)	講話①	企業:西日本鉄道㈱ 広報・CS推進部 テーマ:広報の役割と業務 ※以下、講話テーマは変更になることもあります			
3回 4/26(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
4回 5/10(水)	講話②	企業:西日本鉄道㈱ 鉄道事業本部 テーマ:西鉄電車の歴史・地域での役割と将来			
5回 5/17(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
6回 5/24(水)	講話③	企業:西日本鉄道㈱ 自動車事業本部 テーマ:バス輸送の福岡での役割と未来			
7回 5/31(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
8回 6/7(水)	講話④	企業:西鉄エアサービス㈱ テーマ:福岡空港の役割・航空業界の今後			
9回 6/14(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
10回 6/21(水)	講話⑤	企業:西鉄旅行㈱ テーマ:スポーツに強い西鉄旅行			
11回 6/28(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
12回 7/5(水)	講話⑥	企業:西日本鉄道㈱ 国際物流事業本部 テーマ:国際物流の役割と現在			
13回 7/12(水)	レポート作成・企業研究	前回の振り返りレポート作成 次回の企業研究			
14回 7/19(水)	講和⑦	企業:西日本鉄道㈱ 国際物流事業本部 テーマ:海外支店勤務経験について			
15回 7/26(水)	まとめ	前期のまとめ			

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	エアライン、鉄道、ホテルブライダル1年、エアライン2年
科目名	TOEIC選択			クラス	OMQEA
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。				
使用テキスト	TOEIC L&Rテスト 書き込みドリル スコア500 全パート入門編 / その他プリント等				
成績評価方法	R認定評価なので成績評価はしませんが、選択授業ですのでやる気のある学生のみ参加してほしいです。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト			
2回	Part5品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 (Day 1&7)			
3回	Part5時制、能動態、受動態 &Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5 (Day 2,3,8)			
4回	Part5代名詞・関係代名詞 &Part2	代名詞、関係代名詞(Part5) 依頼、提案、勧誘、申し出(Part2) (Day 4,9)			
5回	Part5接続詞・前置詞	接続詞、前置詞(Part5) Part1&2の復習 (Day 5, 10)			
6回	Part5復習&Part3	Part3の解き方 Part5のこれまでの復習 (Day11,12)			
7回	Part6&Part3	Part6 時制、代名詞、語彙問題 Part3(電話) (Day13,28)			
8回	Part4&Part7	Part4(アナウンス、ツアー) Part7(長文の解き方) (Day16,21)			
9回	Part3&Part7	Part3(オフィスでの会話) Part7(広告) (Day14,15,22)			
10回	Part4&Part6	Part4(ラジオ放送、宣伝) Part6(つなぎ言葉、文章の挿入問題) (Day17,29)			
11回	Part4&7	Part4(留守番電話) Part7(チャット) (Day18,23)			
12回	Part4&7	Part4(トーク、スピーチ、会議の一部) Part7(手紙、e-mail) (Day19,24)			
13回	Part3&4の復習 Part7	Part3&4の復習 Part7(ダブルパッセージ) (Day20,25)			
14回	Part7の復習	Part7(トリプルパッセージ) Part7復習 (Day26,27)			
15回	Part6復習 前期まとめ	Part6(復習) 前期総復習 (Day30)			



対象学年	1・3年共通	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル・国際ホテルマネジメント・エアライン・夜間総合観光・鉄道
科目名	韓国語			クラス	AT. Q.Z. N
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	文字と発音 I	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。			
2回	文字と発音 II	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する			
3回	文字と発音 III	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。			
4回	文字と発音 IV	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
5回	文字と発音 V	初声(激音・濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
6回	終声(パッチム1)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
7回	終声(パッチム2)	二重パッチムの発音の仕方を覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
8回	ハングル表記と教室用語	ハングルで自分の名前を書く練習をする。 授業中、毎回使う用語とフレーズを覚える。 発音と読み書き練習をする。			
9回	体言文 I	初対面の挨拶表現を練習し、覚える。 発音の規則(鼻音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 「～です、～ですか」と短文を作って会話練習をする。			
10回	自己紹介	韓国語で簡単な自己紹介のフレーズを覚え、となりの人と韓国語で自己紹介をする。 クラスメートと会話練習をする。			
11回	体言文 II	発音の規則(激音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 短文を作って練習をする。 クラスメートと会話練習をする。			
12回	体言の否定文	「～ではありません」の表現を覚える。 否定文を作って練習をする。 日本語と異なる助詞を使う表現を覚える。			
13回	漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようになる。 助数詞を覚える。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。			
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようになる。 映画のセリフを聞いて聞き取れた単語をハングルでメモしてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。			
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科、国際ホテルマネジメント科、鉄道科、エアライン科	
科目名	中国語			クラス	ATMQ	
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	無	
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。					
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50%(発表+授業態度+欠席回数等) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	中国のについての理解	DVDを鑑賞し、中国への理解に関する感想文を書く				
2回	中国一般事情	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶				
3回	中国語の発音	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)				
4回	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声+第3声→第2声+第3声などの練習				
5回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文				
6回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么”・”谁”)				
7回	トレーニング2 第3課キャンパスで	6. 省略疑問文 ◇人の呼び方 7. 指示代名詞				
8回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	8. 形容詞述語文 9. ”～的”				
9回	トレーニング4	10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有”				
10回	復習1 自己紹介	12. 反復疑問文 13. 数 詞				
11回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”				
12回	トレーニング5	16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞				
13回	第6課王先生の研究室	18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)				
14回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”				
15回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい				

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテルプライダル科2年、国際ホテルマネジメント科3年
科目名	フランス語			クラス	AT
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有
授業概要(内容)	フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。			授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。				
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験					
	テーマ	授業内容			
1回	Bonjour!	授業の流れの説明した上でフランスの文化等についてQ&A Bonjour! Je suis Nicolas. Je suis Français. J'aime le Japon. Etre動詞 / Pascal 1			
2回	自己紹介	自己紹介 J'habite à Fukuoka. Je travaille dans une école. -ER動詞 / Pascal 2			
3回	持っているもの・気分	私は何々を持ちます。私はお腹空いた。 J'ai une voiture. J'ai faim. Avoir動詞 / Pascal 3			
4回	趣味について	～が好きです。～好きですか？ J'aime la musique. Tu aimes la musique? Aimer動詞 / Pascal 4 / ミニテスト			
5回	パリ、フランスへ	パリに行きたいです。～見に行きたいです。 Vouloir動詞 パリ・フランスについて何を興味あるかを話す。 Je veux aller à Paris. Je veux visiter le Louvre. テスト1回～4回			
6回	人の話	彼・彼女はだれですか？ / Qui c'est ? 仕事を覚えるためロールプレイ Pascal 5			
7回	誘い方	～しませんか？ Tu ne veux pas ... ? ～出来ますか？ Tu peux ... ? Pouvoir動詞 / Pascal 6			
8回	気持ち	お元気ですか？ Je vais bien. J'ai faim. J'ai soif. Aller 動詞 (Avoir・Etre動詞の復習) Pascal 7			
9回	場所や天気	～はどこですか？ 前・後ろ・隣など。 Où est ~ ? C'est devant, derrière, à Faire 動詞 Pascal 8			
10回	家族・形容詞	5回～9回 テスト 大城・小さい・男性名詞・女性名詞 Pascal 9			
11回	数字・歳・時間	何歳ですか？いくらですか？ Tu as quel qge? C'est combien? 質問の作り方 Pascal 10			
12回	質問	どこ・いくらの復習・ いつ・どうやって・なぜ・何時 -IR動詞 (Finir, Partir...) Pascal 11 + ミニテスト			
13回	質問ロールプレイ	皆でロールプレイ Comment tu t'appelles? Qu'est-ce que tu aimes? Pascal 12 + 試験の練習			
14回	試験	授業内で試験			
15回	パリを感じる	映画で文化を勉強する: Amélie			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル, 国際ホテルマネジメント
科目名	フロント・オフィス			クラス	A,U
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィス業務を解説			授業形態	講義
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する				
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編				
成績評価方法	・試験50% 実技、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務			
2回	客室の種類	客室タイプ 料金シルテム			
3回	リザーベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネジメント			
4回	リザーベーション業務	宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要			
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ			
6回	リザーベーション業務	宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本      ②キャンセルと変更 ③リザーベーションカード作製      ④キャンセルチャージ			
7回	リザーベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務			
8回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ①			
9回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ②			
10回	リザーベーション業務	予約変更、キャンセル演習			
11回	リザーベーション業務	予約、顧客情報更新			
12回	レセプション業務	レセプションサービス ルーム・アサイメント 接客マナー			
13回	レセプション業務	チェーンの手順 レジストレーションカード記入方法			
14回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法			
15回	前期まとめ	前期項目の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI言語対策			クラス	OC	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	毎回実践問題に取り組むことで、苦手分野や不足知識を確認します			授業形態	講義	
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できる実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2024 最新時事用語 & 一般常識					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	合格への近道はない	合格への近道はありません。学習量が点数に比例します。 ・ 授業の進め方、評価方法について ・ 実践テストの解答と解説				
2回	必ず復習する	問題を解きっぱなしになっていませんか。復習して暗記しない限り、点数は上がりません。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
3回	漢字は大切	就職試験でも社会人になっても漢字は不可欠。漢検2級レベルを目指しましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
4回	情報の分析	先輩の受験報告書を活用していますか。志望している会社の過去問を分析しましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
5回	初めてに慌てない	適性検査で見慣れない問題が出ることがあります。例題をよく見て、冷静に判断しましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
6回	苦手の克服	誰にでも苦手分野があります。諦めないで苦手を克服しましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
7回	得意を伸ばす	得意分野は何ですか。誰にも負けないぐらいの力をつけましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
8回	時間配分	解答時間は足りていますか。全体量を見て、時間配分を考えてから解きましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
9回	みんなができる問題	みんなができる問題を解けないと合格への道は遠のきます。平易な問題は確実に点を取りましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
10回	ニュースを気にする	ニュースを毎日チェックしていますか。時事問題も就職試験に欠かせません。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
11回	ニュースを読む	時事問題で扱われている国や地域について知識を深めましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
12回	自分の意見をもつ	時事問題について自分の意見を言えるように準備しましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
13回	他人の意見を聞く	新聞のコラムや社説を読んで、他人の意見にも耳を傾けましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
14回	目標を持つ	目標は何ですか。何を目標に勉強しているか再度考えてみましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				
15回	社会人へのスタート	この回でSPI対策の授業は終わりです。しっかり目標を見据え、計画的に勉強を続けましょう。 ・ 実践テストの解答と解説 ・ 適性検査、一般常識一問一答テスト				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン・国際ビジネス科
科目名	SPI非言語対策			クラス	OC
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。				
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)				
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Webtテスト対策1		WEBテスト(玉手箱) 計算問題中心の四則逆算、図表の読み取り問題を解く		
2回	Webテスト対策2		WEBテスト(玉手箱) 四則逆算の応用問題、表の空欄の読み取り問題を解く		
3回	確率の問題1		確率とはある条件下で事象が起こる割合をもとめるものです。基本問題を解く		
4回	確率の問題2		確率の標準問題から応用問題を解く		
5回	金銭に関する問題		清算を求める問題、分割を求める問題を解く		
6回	割合と比		割合や比を使って問題を解く		
7回	推論1		推論(正誤)(位置)の問題を解く		
8回	推論2 テスト		推論(順序)(平均)の問題を解く テスト		
9回	資料の読み取り問題1		表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける		
10回	資料の読み取り問題2		グラフから変化の傾向をつかみ項目ごとに丁寧に計算する		
11回	図形		面積や体積の基礎から応用問題を解く		
12回	物の流れと比率		表を読み取り問題を解く		
13回	命題		対偶や三段論法を理解し問題を解く		
14回	装置と回路		関係性や法則を正しくとらえ問題を解く		
15回	後期のまとめ		後期授業のまとめの演習問題を解き、復習、知識の定着を目指す		

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道・夜間総合観光科
科目名	サービス接客検定			クラス	MZ
担当講師(フルネーム)	榎本美和子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	サービス検定を学び、社会人になるための準備をする			授業形態	講義
到達目標	サービス検定2級合格				
使用テキスト	サービス検定1-2級実問題集				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	サービス接客検定とは		・サービス接客検定について(必要性、検定取得のメリット) ・顧客心理、対応の仕方、言葉遣い、立ち居振る舞いを学ぶ ・評価方法、授業の進め方について		
2回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題) (敬語豆テスト)		
4回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(揭示問題) (敬語豆テスト)		
5回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(揭示問題) (敬語豆テスト)		
6回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題) (敬語豆テスト)		
7回	過去問題解答		模擬試験		
8回	過去問題解答		前回の模擬試験の結果により、苦手問題を演習		
9回	検定の答え合わせ		解答速報で自己採点をする		
10回	社会人としての心構え		ケース問題を使って学ぶ ★ディズニーランドの感動のおもてなしとは		
11回	社会人としての心構え		ケース問題を使って学ぶ ★鉄道・旅行会社・ホテルの感動のおもてなしとは		
12回	社会人としての心構え		敬語問題を使って学ぶ ・お客様、上司に対する敬語、ロープレ ・電話応対、ロープレ		
13回	社会人としての心構え		社会人のマナー講座 ・指示の受け方、報告の仕方、ロープレ ・有給休暇取得時のマナー		
14回	社会人としての心構え		好感のもたれる新入社員の自己紹介、座学→ロープレ		
15回	期末試験対策		期末試験に向けて復習		

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC			クラス	OZ①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れる。聴解力、語彙力、読解力を強化する。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集9					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Part1	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法の説明) TOEICテストの説明 Part1の攻略 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ				
2回	Part2(1)	Part2の攻略 WH疑問文 YES/NO疑問文の応答 付加疑問文の応答				
3回	Part2(2)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 平叙文の応答 練習問題				
4回	Part3(1)	Part3の攻略 設問を先に読み、設問の意味を単純化する 全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける				
5回	Part3(2)	図・イラスト問題を攻略する 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 選択肢を読む				
6回	Part4(1)	Part4の攻略 設問を先読みする 場所を問う問題を解く				
7回	Part4(2)	職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く 練習問題				
8回	Part5(1)	Part5の攻略 品詞問題の解き方を学ぶ 名詞、形容詞、副詞の練習問題				
9回	Part5(2)	動詞の形と役割を理解する 準動詞の形と役割を理解する 練習問題				
10回	Part5(3)	態(能動態と受動態) 分詞(現在分詞と過去分詞) 練習問題				
11回	Part5(4)	つなぎ言葉(前置詞、接続詞) 代名詞 練習問題				
12回	Part6	Part6の攻略 文法問題・語彙問題を解く 文挿入問題の解き方を学ぶ				
13回	Part7(1)	Part7の攻略 メール・お知らせ・メッセージ・記事・メモを読む 時間を管理する				
14回	Part7(2)	ダブルパッセージ・トリプルパッセージ 広告・Eメール・手紙・ウェブページ 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す				
15回	まとめと復習	TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法の確認				



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科、夜間総合観光科
科目名	英検対策			クラス	OZ
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希			実務経験	有
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説、英作文、二次試験対策 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	英検2023年度第1回に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2023年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)/単語は各クラスで対応				
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	2022年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	2022年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	2022年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	2022年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2022年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	2022年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	2022年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
8回	2023年度第1回検定 解答解説	2023年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
9回	2022年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	2022年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	2021年度第3回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	2021年度第3回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	2021年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	2021年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題			
15回	期末試験直前対策	前期授業総括 前期総復習 期末試験対策			



# ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	フロントサービス
1	ホテル総論
1	ホテル・ブライダル業界研究
1	ビジネスマナー
1	就職活動講座
1	和のサービス
1	ブライダル総論
1	ブライダルセールス
1	ペン字
1	オンライン英会話
1	総合英語
2	ホテルマネジメント
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	web広告戦略
2	HRS対策（筆記）
2	HRS対策（実技）
2	面接対策
2	就職活動講座
2	SPI言語対策
2	SPI非言語対策
2	セレモニープロデュースⅠ
2	セレモニープロデュースⅡ
2 選択	英語面接対策

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストラン&バンケットサービス			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング			
2回	料飲部門の概要		レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス			
3回	フランス料理①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践			
4回	フランス料理②		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う			
5回	フランス料理③		グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス			
6回	フランス料理④		レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践			
7回	その他の西洋料理		イタリア料理を知る トレーサービス復習			
8回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
9回	ドリンク②		ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
10回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践			
11回	日本料理①		会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践			
12回	日本料理②		箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お銚子の扱い方			
13回	期末試験課題発表		期末試験の課題を発表 練習			
14回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う			
15回	前期まとめ		前期のおさらい 実技の復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	水田 勇太			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	シラバス説明		前期講義概要、バー・ラウンジについて、ホスピタリティーとは			
2回	酒類の定義と分類		酒類の詳細			
3回	ワインの基礎知識		ワインの歴史、酒類			
4回	ワイン用ブドウについて		ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について			
5回	スティルワインについて		スティルワインとは？ 醸造について			
6回	ワイン用ブドウ品種		ワイン用ブドウの種類と特徴。 ヴィンテージチャートの見方。			
7回	フランスワインについて		フランスワイン概要、主要産地の特徴			
8回	フランスワインについて		フランスワイン概要、主要産地の特徴			
9回	イタリア、ドイツワイン		イタリア、ドイツワインの特徴			
10回	その他ワイン産地		アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴			
11回	ワインと料理の相性		ソムリエの役割、マリアージュ、ペアリングについて			
12回	ワインサービス実技		プレゼン、抜栓の練習			
13回	ワインサービス実技		スパークリング、白、赤ワインのサーブ。 ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について			
14回	ワインサービス実技		ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験			
15回	前期まとめ		解答、復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロント・サービス			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル業界での勤務経験のある教員がホテルでの基本的な知識を指導			授業形態	講義	
到達目標	フロント・サービスとしての基本的な知識と技術を習得する					
使用テキスト	宿泊II フロント・サービス編 ウイネット					
成績評価方法	・試験50% 実技・平常点50%			単位数	2	
期末試験	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 △授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業スケジュール説明 成績評価説明 世界のホテル				
2回	第1章 宿泊部門の業務	組織と業務 フロント・サービスとは				
3回	第1章 宿泊部門の業務	フロント・サービスとはスタッフの基本 各種施設				
4回	第2章ドアマン	ドアマン業務の概要 お客さまの送迎				
5回	第2章ドアマン	玄関周辺での業務				
6回	第2章ドアマン	バレーサービス ドアマンの案内業務				
7回	第3章ベルマン	ベルマンとは				
8回	第3章ベルマン	接客サービスの種類				
9回	第3章ベルマン	ロビー管理				
10回	第3章ベルマン	その他の業務				
11回	第3章ベルマン	演習～挨拶から客室までの案内				
12回	第4章ベルマン	演習～バケッジダウンとお見送り				
13回	第5章クローク	クローク業務とは 作業手順				
14回	客室についての基礎知識	客室タイプと特徴 客室の設備、備品 ルームキーの種類と管理				
15回	前期まとめ	関連用語の確認とまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル総論			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルの歴史や基礎知識を学ぶ。 世界中に存在するホテルについて学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	様々なホテルを知ることで、企業実習や就職活動の際の企業選択に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		自己紹介 前期の学習内容について説明 評価方法について説明			
2回	様々なホテルの分類		様々な「〇〇ホテル」			
3回	ホテルの歴史・偉人 旅館業法とは		昨今のホテルの基礎を築き上げた、伝説のホテルエたち ホテルに関わる法律を学ぶ			
4回	様々な経営・運営方法 ホテル内の職種と役割		ホテルはどのように運営されているのかを説明 ホテルの商品の特性			
5回	日本を代表する 歴史あるホテル		日本が誇る『ホテル御三家』とは…			
6回	宿泊約款		『宿泊約款』とその内容について			
7回	国内のホテル		東日本のホテルを紹介			
8回	国内のホテル		西日本のホテルを紹介			
9回	国内のホテル		九州地方のホテルを紹介			
10回	外資系のホテル		ハイアット、ヒルトン、マリオットインターナショナル系列…etc			
11回	国内のリゾートホテル 国内のビジネスホテル レピュテーションマネジメント		国内のリゾートホテル、ビジネスホテル(チェーン)を紹介 国内の旅館を紹介 「レピュテーションマネジメント」とは…〇〇を管理すること!			
12回	専門用語①		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ			
13回	専門用語②		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ			
14回	前期まとめ		前期の学習内容についてのまとめ、振り返り			
15回	期末試験		前期期末試験を実施			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル ブライダル業界研究			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルやホスピタリティ産業に特化した講話を核とする。 業界に対しての学びと気づき知識を増やすレポート提出にて評価。			授業形態	講義	
到達目標	ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		ホテル ブライダル業界とは			
2回	この業界で働く意義		ホテル ブライダル業界の階層			
3回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
4回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
5回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
6回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
7回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
8回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
9回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
10回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
11回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
12回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
13回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
14回	業界について		ホテル ブライダル業界の動向			
15回	まとめ		夏季実習へ向けて			



対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子(ミヤマエノリコ)			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	マナーの必要性和重要性について知る 心理学に基づくコミュニケーション方法を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	相手に好感を持たれるマナーを実践的に学び、質の高い接遇力を身につける					
使用テキスト	オリジナルプリント配布 (1年次の授業で使用したクリアファイルを持参してください)					
成績評価方法	・期末試験60% 提出物20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	授業案内		マナーの君と身につけることによるメリット 実技(お辞儀の仕方とその意味)			
2回	好感を持たれるマナー①		人の話を聞く場合の聞き方について学ぶ			
3回	好感を持たれるマナー②		聞く力を身につける			
4回	好感を持たれるマナー③		その場にふさわしい立ち居振る舞いについて学ぶ			
5回	好感を持たれるマナー④		雑談力を磨く			
6回	スピーチ		人前で話をする場合のマナーを学ぶ			
7回	言葉遣いは心遣い①		丁寧語・尊敬語を使えるようにする			
8回	言葉遣いは心遣い②		謙譲語とワンランクアップする言葉遣いを習得する			
9回	電話対応マナー①		電話の受け方・かけ方を学ぶ			
10回	電話対応マナー②		こんな時どういえばよいか……を知る			
11回	訪問マナー		名刺交換・案内の仕方			
12回	応対マナー		様々な場面での席次			
13回	冠婚葬祭マナー		知っておくと何かと役に立つ冠婚葬祭			
14回	期末試験		授業時間に実施			
15回	まとめ		就職活動で活用するビジネスマナーの具体的方法			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。			授業形態	講義	
到達目標	・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期授業内容の説明を行う。</li> <li>・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。</li> </ul>			
2回	就職活動へのアプローチ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。</li> <li>・キャリア形成の重要性と社会や企業について考えさせる。</li> <li>・専門学校生の強みを認識させ、どのように発揮していくのかを考えさせる。</li> </ul>			
3回	就職活動に必要な書類の書き方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当校における就職活動の流れを説明する。</li> <li>・就職室の活用方法を教える。</li> <li>・就職活動に必要な書類や行動を説明する。</li> </ul>			
4回	履歴書の書き方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。</li> </ul>			
5回	職業を知る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルで働くとはどういう仕事をするのかを説明する。</li> <li>・ホテルの種類や日本におけるホテル業界の説明をする。</li> </ul>			
6回	自分自身を知る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。</li> <li>・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。</li> </ul>			
7回	自分自身を知る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。</li> </ul>			
8回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。</li> </ul>			
9回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の能力や適性を把握させる。</li> </ul>			
10回	自己分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。</li> </ul>			
11回	自己PRの作り方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史の作成を通して自己PRの作成をしやすくしていく。</li> <li>・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。</li> <li>・自分と業界の接点を認識させ、企業でどう活かせるのかを考える。</li> </ul>			
12回	自己PRの作り方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己PRを書いてみよう。</li> </ul>			
13回	志望動機の作り方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。</li> </ul>			
14回	企業研究		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。</li> <li>・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。</li> <li>・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。</li> </ul>			
15回	完成品のチェック		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期提出物のチェック</li> </ul>			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	和のサービス			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ 日本を代表する旅館を知る			授業形態	講義	
到達目標	料理や思想、その他様々な観点から日本文化の特徴が語れるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ホテルと旅館		ホテルと旅館 それぞれの魅力を知る 食材には3つの顔がある			
2回	和室の立居振舞		和室のルールを知る お客様の出迎え～湯茶のサービスの重要ポイント			
3回	言葉遣い		美しい言葉遣い 知っておきたい業界用語			
4回	シーンに合わせた準備		掛け軸に隠された意味を知る 和室の整え方			
5回	日本料理		◎このマークが関係します 究極のサービス それは…			
6回	板場の世界		知っておきたい調理法 お造り それは…			
7回	食材研究		ブランド食材、日本三大珍味など 地鶏とは…			
8回	アルコールのサービス		ビール、日本酒、焼酎を美味しく提供するために 美味しい水割りのつくりかた			
9回	器の話		木と石と土の器の話 好きな焼物を見つけよう			
10回	法要		難易度の高い法要のサービスを学ぶ 精進料理 それは…			
11回	見合いと結納		お見合いサービスの注意点を学ぶ 忌み言葉 それは…			
12回	その他の行事		知っておきたい家族行事 まずは帯祝いから			
13回	知っておきたい伝統文化①		模様の話 現代に生きる伝統模様			
14回	期末試験		筆記試験実施			
15回	知っておきたい伝統文化②		家紋の話 あなたの家の家紋を調べてきてください			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダル総論			クラス	E1	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ブライダルについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。			授業形態	講義	
到達目標	ブライダル業界や結婚そのものについての基本的な知識を理解する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション ブライダルとは		前期の学習内容・評価方法について説明 みなさんにとって「結婚」「夫婦」とは？ 「ブライダル」の定義とそれを構成するもの			
2回	結婚の意味 記念日・誕生石		昔の結婚と今の結婚 様々な記念日・誕生石			
3回	結婚式の種類		様々な分類される挙式・披露宴の種類と形態			
4回	結婚に関する法律		結婚できる関係とできない関係			
5回	お見合い		お見合いの種類とやり方			
6回	婚約		婚約の意味 指輪の意味 「理想のプロポーズ」に対する男女のギャップとは			
7回	日本における ブライダルのしきたり		六輝について 結納について			
8回	結婚(式)に関わる書類		婚姻届け 結婚式の招待状 見積書			
9回	挙式について		挙式の流れと演出について			
10回	披露宴について		披露宴の流れと演出について			
11回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード			
12回	ブライダルアイテム		和装 ブーケ・ヘッドドレス・アクセサリ			
13回	業界の様々なランキング		日本人の結婚観 人気の結婚式 人気のブライダルアイテム			
14回	前期のまとめ		前期授業のまとめと振り返り			
15回	期末テスト		前期期末試験を実施			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ブライダルセールス			クラス	E1
担当講師(フルネーム)	田中香利			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダルテキストを使用し、ブライダルの基礎知識を把握する			授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての役割と結婚式における基礎知識の全体を理解する				
使用テキスト	ブライダルプランナーテキスト				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	CHAPTER1	自己紹介、授業の目的を知る ウェディングとは ウェディング業界に求められること			
2回	CHAPTER2	プランナーとは プランナーに求められること			
3回	CHAPTER3	信頼と説得力を得る為の方法 I 信頼を得るためのベーシックマナー【ロープレ】挨拶・お辞儀・笑顔 ビジネスマナー			
4回	CHAPTER4	II ヒアリングとは ヒアリング～クロージングの目的と流れを把握 III プレゼンテーションとは			
5回	CHAPTER5	新規接客営業 I 新規接客の重要性 II 新規接客の流れ			
6回	CHAPTER6	III 申込み手続き、事務処理 IV 顧客心理 V ケーススタディ			
7回	CHAPTER7	来館アンケートを基にロールプレイング 名刺の渡し方～クロージングまで			
8回	CHAPTER8	挙式・披露宴のプランニング I 打合せスケジュール II 打合せ項目 (コンセプトとテーマの決め方)			
9回	CHAPTER9	II 打合せ項目 結婚式におけるアイテム・演出の把握			
10回	CHAPTER10	III 提携業者 IV 作成資料			
11回	CHAPTER11	コーディネート I イメージ別コーディネート II 会場別コーディネート			
12回	CHAPTER12	III ケーススタディ お客様の希望をヒアリングし提案までのロールプレイング			
13回	CHAPTER13	挙式当日の流れとプランナーの動き I 当日のタイムテーブル II 披露宴の進行 III 当日のプランナーの役割			
14回	CHAPTER14	期末試験			
15回	CHAPTER15	IV 各署スタッフの役割 VI クレーム対応 クレーム対応の基本と対処方法			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ペン字			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	小金丸 恭子			実務経験	無	
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下書き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	履歴書の書き方①		文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る			
2回	履歴書の書き方②		履歴書まとめ①			
3回	履歴書の書き方③		履歴書まとめ② ～提出			
4回	美文字になるためのポイント①		文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
5回	美文字になるためのポイント②		文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
6回	美文字になるためのポイント③		文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
7回	美文字になるためのポイント④		文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
8回	実用書を学ぶ①		はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②		封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③		封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② まとめ			
11回	実用書を学ぶ④		手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①		筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②		慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③		慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④		慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	オンライン英会話			クラス	E2クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	与えられたテーマについて講師と会話しながら文法の習熟をはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	高校範囲の文法をスピーキングに役立たせる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson1 現在形			
2回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson2 過去形			
3回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson3 未来を表す文			
4回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson4 進行形			
5回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson5 現在完了形			
6回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson6 過去完了形			
7回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson7 未来完了形			
8回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson8 時制のまとめ			
9回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson9 助動詞①-可能・能力・許可			
10回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson10 助動詞②-推量・可能性・確信			
11回	英検2次試験対策 トレーニング		Lesson11 助動詞③-義務・禁止・不要			
12回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson12 助動詞④-その他			
13回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson13 助動詞のまとめ			
14回	スピーキングアセスメント		Lesson14 スピーキングアセスメント			
15回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson15 比較の文①-比較級・最上級			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	総合英語			クラス	E2	
担当講師(フルネーム)	加藤 亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語のボキャブラリー、イディオム、文法、リーディングすべてにおいて基礎から練習し、アウトプット力、応用力を養う。			授業形態	講義	
到達目標	英語圏での生活に問題なく適応できるよう、総合的に英語力を伸ばす。					
使用テキスト	Useful College English / Let's Read Aloud & Learn English					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		英語で自己紹介 テキストの進み方、小テスト、口頭テスト、授業の目標などを確認			
2回	This is my first trip abroad		Unit 1 入国審査の英語表現 be動詞の復習 予定を尋ねる、別れ際の挨拶			
3回	Weather and natural disasters		Unit 1 関係代名詞 現在時制 受動態の文法表現			
4回	Weather and natural disasters		Unit 1 比較級を用いた比較構文 単語テスト			
5回	Do you have anything to declare?		Unit 2 税関審査の英語表現 一般動詞の復習 Let's Review			
6回	Leisure activities		Unit 2 分詞の叙述用法 進行形に用いられない動詞 不定冠詞の基本的用法			
7回	How was your flight to L.A.?		Unit 3 空港での出迎え英語表現 一般動詞、過去形の復習 自己紹介する、感謝する			
8回	Student life		Unit 3 現在完了形 『学問』を表す名詞 to-不定詞を用いた慣用表現			
9回	Are you still feeling tired?		Unit 4 ホームステイ先での英語表現 提案する、許可を求める Let's Review			
10回	Health		Unit 4 仮定法現在 群接続詞、相関接続詞 否定語を用いた慣用表現			
11回	What are we going to do in the afternoon?		Unit 5 語学研修の英語表現 未来表現 予定を述べる、詳細を尋ねる			
12回	Computers		Unit 5 再帰代名詞を用いた慣用表現 疑問詞+to-不定詞 受動態の進行形			
13回	Finding a job		Unit 6 不定代名詞、独立不定詞 主語と動詞の呼応 「原因、理由」を表す副詞節を導く接続詞			
14回	Review		文法の復習 口頭テスト			
15回	Review		期末試験対策授業			



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテルマネジメント			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有	
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ ホテルマネジメント技能検定3級学科試験合格に向けて学習を深める			授業形態	講義	
到達目標	ホテルマネジメント業務の基礎知識を習得し、ホテル・マネジメント技能検定3級の合格点達成を目指す					
使用テキスト	ホテル・マネジメント ベーシック					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション・日本の宿泊業の現状	授業の進め方について説明する 日本の宿泊業の現状について学習する				
2回	全ての職種に共通する業務①	企業ビジョンと経営理念について学習する サービスとホスピタリティの違いについて学習する チームワークとコミュニケーションについて学習する				
3回	全ての職種に共通する業務②	施設管理業務と環境対策業務(SDGs)について学習する クールヘッドおよびウォームハートについて学習する				
4回	職種別の業務①	宿泊部門の業務と必要な知識・技能について学習する 練習問題				
5回	職種別の業務②	料飲部門の業務と必要な知識・技能について学習する 練習問題				
6回	職種別の業務③	宴会部門の業務と必要な知識・技能について学習する 練習問題				
7回	職種別の業務④	営業・マーケティング部門の業務と必要な知識・技能について学習する 練習問題				
8回	職種別の業務⑤	施設管理業務部門の業務と必要な知識・技能について学習する 危機管理・サービス品質対策・食品衛生について理解する				
9回	職種別の業務⑥	経営戦略業務と必要な知識・技能について学習する マネジャーの業務について理解する				
10回	ホテル会計①	簿記・決算書・貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の基礎について学習する 練習問題				
11回	ホテル会計②	主要業績指標分析・ADR、Rev.PARについて学習する 料飲部門における平均単価、席回転率、料飲原価率等の計算方法を学習する				
12回	ホテル・マーケティング 総まとめ・振り返り	市場調査・分析、法務知識、購買管理、人材マネジメントについて学習する				
13回	ホテル・マネジメント技能検定対策①	ホテル・マネジメント技能検定試験対策:過去問題・対策問題 解説				
14回	ホテル・マネジメント技能検定対策②	ホテル・マネジメント技能検定試験対策:過去問題・対策問題 解説				
15回	期末テスト	期末テスト				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Aクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活およびホテルで使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をホテル業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編	Lesson1 自己紹介・質問①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson2 自己紹介・質問②				
3回	おもてなし英会話	Lesson3 ホテル:チェックイン①				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson4 日常のあいさつ①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson5 日常のあいさつ②				
6回	おもてなし英会話	Lesson6 ホテル:チェックイン②				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson7 聞き返し・つなぎ				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson8 お礼				
9回	おもてなし英会話	Lesson9 ホテル:施設案内①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson10 感想①				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson11 感想②				
12回	おもてなし英会話	Lesson12 ホテル:設備案内②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson13 気づかう				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson14 依頼				
15回	おもてなし英会話	Lesson15 ホテル:滞在中				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	WEB広告戦略			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	デザインの基本を知り、様々なコンテンツ作りを目指す。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	1年で学習したOffice基礎やWeb・クラウドなどを再確認しながら、集客力のあるかっこいいコンテンツができるようになる					
使用テキスト	配布資料やスライドなどを使用					
成績評価方法	提出課題50% 小テスト20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 文字列の配置によるデザイン、余白のとり方 練習				
2回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 文字列の配置によるデザイン、余白のとり方 課題作成				
3回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 写真が主役のデザイン、トリミング 練習				
4回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 写真が主役のデザイン 課題作成				
5回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 文字と写真の応用デザイン 練習				
6回	デザイン基礎とチラシ作成	基本的なデザインを学ぶ 文字と写真の応用デザイン、画像とベタのバランス、複数の画像の配置 課題作成				
7回	Excel応用	Excel基礎の復習 集計関数の学習 データベース機能の学習				
8回	Excel応用	データを集計して、表やグラフなどの作成 表やグラフ・画像以外に、データを解説したテキストも含めた報告書作成				
9回	Excel応用	スケジュール表作成				
10回	PowerPoint課題作成	チーム別に課題作成 テーマ:ホテル・ブライダル科の紹介 素材の準備、シナリオ作成				
11回	PowerPoint課題作成	チーム別に課題作成 スライド作成				
12回	PowerPoint課題作成	チーム別に課題作成 各種効果の設定				
13回	PowerPoint課題作成	チーム別に課題作成 発表準備 リハーサルと動画ファイルの準備				
14回	発表					
15回	発表					

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	HRS対策(筆記)			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	HRS試験に必要な知識を学ぶ 過去問題を参考に試験対策を行う			授業形態	講義	
到達目標	8月17日実施のHRS筆記試験合格					
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件と ・平常点には授業中に行うミニテストを加味する				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	6つの基礎食品を知る 食品の分類別特徴を学ぶ 過去問題を解く				
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理に使用される主な食材を知る フルコースの流れとそのポイントを学ぶ 過去問題を解く				
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食器用器具と備品について学ぶ 銀食器の取り扱い方を学ぶ 過去問題を解く				
4回	第4章 食文化	食事の国際習慣について学ぶ プロトコールの歴史を学ぶ 過去問題を解く				
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生および公衆衛生について学ぶ 食中毒の分類、発生状況を知る 過去問題を解く				
6回	2021年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
7回	2021年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
8回	2021年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
9回	2020年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
10回	2020年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
11回	ミニテスト	本番を想定した問題を解く 真偽減点方式による採点を行なう				
12回	2019年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
13回	2019年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
14回	2019年度過去問題	過去問題を解く 答え合わせと解説				
15回	期末試験	期末試験 真偽減点方式による採点実施				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS対策(実技)			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 過去の課題を参考に試験対策を行う。			授業形態	実技	
到達目標	レストランサービス技能検定3級に合格する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		評価方法の説明 『国家資格』について 備品のセッティングと片付けについて			
2回	ランチサービス		セッティング(ランチ) お迎え～オーダーテイクまでのロールプレイ 整理整頓			
3回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 食事の準備～パンサービスまでのロールプレイ 整理整頓			
4回	ランチサービス		セッティング(ランチ) メイン料理サービス～作業終了までのロールプレイ 整理整頓			
5回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
6回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
7回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
8回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
9回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
10回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
11回	ランチサービス		セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓			
12回	確認テストに向けて		セッティング(ランチ) 課題範囲の発表・通し練習 整理整頓			
13回	確認テスト		セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓			
14回	確認テスト		セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓			
15回	確認テスト		セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	面接対策講座			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子(ミヤマエノリコ)			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における面接力を鍛える。 自己PRと志望動機の完成と自分らしさを大切にしたい表現方法の習得			授業形態	講義	
到達目標	対面・WEBそれぞれに対応したアピール力方法を知り身につける。					
使用テキスト	オリジナルプリント配布 (1年次の授業で使用したクリアファイルを持参してください)					
成績評価方法	*期末試験60% 提出物20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	自己PR①	人を惹きつける表現方法を身につける				
2回	志望動機①	あらゆる切り口から志望動機を考え表現する				
3回	ガクチカ①	学生時代に力を入れたことについて				
4回	質疑応答①	アドリブ力を身につける				
5回	グループディスカッション①	業界に関するテーマをディスカッションする				
6回	自己PR②	あらゆる質問にも対応できるよう自己PRを強化する				
7回	志望動機②	表現方法を駆使した志望動機の伝え方を習得				
8回	ガクチカ②	想定される質問を考える				
9回	質疑応答②	アドリブ力を鍛える				
10回	グループディスカッション②	自分たちでテーマを決めてディスカッションする				
11回	ディベート	就職試験でのディベートのルールを学び、実際に体験する				
12回	自己表現	これまでの表現方法を使用して自分をアピールする				
13回	期末試験①	面接試験				
14回	期末試験②	面接試験				
15回	まとめ	この授業のまとめと将来への展望				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	田中友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・受験企業の絞り込みと、面接対策のフォローアップをする。 ・内定後の取り組みと入社後に最低限必要な知識を身につける。			授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・就職ノート					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・現在の就職活動状況を把握する。 ・前期授業内容及び評価方法説明			
2回	受験企業の志望動機		・受験企業の志望動機作成 (なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。			
3回	受験企業の志望動機		・受験企業の志望動機作成 (なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。			
4回	受験企業の志望動機		・受験企業の志望動機作成 (なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。			
5回	受験企業の志望動機		・希望受験先の魅力 ・希望受験先の改善点			
6回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
7回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
8回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
9回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
10回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
11回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
12回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
13回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とは分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
14回	入社後に必要なこと		・就業規則とは何か ・組織について最小限の知識を身につける。			
15回	入社後に必要なこと		・税金の仕組み ・給与の仕組み			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル
科目名	SPI言語対策			クラス	E
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI言語、一般常識など)対策			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける				
使用テキスト	朝日キーワード就職2023最新時事問題&一般常識				
成績評価方法	期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます。			
2回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう。			
3回	最新のニュース	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに。 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう。			
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります。			
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題がでることがあります。落ち着いて解いていきましょう。			
6回	範囲を絞る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事。			
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに。			
8回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定は「スタート」。就業までの時間をたいせつに「知ること」を常に心がけましょう。			
9回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えない。			
10回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事。			
11回	ニュースを気にする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく。			
12回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える。			
13回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える。			
14回	目標を持つ	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？			
15回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策は前期で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう。			



対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Webtテスト対策1		WEBテスト(玉手箱) 計算問題中心の四則逆算、図表の読み取り問題を解く			
2回	Webテスト対策2		WEBテスト(玉手箱) 四則逆算の応用問題、表の空欄の読み取り問題を解く			
3回	確率の問題1		確率とはある条件下で事象が起こる割合をもとめるものです。基本問題を解く			
4回	確率の問題2		確率の標準問題から応用問題を解く			
5回	速度の問題		速さや距離を求める基本計算の演習			
6回	速度の問題		旅人算、通過算、流水算などの問題を解く			
7回	推論1		推論(正誤)(位置)の問題を解く			
8回	推論2 テスト		推論(順序)(平均)の問題を解く テスト			
9回	資料の読み取り問題1		表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける			
10回	資料の読み取り問題2		グラフから変化の傾向をつかみ項目ごとに丁寧に計算する			
11回	図形		面積や体積の基礎から応用問題を解く			
12回	物の流れと比率		表を読み取り問題を解く			
13回	命題		対偶や三段論法を理解し問題を解く			
14回	装置と回路		関係性や法則を正しくとらえ問題を解く			
15回	後期のまとめ		後期授業のまとめの演習問題を解き、復習、知識の定着を目指す			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	セレモニープロデュース I・II			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「ホテル・ブライダルフェア」に向けて企画から当日運営までプロデュース			授業形態	講義&演習	
到達目標	8月実施の「ホテル・ブライダルフェア」を成功させる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・提出物、プレゼンテーション80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	イントロデュース		授業の進め方、成績評価方法 「ホテル・ブライダルフェア」に向けての流れ			
2回	テーマ決め		どのようなフェアにするか話し合い テーマを持ち寄りプレゼンテーション			
3回	テーマ決め		テーマに合わせたイベントを考える 個人プレゼンテーション			
4回	実施内容決め		当日実施するものを決める 実施にあたりどのような役割が必要か話し合う			
5回	役割分担決め		前日までの準備と当日、分けて役割分担 チーム編成			
6回	チームごとに作業		必要な備品のピックアップ 予算を考えつつコストパフォーマンスを意識した備品の選定			
7回	チームごとに作業		プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
8回	チームごとに作業		プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
9回	チームごとに作業		プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
10回	チームごとに作業		プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
11回	チームごとに作業		プレゼンテーション I のはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーション II の終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
12回	チームごとに作業		この時間までに必要な備品はすべて購入しておくこと (当日に必要な食材などは除く)			
13回	本番に向けて		リハーサル準備 次回のリハーサルに向けての事前打ち合わせ			
14回	本番に向けて		当日と同じ状況でリハーサル 時間配分、改善点をチェック			
15回	本番に向けて		前回のリハーサルを受けての微調整 最終打ち合わせ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	仕事的话题を膨らませよう		志望動機 将来の夢			
2回	面接実践		模擬面接で、英語の質疑応答を体験			
3回	面接実践		模擬面接で、英語の質疑応答を体験			
4回	スピーチ発表		自己PRスピーチをクラスの皆の前で発表する			



# エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ホスピタリティ学
1	ユニバーサルサービス
1	就職活動講座
1	コミュニケーションイングリッシュ
1	空港実務
1	グランドハンドリング
1	CA受験対策
1	アマテウスアルテア
1	ビューティー
1	危険物取扱試験対策
2	フライトオペレーション
2	コミュニケーション学
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	手話
2	就職活動講座
2	航空業界受験対策GS
2	航空業界受験対策GH
2	航空業界受験対策CA
2	中国語
2	韓国語
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテアⅡ
2	アマテウスアルテア
2	CA受験対策

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界の知識(航空会社・業種・空港・航空機、等)について講義 エアラインビジネスが支える航空運送事業について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	エアライン・ビジネス入門(第2版)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行う			
2回	エアラインビジネス		航空運送事業、航空機使用事業について学ぶ エアラインビジネスの特徴(価値・社会情勢の影響、等)について学ぶ 航空需要の特性(航空旅客・航空貨物)、サービス品質について学ぶ			
3回	エアラインビジネスの歴史		航空機の発達と歴史(ライト兄弟から旅客機のハイテク化まで)について学ぶ 国際民間航空機関(ICAO)と国際航空運送協会(IATA)の発足について学ぶ 航空自由化(オープンスカイ政策)の流れについて学ぶ			
4回	エアラインビジネスの歴史		日本の民間航空の夜明けと航空会社の設立について学ぶ 戦後の民間航空の発展と「45・47体制」について学ぶ 規制緩和後の航空業界について学ぶ			
5回	空港		空港の分類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設および空港整備計画について学ぶ 空港の課題(首都圏空港の発着容量不足・空港事業の収益性、等)について学ぶ			
6回	空港		空港整備の財源(空港使用料・航空機燃料税、等)について学ぶ 空港の民営化(拠点空港・地方管理空港の民営化)について学ぶ 新しい観光における空港の役割について学ぶ			
7回	LCCの世界的躍進		LCC(低コスト航空会社)の歴史、ビジネスモデル、成長要因について学ぶ LCCの世界的躍進と市場へのインパクトについて学ぶ 日本のLCCの特徴、長距離LCC運航会社と業績と今後のLCCについて学ぶ			
8回	これからのエアライン・ビジネス		航空旅客と航空貨物の需要からみる、エアライン・ビジネスについて学ぶ 航空会社間の経営統合、アライアンス(コードシェア等の業績提携)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	航空産業、新たな潮流		コロナウイルスによる航空業界、および関連産業の変容について学ぶ ビジネスジェットと新たな視点の導入について学ぶ これからの新しい交通・輸送手段の問題点について学ぶ			
10回	航空会社の経営計画		航空会社の経営計画の特質について学ぶ 航空会社の提携やアライアンスの背景について学ぶ 航空会社間の提携の類型(LCCとの提携・コードシェア・グローバルアライアンス、等)について学ぶ			
11回	航空会社の安全管理		航空会社にとっての「安全」「安全管理」とは何か、について学ぶ 航空における安全向上に対する取り組みの進化について学ぶ 安全文化の醸成をうながす4つの構成要素について学ぶ			
12回	航空会社の関連事業		旅客サービス会社について学ぶ グランドハンドリング関連会社について学ぶ 周辺事業会社(ケータリング会社、等)について学ぶ			
13回	旅客ハンドリングと空港業務		旅客ハンドリング(カウンター・ラウンジ・トラフィック、等)について学ぶ ステーションオペレーション(飛行監視業務・運航管理補助業務、等)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		航空業界の今後の動向について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義&演習	
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・年間コースの説明 ・空港での仕事と役割 ・航空業界認識度調査(どのような職種の人々が働いているのか/ディスカッション・質問形式) ・航空機には何が搭載されているか(グループディスカッション形式)				
2回	航空機概要	・航空機の種類(WIDE/NARROW BODYの違い) ・内航機と外航機について ・各機種貨物室の説明				
3回		・ULDの種類について ・搬送器材・搭載器材・その他の補助器材				
4回	各種コード/用語説明	・空港コード(IATA/ICAOの違い) ・航空会社コード(PREFIX) ・国コード ・代理店コード ・用語説明				
5回	航空貨物概要	・航空輸送の役割 ・航空輸送書類の説明 ・貨物の種類 ・国内・国際貨物の違い				
6回	国内貨物輸送	・国内貨物の流れ ・国内貨物代理店について ・運送状の役割 ・国内貨物受託要件 ・航空保安				
7回		・直送貨物と混載貨物 ・継越/相次運送 ・運送における優先順位 ・運送約款/運送責任				
8回	郵便の輸送	・国内郵便物の種類 ・コンテナ郵便 ・外国郵便物 ・郵便物の受託から引渡しまで ・米国軍事郵便物				
9回	国際貨物輸送	・国際貨物の流れ ・税関手続きについて				
10回		・運送状の説明 ・国際貨物代理店について ・各種手続き済み貨物について(READY FOR CARRIADGE) ・国際貨物の受託から引渡しまで ・保税運送について				
11回	各種法令	・航空法について ・関税法について ・各種検疫について				
12回	特殊貨物	・PER/WET貨物 ・動物 ・遺体/遺骨 ・危険物 ・貴重品				
13回	運賃計算	・国内運賃および料金の種類/適用・計算 ・国際貨物運賃について				
14回	前期のまとめ / 期末試験	・前期授業のまとめ ・期末試験				
15回	期末試験の解説	・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科
科目名	ホスピタリティ学			クラス	Q
担当講師(フルネーム)	小杉 恵美子 益田 和恵			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	空港におけるホスピタリティについて実践例を交えながら、気づきの感度を高める			授業形態	講義
到達目標					
使用テキスト	適宜書籍からの抜粋				
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回 4/13	自己紹介で自分をアピールする	一人ひとりに自己紹介してもらい、良い点、改善点をアドバイスする これからの就職活動において、重要である好印象な自己紹介の仕方、また、人前で話すことに慣れる			
2回 4/20	仕事の意義を考える	自分の選んだ仕事が生社会においてどのような意義があるのか、考える DVD視聴後、その人の働き方について考え、グループディスカッションする			
3回 4/27	これまでに自分が受けた感動のサービスについて	課題として考えてきた、過去に自分が受けた感動のサービスについて発表する 他の人の発表について質疑応答(なぜ感動したのかポイントを追求する)			
4回 5/11	ホスピタリティとサービスの違いを理解する①	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)			
5回 5/18	ホスピタリティとサービスの違いを理解する②	具体的な事例とともに理解していく(無上意のサービスを紹介し、その内容について考える)			
6回 5/25	気づきの感度を高める①	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する			
7回 6/1	気づきの感度を高める②	実際にあったエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する			
8回 6/8	空港で働く先輩の話	ランプで働く先輩、空港で旅客担当の先輩の話聞き、その後質疑応答 車座で先輩との意見交換の時間を設ける			
9回 6/15	お手伝いが必要なお客様①	バリアフリーとはなにか考える バリアフリーに関するサインやシンボルマークについて理解する			
10回 6/22	お手伝いが必要なお客様②	街の中、生活の中で発見した、気付いたバリア、バリアフリーについて発表する 車いすをご利用のお客様、目や耳がご不自由なお客様への対応について学ぶ			
11回 6/29	航空業界について	西鉄エアサービス 木津社長のお話を伺う 航空業界、西鉄エアサービスについて			
12回 7/6	気づきを体験する①	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう			
13回 7/13	気づきを体験する②	ふたり一組になって実際にお店などで接客を受けて感じたことを発表しよう			
14回 7/20	制服を着て働くということ	制服を着て働くことについて考え、理解する 空港で働くこと、制服を着こなすことについて必要なこと			
15回 7/27	決意表明	自分が考えるホスピタリティとは？ 前期授業で学んだことをこれからどのように活かしていくか みんなの前で決意表明する			



対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける			授業形態	講義 & 演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向け心構えをする 自己分析をし面接対策を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	日常生活でも業界人を意識した行動ができるようになる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト、就職ノート					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、実技試験により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的、進め方、成績評価方法</li> <li>・受験への心構え</li> <li>・日頃から意識すること(挨拶・時間・準備)</li> </ul>				
2回	就活の軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動から内定までの流れ</li> <li>・就活の軸を考える</li> </ul>				
3回	受験の心得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一印象の重要性</li> <li>・話す姿勢、聴く姿勢</li> </ul>				
4回	手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内の手続き</li> <li>・就職室の活用方法</li> </ul>				
5回	自己分析①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の強み、弱みを知る</li> <li>・自分の人生を振り返る</li> </ul>				
6回	自己分析②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己PRを作成する</li> </ul>				
7回	自己紹介①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己PRと自己紹介の違い</li> <li>・あらゆる角度から自分を見る</li> </ul>				
8回	自己紹介②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をする</li> </ul>				
9回	面接対策①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退室を実践する</li> <li>・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ</li> </ul>				
10回	面接対策②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退室を実践する</li> <li>・ドアの開閉、着席の仕方、手荷物の置き方における注意点を学ぶ</li> </ul>				
11回	面接対策③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介、自己PR</li> </ul>				
12回	面接対策④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介、自己PR</li> </ul>				
13回	面接試験①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験とフィードバック</li> </ul>				
14回	面接試験②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験とフィードバック</li> </ul>				
15回	面接試験③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験とフィードバック</li> <li>・まとめ</li> </ul>				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Qクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編	Lesson1 初対面①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson2 初対面②				
3回	おもてなし英会話	Lesson3 空港:チェックイン①				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson4 自己紹介・質問①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson5 自己紹介・質問②				
6回	おもてなし英会話	Lesson6 空港:チェックイン②				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson7 日常のあいさつ①				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson8 日常のあいさつ②				
9回	おもてなし英会話	Lesson9 空港:預け入れ荷物の受託①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson10 聞き返し・つながり				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson11 英語について				
12回	おもてなし英会話	Lesson12 空港:預け入れ荷物の受託②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson13 あいづち				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson14 お礼				
15回	おもてなし英会話	Lesson15 空港:施設案内				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	Q①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	国内線の基礎知識を習得する					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える			
2回	日本の空港		各空港の特徴を学ぶ 空港の3レターを覚える			
3回	日本の航空会社		各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える			
4回	サービス		FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える			
5回	GSの業務と役割①		旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ			
6回	GSの業務と役割②		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
7回	GSの業務と役割③		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
8回	GSの業務と役割④		GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
9回	GSの業務と役割⑤		GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
10回	Webサイト		各社Webサイトを比較する 空席照会 各種サービス			
11回	手荷物①		受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ			
12回	手荷物②		危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ			
13回	国内線運賃		各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する 搭乗方法について学ぶ			
14回	期末試験		試験 イレギュラーについて学ぶ			
15回	まとめ		テスト返却 前期の復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング			クラス	Q②
担当講師(フルネーム)	松下 良朗			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	・授業の進め方・授業内容の理解・自己紹介(講師・生徒) ・日本の空港・航空行政・空港の機能・今日の空港・空港で働くということをディスカッションしその意義を学ぶ ・社会情勢が航空輸送に与える影響・航空輸送力・航空会社の役割と使命を知りグランドハンドリングの概要を掴む			
2回	グランドハンドリング概要	・到着から出発までの流れと各作業の内容を知る・グランドハンドリング歴史と意義を学ぶ ・各業務と時間の関連を知る 業務紹介 ・航空保安 保安要員 制限区域/保安区域 LOAD FACTOR 定時制 DGT DLYの影響を学ぶ			
3回	空港規定	・専門用語と業務の関連性を学ぶ ・空港コード IATA CODE/ICAO CODEについて学ぶ ・グランドハンドリングのSKD DGT 人員計画について知るABL ERA 滑走路 誘導路 航空援助装置等について学ぶ			
4回	搭載関連業務	・専門用語と業務の関連性を学ぶ 空港コード IATA CODE/ICAO CODEについて学ぶ小テスト ・TIE DOWN 固縛の実践 固縛用具 ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD /時差			
5回	トローイング	・航空機トローイング操作(通常トローイング・ハンガ-IN/OUTIについて学ぶ ・コンパス/スイングトローイング・アンダー・ヘリトローイング方法について学ぶ ・トローイングマン養成についてエアライン各社の養成を見る 将来に向けた機材開発とニーズに向けた養成			
6回	ブレーキマン	・ブレーキマンの作業手順を学ぶ ・ブレーキマンの養成について知る ・航空機の地上移動(緊急時の対応及びその役割について)を学ぶ			
7回	ウォッチマン	・ウォッチマンの仕事役割について学ぶ(翼端監視とは) ・監視業務における安全確保について学ぶ ・航空機のSIZEを把握する			
8回	搭載関連業務	・搭載計画(LOAD PLAN)作成業務の概要を学ぶ ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ウェイト&バランス業務 航空機の重量 PAYLOADについて学ぶ ※小テスト			
9回	航空機貨物室	・機種別貨物室について学ぶ ULD方式/BULK方式 VOLについて ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ULD DIM 設備 機能 等			
10回	搭載取り卸し作業	・搭載取り卸し作業の概要を知る 基本的な作業の流れを理解する ・特殊搭載物の取り扱いを学ぶ O/H OSC/OHC/HUM/AVI/DG等の搭載を学ぶ ・税関について 指定地外交通 手荷物お取り扱い 郵便物について学ぶ			
11回	航空機へのULD搭載	・UNIT LOAD DIVICE 種類 CLMから学ぶ ・SIZE PLT/CONT 実際のサイズを体験する ・ULD NBRから学ぶ BULK作業について学ぶ VOLについて 貨物室での搭載方法			
12回	搬出/搬入作業	・機種別ULD台数と搬出台数を理解する ・物量情報と搬出のタイミング 機側作業との連携 ・NBR照合と引き渡し 接点業務について知る ※小テスト			
13回	航空危険物の基礎	・航空危険物 危険物の定義 ・危険物輸送 分類/区分 国内法令 IATA DGR ICAOTI オレンジブック ・マーキング ラベリング 危険物の搭載作業全般を学び理解する			
14回	前期期末試験	・前期授業まとめ ・期末試験(30分間)			
15回	前期授業振り返り	・期末試験返却 解説			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	Q③	
担当講師(フルネーム)	岩切 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	自己分析・面接対策			授業形態	講義&演習	
到達目標	自信をもって面接に臨める。面接に勝つ印象力の獲得。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		学生の自己紹介(自己PR、志望のきっかけ) 授業の進め方 採用試験の流れと就職活動の流れ			
2回	アピアランス・印象力		印象力について アピアランスチェック(メイク・髪型・服装)			
3回	自己理解 スピーチ①		自分の過去・現在・未来の自己理解 30秒スピーチ			
4回	自己PR① スピーチ②		自己PRの書き方 自分の強み・過去分析 30秒スピーチ			
5回	自己PR② スピーチ③		自己PR作成 30秒スピーチ			
6回	他者分析・他者紹介		他者からの印象・イメージ分析 相手紹介			
7回	自己PRまとめ		自己PRまとめ・練習			
8回	コンテスト		自己PR発表			
9回	フィードバック		コンテストフィードバック			
10回	採用試験準備		面接練習(入退室・自己PR) 1分スピーチ			
11回	採用試験準備		面接練習(入退室・自己PR) 選考フロー・面接の心構え			
12回	採用試験準備		面接練習(入退室・自己PR) 自己分析(自己PR・就活の軸・質問)			
13回	採用試験準備		面接練習(まとめ) 自己分析(自己PR・就活の軸・質問)			
14回	コンテスト		模擬面接(入退室・自己PR・質問)			
15回	フィードバック		フィードバック 夏休みの課題			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Q選択クラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空・旅行業界では必須のGDS(予約発券端末)の存在を理解する。 基本操作(コード検索や簡単な予約など)を習得して、業界で使用する専門用語も学ぶ。			授業形態	実技	
到達目標	GDS予約操作の基本をマスターする(各種コード検索や空席照会からの予約とPNR作成まで)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	GDSの基本		amadeusとは、何かを学ぶ(生い立ちを学ぶ) GDSとは、何か(どういう場面で使用しているのか)? amadeus起動と初期画面の確認を行う(パスワード入力とメインメニュー、コマンドページ)			
2回	国際線基礎知識 I		各種コードを学ぶ 2レター(航空会社コード)と3レター(都市コード)の検索方法を理解する 表示された画面確認も行う			
3回	タイムテーブル		その他のコード検索(国コード・州コード・機材コードなど)を学び、入力をする タイムテーブルTN入力を学ぶ(オプション入力、運航曜日や所要時間・機材確認を行う) 表示された画面確認も行う			
4回	空席照会 I		※「確認テスト」(内容:各種コード検索とタイムテーブル) 空席照会操作の基本を学び、画面表示内容を理解する 空席照会基本エントリー～のオプション入力を学ぶ(航空会社/予約クラス/時間指定/キャビン指定など)			
5回	空席照会 II		空席照会基本エントリー～ショートカットエントリを行う 空席照会・入力練習(練習問題使用)			
6回	空席照会からの予約		空席照会からの直行便予約を行う 空席照会からの乗継予約を行う 直行便・経由便・乗継便の違いを学ぶ			
7回	空席照会からの予約 II		航空機未使用区間入力(アランク)を行う 予約後の画面確認と予約コードを学ぶ			
8回	前期・中間テスト		復習(コード検索～空席照会～航空便予約まで) ※中間試験実施			
9回	予約作成		中間試験の返却と答え合わせ PNRとは何か(PNR作成における必須5項目)を学ぶ PNRを完成させる(ERとIR入力)			
10回	予約完了		PNR抽出を行う(PNRの一部表示方法含む) PNR完了後の画面構成を学ぶ			
11回	PNR構成		専門用語を学ぶ(予約コード/ロケーターなど、それぞれの意味を理解する) RT(画面整理)とIG(中断)			
12回	予約変更		※「確認テスト」(内容:PNR作成) 予約便の変更を行う			
13回	予約の取消		予約キャンセルを行う 旅客データ訂正(電話番号・発券期限の訂正)を行う 予約変更エントリーとの違いを理解する			
14回	前期・総復習		PNR作成と添削 前期期末試験対策(対策用プリント有)			
15回	前期・期末テスト		期末試験のポイントを確認する ※期末試験(筆記と実技)			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビューティー			クラス	Q①	
担当講師(フルネーム)	柿田 千里			実務経験	無	
授業概要(内容)	顔の役割、好感の持たれる笑顔が映える顔作り スキンケア、日頃のお手入れを学ぶ。立ち居振る舞いの美しい女性になろう。			授業形態	講義&演習	
到達目標	30分以内に好感の持たれるメイクアップができるようになる。					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	日頃の授業に意欲的に取り組んでいるか。 最終試験で30分以内にフルメイクができるようになる。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	「顔」の役割		顔の役割/笑顔の大切さ 人相心理学による顔分析 立ち居振る舞い			
2回	エアラインのメイクとは		第一印象が好感がもたれるメイクアップ法 どの様なメイクアップ(表情作り)をするべきか			
3回	スキンケア		肌のメカニズム 日頃の肌のお手入れ方法 クレンジングの仕方・化粧水コットンパック			
4回	ベースメイク①		中高く立体的な骨格に見えるファンデーションの塗り方 骨格修正 血色を良く見せるニュアンスカラー			
5回	ベースメイク②		肌質別ファンデーションの選び方 ベースメイクの復習			
6回	アイメイク		目元に立体感を与えるアイメイク方法 拡張メイク			
7回	アイブロウ		理想的な眉のガイドライン 顔を立体的に見せる眉の書き方			
8回	リップ・チーク・ハイライト		自分の肌色に合うリップカラーを知る 自分に似合うチークカラーと入れ方 ハイライトで顔を立体的に見せる入れ方			
9回	フルメイク		責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う 30分以内で行う			
10回	フレッシュメイク		優しい表情を知り、学ぶ			
11回	スレンダーメイク		知性的で洗練された表情を知り、学ぶ			
12回	春トレンドメイク		ベーシックなメイクに季節を感じてもらえる様なトレンドカラーを使ったメイク			
13回	エアラインメイク		仕事ができ、好感が持てる表情作り、復習していきます			
14回	30分フルメイク		試験を前に復習と共に、仕事を意識したメイクアップの完成度を上げる			
15回	最終試験		責任感があり、好感を持たれるメイク 30分以内に行う			



対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	池内 勝			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般			授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	国家資格内容		授業内容の説明及びスケジュールについて 授業の目的及び目標について 危険物の種類について			
2回	危険物に関する法令		危険物の定義及び分類について 指定数量について 製造所等の区分、申請等の手続きについて			
3回	危険物に関する法令		危険物取扱者の責務について 危険物保安監督者の責務について 危険物保安統括管理者の責務について			
4回	危険物に関する法令		危険物施設保安員の業務内容について 予防規定について 製造所等の規制について			
5回	危険物に関する法令		製造所等の規制について			
6回	危険物に関する法令		製造所等の規制について			
7回	燃焼及び消化		物理及び化学の基礎について			
8回	燃焼及び消化		燃焼の定義、消化の原理について 消火方法、消火設備について			
9回	過去問題		過去問題を解く 問題解説			
10回	過去問題		過去問題を解く 問題解説			
11回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
12回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
13回	試験の復習		試験の復習及び今後の対策について			
14回	危険物のまとめ 期末試験		前期のまとめ 期末試験			
15回	期末試験の解説		期末試験の解説 後期の授業の進め方について			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	フライトオペレーション			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の開発史、旅客機の区分、空港の構造、航空管制の知識、 運航管理業務、等について講義			授業形態	講義	
到達目標	航空機運航業務の役割、目的を理解し業務に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	航空知識のABC・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について説明する 授業内容の進め方・成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う			
2回	旅客機の開発史		飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた旅客機の開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ			
3回	旅客機の区分		機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ			
4回	航空機運航		いろいろな種類の航空機について学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ 安全に飛ばすための計器や操縦システムについて学ぶ			
5回	空港施設		空港の基本構造について学ぶ 滑走路の長さや向きの決め方について学ぶ 誘導路とエプロンの違いについて学ぶ			
6回	空港施設		滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ たくさんある空港灯火の種類について学ぶ			
7回	航空局の業務		航空局の歴史・役割について学ぶ 航空機運航と、その役割について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
8回	通信・航法装置		旅客機が地上との連絡を行う装置類について学ぶ 旅客機が位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ			
9回	航空管制業務		航空交通管制の役割について学ぶ 航空交通管制の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ			
10回	航空管制業務		航空保安無線施設の種類について学ぶ 有視界飛行方式(VFR)と計器飛行方式(IFR)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ			
11回	航空管制業務		航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ			
12回	運航管理		運航管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATC・フライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ			
13回	運航管理用語		オペレーション用語とその意味について学ぶ 運航管理用語と管制業務用語について学ぶ 小テスト(理解度テスト)			
14回	期末試験		航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーション学			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	社会で活躍できる人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために				
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング				
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク				
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは				
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる				
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール				
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値				
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方				
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり				
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか				
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり				
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク				
13回	スピーチ1分	課題				
14回	スピーチ3分	課題				
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	0クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	日常英会話 基礎編	Lesson31 空港で迎える①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson32 空港で迎える②				
3回	おもてなし英会話	Lesson33 機内:食事・飲み物の提供				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson34 観光の計画①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson35 観光の計画②				
6回	おもてなし英会話	Lesson36 機内:免税品販売				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson37 日本を案内する①				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson38 日本を案内する②				
9回	おもてなし英会話	Lesson39 機内:イレギュラー対応①				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson40 日本を案内する③				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson41 日本を案内する④				
12回	おもてなし英会話	Lesson42 機内:イレギュラー対応②				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson43 家を訪ねる①				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson44 家を訪ねる②				
15回	おもてなし英会話	Lesson45 機内:よく聞かれる質問				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン	
科目名	手話			クラス	0クラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での簡単日常会話と接客法					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聴覚障がい者と手話	聞こえないとは 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	伝え合ってみましょう	ものの形や身振り表情でコミュニケーション あいさつ				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介 名前の表し方・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう	数の表し方 数に関する接客手話				
6回	手話で表現してみましょう	自分のことを手話で伝える 趣味の表現				
7回	仕事について話しましょう	職業の手話表現 職場でつかう手話				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 交通手段の表現				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	一日のことを話しましょう	時の表し方 過去の表現				
11回	過去・現在・未来	時間の経過を表す 行事				
12回	接客手話	聴覚障がいのあるお客様に対するサービスの在り方				
13回	聞こえないとは	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活 実技テスト練習				
14回	実技テスト	学んだ手話で実技テスト				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界求人動向と1年次後期の面接対策の振り返り</li> <li>・現在の志望状況と就職活動状況確認</li> </ul>			
2回	模擬面接①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(基本パターンの確認)</li> <li>・フィードバック</li> </ul>			
3回	模擬面接②		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(基本パターンの確認)</li> <li>・フィードバック</li> </ul>			
4回	模擬面接③		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(基本パターンの確認)</li> <li>・フィードバック</li> </ul>			
5回	模擬面接④		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(応用)</li> <li>・フィードバック</li> </ul>			
6回	就職活動報告会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動報告と今後のスケジュール</li> </ul>			
7回	模擬面接⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(応用)</li> <li>・フィードバック</li> </ul>			
8回	内定者報告会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接シチュエーション及び内容の共有</li> </ul>			
9回	模擬面接⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ面接(応用)</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
10回	未内定者対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(個人)面接</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
11回	未内定者対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(個人)面接</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
12回	未内定者対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(個人)面接</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
13回	未内定者対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(個人)面接</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
14回	未内定者対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ(個人)面接</li> <li>※内定者については、入社に向けての課題・準備</li> </ul>			
15回	新社会人に向けて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新社会人に向けての決意発表</li> <li>・入社までの学校生活の送り方</li> </ul>			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策GS			クラス	O①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	全体で共有し、仲間の意見を参考にしながら進めるGSの役割や求められる能力を理解し、ESや面接の対策を行う			授業形態	講義	
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ					
使用テキスト	就職活動ノート(各自使用しているもの)、プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、小テスト、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 1分間スピーチについて 面接・添削			
2回	自己分析		振り返り共有する 自己PRを見直す 面接・添削			
3回	求められる人物像		GSの業務、役割を復習する GSに求められる能力を考える GD			
4回	目指すGS像と人物像		GSとして3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する 目指すGS像と人物像を考え共有する 面接・添削			
5回	志望動機		志望動機を見直す 具体的に自分の言葉で伝えているか確認する 面接・添削			
6回	グループディスカッション		様々な討論方式を紹介する 進行のポイントを学び実践する			
7回	グループディスカッション		様々なテーマでディスカッションする			
8回	サービス		サービスについて考える			
9回	クレーム		クレームについて考える			
10回	試験対策		面接・添削			
11回	試験対策		面接・添削			
12回	試験対策		面接・添削			
13回	試験対策		面接・添削			
14回	試験対策		面接・添削			
15回	試験対策		面接・添削			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策(GH)			クラス	O2	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向けた書類作成、面接練習を行う。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組みさせる。			授業形態	講義	
到達目標	目標に向け取り組みさせ内定を勝ち取る。					
使用テキスト	就職ノート・プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、提出物、授業態度で評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き、等)について学ぶ 個々と面談(方向性の確認)				
2回	受験準備	就職活動(航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削)				
3回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習				
4回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 書類作成(添削) 面接練習				
5回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
6回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
7回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
8回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
9回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
10回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
11回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
12回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
13回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
14回	受験対策	求人企業の採用状況について確認する 面接練習 内定者は就業に向けて準備を行う				
15回	まとめ	社会人としての自覚を持たせる 個々と面談				



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策CA			クラス	O3	
担当講師(フルネーム)	岩切 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	面接対策 本番を想定した面接練習			授業形態	講義&演習	
到達目標	様々な質問に、臆することなく面接に臨める。面接に勝つ印象力の獲得。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	学生の自己紹介(自己PR、志望のきっかけ、強み、特技・趣味) 面接のポイント 身だしなみ				
2回	印象学	面接に勝つ印象力の獲得 面接練習(入室～自己PR) フィードバック				
3回	採用試験準備	面接練習(入室～志望動機) フィードバック ESの書き方・ポイント				
4回	採用試験準備	面接練習(入室～志望動機) フィードバック ES作成				
5回	採用試験準備	面接練習(基礎) フィードバック ES作成				
6回	採用試験準備	面接練習(基礎) フィードバック ES作成				
7回	採用試験準備	面接練習(ESに伴った面接対策) フィードバック				
8回	採用試験準備	面接練習(ESに伴った面接対策) フィードバック				
9回	採用試験準備	面接練習(まとめ(前半))				
10回	コンテスト(練習)	模擬面接				
11回	採用試験準備	模擬面接見直し ES作成				
12回	採用試験準備	面接練習(まとめ) フィードバック				
13回	採用試験準備	面接練習(まとめ) フィードバック				
14回	コンテスト(本番)	模擬面接				
15回	まとめ	模擬面接見直し				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	中国語			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	無	
授業概要(内容)	習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現についての解説			授業形態	講義	
到達目標	習得した中国語の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高めることを目標とする。					
使用テキスト	中国語1年め(白水社)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	発音の復習		中国語の発音”声調” ”母音””子音”			
2回	第1課 中国人留学生と知り合う		1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 □ 姓名の言い方			
3回	トレーニング1 第2課 携帯の写真を見て		1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”			
4回	トレーニング2 第3課 いっしょに勉強しよう!		1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也”と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置			
5回	トレーニング3 第4課 ファストフード店で		1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文			
6回	トレーニング4 第5課 Tシャツを買う		1. 数詞 2. 量詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在”			
7回	トレーニング5 第6課 いっしょに遊びに出かける		1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想”・”要” 4. 語気助詞の”吧”			
8回	トレーニング6 第7課 花火は何時から?		1. 前置詞(1)”在”・”从”・”离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型			
9回	トレーニング7 第8課 学園祭		1. 助動詞(2)”会”・”能”・”可以” 2. 経験を表わす”过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 □時間の長さの言い			
10回	トレーニング8 第9課 カラオケに行く		1. 状態補語 2. 前置詞(2)”给”・”跟” 3. 連動文			
11回	トレーニング9 第10課 中国の映画を見る		1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文			
12回	トレーニング10 第11課 帰国を前にして		1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の”还是”			
13回	トレーニング11 第12課 空港で		1. 可能補語 2. ”是~的”の文 3. 2つの目的語をとる動詞			
14回	トレーニング12 よく使われるその他の語		□ 時を表わす語 □ 時間の長さの尋ね方 □ 方向を表わす語 □ お金の数え方 □ 注意する100以上の数の数え方			
15回	期末テスト対策		今まで勉強した内容についてのおさらい			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	韓国語			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	自己紹介	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特にハングル文字をおぼいし、正しい発音ができるようにする。				
2回	「해요体」の作り方4.	「하다」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 韓国の歌の歌詞を覚え、単語を増やしてみよう!				
3回	移動の目的を表す「～しに」	用言の語幹について「～しに」など移動の目的を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
4回	助詞「～から～まで」	日本語の「～から」、「～まで」に当たる韓国語の助詞を覚える。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
5回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう!				
6回	聞き取り練習	CDを聞き、聞き取りの練習をする。 聞き取れた内容をハングルで書く練習をする。 聞き取れなかった単語の発音を繰り返し聞いて正しい発音ができるように練習する。				
7回	過去形の作り方	これまで学んできた「해요体」の過去形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
8回	「으語幹用言」の活用	語幹が母音「으」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
9回	「안用言」の活用	韓国語の否定表現の一つである「안用言」について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
10回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 面接を想定し、韓国語で練習をする。				
11回	尊敬形の作り方	「해요体」の尊敬形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
12回	意志や推量を表す表現	「～するつもりです」といった話し相手の意志や、「～するでしょう」といった推量を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
13回	希望や願望を表す表現	動詞の語幹について、希望や願望を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
14回	復習問題とまとめ	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 期末テストに備え、総まとめをする。				
15回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国の文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れた単語をハングルで書いてみよう! 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	O	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	1年で学習したExcel基礎内容を再確認しながら、自分のスキルとして定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	パソコンの活用		クラウドについて Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 データのダウンロードやアップロードをマスターする。			
2回	Word基礎・応用		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)			
3回	Excel基礎		Excel基礎の復習① 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成、オートフィル活用			
4回	Excel基礎		Excel基礎の復習② 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成			
5回	Excel基礎		Excel基礎の復習③ 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成			
6回	Excel基礎		Excel基礎の復習④ 表作成、計算式、関数の挿入 比率を求める(前年比、達成率、構成比など)			
7回	Excel基礎		関数の練習 IF関数・RANK関数			
8回	Excel応用		関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUMIF関数			
9回	Excel応用		関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUMIF関数			
10回	Excel応用		WordとExcelを組み合わせ、報告書作成			
11回	Excel応用		WordとExcelを組み合わせ、報告書作成			
12回	Excel応用		表作成総合練習 検定過去問題の練習①			
13回	Excel応用		表作成総合練習 検定過去問題の練習②			
14回	Excel活用		表作成総合練習 検定過去問題の練習③			
15回	期末試験		前期期末試験実施			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテアⅡ			クラス	0選択クラス	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	様々なエントリーを使用して、複雑な予約作成を行う。 予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の見方や規則)を学ぶ			授業形態	実技	
到達目標	基本の予約操作に加え、運賃の基本(運賃表の表示)を習得する					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 運賃・発券 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	タイムスケジュール		タイムテーブルエントリーの復習を行う フライトスケジュール検索SN入力を学ぶ(AN空席照会やTNタイムテーブルと区別させる)			
2回	便利入力		フライトインフォメーション検索 DO入力を学ぶ 日付と時差の計算を行う DDエントリーを習得する PNR作成スピードアップの秘訣を学ぶ(ページアップ機能 履歴ページの活用方法)			
3回	アクセスレベル		アクセスレベルの意味を理解する(テキストで概要を理解して実際の操作で学ぶ) GGPCA入力を行う(練習問題使用)			
4回	2区間空席照会Ⅰ		2区間空席照会エントリーを学ぶ 2区間空席照会エントリーのオプション入力にてPNR作成を行う (航空会社、予約クラス、復路便指定などを学ぶ)			
5回	2区間空席照会Ⅱ		2区間空席照会からの予約を学ぶ(練習問題を使用してPNR完了まで)			
6回	PNRの分割Ⅰ		PNR分割とは何かを学ぶ(入力のポイントを理解する)			
7回	PNRの分割Ⅱ		PNR分割操作を行う(練習問題にてPNR完了まで)			
8回	前期・中間テスト		予約操作の応用編 総復習 ※中間試験の実施(PNR作成を主に PNR分割も含む)			
9回	予約総復習		中間試験の返却と答え合わせ			
10回	運賃表の表示Ⅰ		FQDエントリーを学ぶ			
11回	運賃表の表示Ⅱ		FQD画面確認を行う			
12回	運賃規則		FQNエントリーを学ぶ 運賃表から規則を確認する(変更可否、取消手数料、購入期限など)			
13回	PNRからの運賃計算		PNR作成後、運賃計算を行う(FXX/FXP) 運賃計算後の画面確認を行う			
14回	前期・総復習		PNR作成～運賃計算 → 答え合わせ 前期期末試験対策(対策用プリント有)			
15回	前期・期末テスト		期末試験のポイントを確認する ※期末試験(筆記と実技)			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	O②	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	GDSの役割を理解する コード検索、予約作成など基本操作を習得する			授業形態	講義	
到達目標	PNRを完成させる					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約、早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の目的、進め方、成績評価方法 ・GDSとは？ ・アマデウスの起動方法			
2回	各種コード検索①		・都市コード、空港コード、航空会社コードなど ・表示内容を読み取る			
3回	各種コード検索②		・復習 ・国コード、州コード、機材コードなど ・表示内容を読み取る			
4回	タイムテーブル		・復習 ・タイムテーブルエントリー ・表示内容を読み取る			
5回	空席照会①		・復習 ・空席照会基本エントリー ・空席照会オプションエントリー			
6回	空席照会②		・復習 ・空席照会オプションエントリー ・空席照会ショートカットエントリー			
7回	復習テスト		・各種コード～空席照会エントリーの復習テスト			
8回	予約①		・直行便フライト予約 ・乗継便フライト予約 ・ARNK入力			
9回	予約②		・復習 ・名前入力			
10回	予約③		・復習 ・連絡先。発券状況、送信元入力 ・PNRを完成させる			
11回	予約④		・練習問題			
12回	予約⑤		・PNRを読み取る			
13回	変更		・復習 ・予約便変更			
14回	キャンセル		・復習 ・予約便キャンセル ・旅客データ訂正			
15回	期末試験		・期末試験 ・まとめ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	O③	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子(ミヤマエノリコ)			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空業界紙面における面接力を鍛える。 自己PRと志望動機の完成と自分らしさを大切にしたい表現方法の習得			授業形態	講義	
到達目標	対面・WEBそれぞれに対応したアピール力方法を知り身につける。					
使用テキスト	オリジナルプリント配布 (1年次の授業で使用したクリアファイルを持参してください)					
成績評価方法	・期末試験60% 提出物20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己PR①		人を惹きつける表現方法を身につける			
2回	志望動機①		あらゆる切り口から志望動機を考え表現する			
3回	ガクチカ①		学生時代に力を入れたことについて			
4回	質疑応答①		アドリブ力を身につける			
5回	グループディスカッション①		業界に関するテーマをディスカッションする			
6回	自己PR②		あらゆる質問にも対応できるよう自己PRを強化する			
7回	志望動機②		表現方法を駆使した志望動機の伝え方を習得			
8回	ガクチカ②		想定される質問を考える			
9回	質疑応答②		アドリブ力を鍛える			
10回	採用試験準備		スピーチ			
11回	採用試験準備		スピーチ			
12回	採用試験準備		スピーチ			
13回	期末試験①		面接試験			
14回	期末試験②		面接試験			
15回	まとめ		この授業のまとめと将来への展望			





# 鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	鉄道施設概論
1	鉄道駅実務
1	鉄道営業規則
1	時刻表
1	国内地理Ⅰ
1	国内地理Ⅱ
1	就職活動講座
1	就職筆記対策Ⅰ
1	就職筆記対策Ⅱ
1	コミュニケーションイングリッシュ
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道車両Ⅰ
2	鉄道車両Ⅱ
2	鉄道業界研究
2	就職活動講座
2	就職筆記試験対策Ⅰ
2	就職筆記試験対策Ⅱ
2	面接対策
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーションイングリッシュ

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わるフェールセーフについて学ぶ 鉄道保安装置の仕組みと役割を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全にかかわる規定、用語、装置を知ることにより鉄道の安全を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するための必要条件を学び「安全」に対する意識を高める			
2回	鉄道の安全について①		1.鉄道営業法について学ぶ 2.安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について			
3回	鉄道の安全について②		1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する			
4回	鉄道の安全について③		1.コンプライアンスの鉄道事故について 2.過去から学ぶ安全について知る 3.過去の事例研究を行い、鉄道の安全意識を高める			
5回	鉄道の安全について④		1.ヒューマンエラーについて学ぶ 2.規則違反と不安全行動について学ぶ 3.運転事故について学ぶ			
6回	鉄道の安全について⑤		1.ハインリッヒの法則から学ぶ事故防止 2.エラータイプチェックによる個人診断 3.ヒヤリ・ハットについて学ぶ			
7回	鉄道の安全について⑥		1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る			
8回	鉄道の安全について⑦		1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る			
9回	鉄道用語		1.鉄道に関わる用語を知り鉄道に対する意識を深める 2.鉄道用語の意味 3.異常時に使われる鉄道用語			
10回	鉄道保安装置①		1.鉄道保安装置概要 ・保安装置の種類を学ぶ ・保安装置の役割を学ぶ			
11回	鉄道保安装置②		1.鉄道保安装置の構造を学ぶ ・地上設備を学ぶ ・用語の意味を理解することにより保安装置の理解を深める			
12回	鉄道車両紹介		1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	西日本鉄道株式会社			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道従事員の基本的業務内容の把握と、鉄道従事員の役割について学 ヒューマンエラーの防止と安全に対する意識を理解させる。			授業形態	講義	
到達目標	鉄道従事員の就業内容をよく理解すると共に、鉄道施設等の仕組みを学ぶ。					
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術・講師作成P.P					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		自己紹介 授業の目的・進め方・成績評価方法について理解する。 西鉄電車教習所について学ぶ。			
2回	鉄道法規		鉄道に関する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。			
3回	鉄道係員への一歩		運転に関する規定とルールについて学ぶ。 運転関係係員の資格要件について学ぶ。 鉄道係員の心構えを理解させる。			
4回	鉄道用語の説明		基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を復習する。			
5回	信号		鉄道信号の種類と方式について学ぶ。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。			
6回	合図		列車出発に関する合図を学ぶ。 推進運転合図・パンタグラフ降下合図を知る。 入換合図を理解する。			
7回	標識		列車の標識を知る。 駅構内および駅間に設置された標識について学ぶ。 列車標識・列車識別標識・列車種別標識の違いを理解する。			
8回	列車防護		列車防護の種類を理解する。 列車防護の種類を理解する。必要性を理解する。 列車防護を行なう場合、また省略出来るときや解除の方法を知る。			
9回	鉄道事故		過去の事故事例をDVDを活用し説明を行い職責の重大性を理解する。 事故原因を追究し事故防止の意識を深める。 グループ討議を行い要点の抽出を行う。			
10回	異常時の対策		気象予報警報・注意報のの発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。			
11回	鉄道設備名称		踏切警報装置・踏切遮断装置・電車線路の構造や線路、分岐器などについて学ぶ。 電気設備について学ぶ。 鉄道信号について振り返る。			
12回	運転保安装置		保安装置の種類について学ぶ。 ATS(自動列車致死装置)について学ぶ。 ATC(自動列車制御装置)について学ぶ。			
13回	作業安全		指差確認呼称の重要性について学ぶ。 安全の必要性について学ぶ。 事故とケガについて理解する。			
14回	気付き・ヒヤリハット・事故		ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。			
15回	前期まとめ		前期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ				
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ				
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する				
4回	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ				
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る				
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する				
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ				
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ				
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る				
10回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ				
11回	鉄道乗務員	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
12回	鉄道運行に関わる係員①	1.司令及びダイヤについて学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知り、鉄道運行の安全確保にたいする使命を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムとの関係を学び、時刻表がどのような				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道施設概論			クラス	N
担当講師(フルネーム)	加来 篤史(代表者)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道施設の基礎を学ぶとともに、 鉄道にとって最も重要な安全について学びます。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道に係る施設保守の使命および知識を身につける				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
木曜日	テーマ	授業内容			
1回 4/13 1限	オリエンテーション	授業の進め方と評価方法 JR九州における施設のお仕事			
2回 4/13 2限	安全概論	鉄道における安全対策 ヒヤリ・ハット、リスクマネジメント、安全ちゃんねる視聴			
3回 4/20 1限	施設の基礎	線路の構造、軌道の材料、建築限界			
4回 4/20 2限	施設の基礎	線路の構造、軌道の材料、建築限界			
5回 4/27 (5/11予備)	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)			
6回 4/27 (5/11予備)	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)			
7回 4/27 (5/11予備)	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)			
8回 4/27 (5/11予備)	施設実習	実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR(触車・墜落体感)、列車待避訓練(列車風圧体感)			
9回 5/18 1限	保線の基礎	保線基礎概論、踏切等保線設備の役割			
10回 5/18 2限	新幹線の基礎	新幹線設備の保全業務			
11回 5/25 1限	土木の基礎	土木基礎概論、橋梁等土木設備の役割			
12回 5/25 2限	建築の基礎	建築基礎概論、駅等建築設備の役割			
13回 6/1 1限	機械の基礎 (施設実習)	機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験			
14回 6/1 2限	機械の基礎 (施設実習)	機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験			
15回 6/8 1限	期末試験	まとめ			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道駅実務			クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通業界、特に鉄道業界の動向、経営・運営概況を学ぶ。 鉄道駅実務の仕組み、内容、役割等を理解し、基本知識・スキルを習得する。			授業形態	講義&演習
到達目標	交通・鉄道関連に従事するための基本的資質の育成・向上を図る。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバスの概要、講義の進め方等の説明 日本鉄道の概況、鉄道専門用語、略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説			
2回	鉄道経営の概況	JRグループの概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
3回	〃	主要民鉄(東日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
4回	〃	主要民鉄(西日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
5回	鉄道事業の運営	鉄道会社の組織・業務運営体制(営業・運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
6回	〃	鉄道会社の組織・業務運営体制(施設・電気・新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
8回	鉄道駅の今後の役割	鉄道駅の今後の役割とその方向性 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
9回	鉄道駅業務の概要	鉄道駅の業務運営体制と部門別概要 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
10回	〃	鉄道駅の付帯業務及び安全・地球環境保全への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク			
11回	鉄道駅運営の実態と課題	鉄道駅の運営運営体制の変遷と今後の課題 交通関連トピックス解説			
12回	鉄道駅社員のキャリアパス	鉄道会社の採用・社員運用 交通関連トピックス解説			
13回	社会人・組織人の基礎知識	交通関連に従事するための基礎知識(法、規範、ルール等) 交通関連トピックス解説			
14回	鉄道駅業務見学	JR博多駅見学(予定)			
15回	まとめ	振り返りと要点整理 期末試験の傾向と対策 交通関連トピックス解説			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道営業規則			クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道営業に関する基本的な知識・スキルを習得する。 鉄道営業規則をベースに運賃・料金や各種サービス等を識る。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道営業の基本となる乗車券類の取扱ルール、各種サービスを理解し、実践できるスキルを身につける。				
使用テキスト	旅客営業規則				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバスによる講義概要及び進め方等 鉄道営業に関する法・規則のあらまし			
2回	旅客営業規則の概要	旅客営業規則総則・通則			
3回	乗車券類	乗車券類の種類、発売日、有効期間、大人・子ども等			
4回	〃	〃			
5回	運賃・料金	普通運賃、定期運賃、割引運賃、急行料金等、運賃計算の特例、その他			
6回	〃	〃			
7回	〃	〃			
8回	乗車券類の効力・様式等	通則・特例、有効期間、継続乗車、途中下車、選択乗車、改札・引き渡し			
9回	乗車変更等	乗車変更、払い戻し、紛失			
10回	入場券等	入場券、手回り品、携帯品一時預かり			
11回	障害者割引制度等	身体障害者割引、知的障害者割引、特定者用定期乗車券			
12回	トクトクきっぷ	通年発売、期間限定発売等			
13回	その他のサービス	車いす対応、車内サービス、ジパング倶楽部、駅レンタカー、便利なカード等			
14回	特別講義	営業現場責任者等の経験談、今後の課題等について			
15回	質疑応答・まとめ	振り返り、期末試験対策等			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	時刻表			クラス	N
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する条件に沿って、時刻表で乗車する列車の時刻・所要時間・経路を確認する			授業形態	講義&演習
到達目標	駅案内に必要な能力を身に付け、駅業務に必要な知識を身に付ける				
使用テキスト	JR時刻表・講師作成プリント・Google Classroom(Forms)				
成績評価方法	・確認テスト(期末試験)70% 平常点30%(小テスト・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	・授業の進め方／評価方法 <b>※シラバスを使って説明します。必ず持ってくること。</b> ・日本の地方区分・JR駅・路線名と旧国名 ・時刻表を使って調べてみよう			
2回	JRの基礎知識①	・旅客鉄道会社(JR)とは ・旅客営業規則・JR6社・JR各社路線図・新幹線と特急列車			
3回	JRの基礎知識②	・運賃と料金の違い ・JR乗車券類の発売・発売日・有効期間 ・時刻表検索演習			
4回	運賃①	・運賃の基本 ・3島会社の加算額・通過連絡運輸の取り扱い ・運賃計算演習			
5回	運賃②	・運賃の特例(特定都区市内・大都市近郊区間) ・運賃の割引(往復割引・学生割引) ・運賃計算演習			
6回	料金①	・料金の種類(5つの料金)と計算 ・料金計算演習			
7回	料金②	・新幹線内乗継 ・在来線内乗継 ・料金計算演習			
8回	料金③	・乗継割引 ・山形・秋田新幹線の料金計算 ・料金計算演習			
9回	変更・払戻	・変更・払戻 ・払戻計算演習			
10回	寝台特急・団体	・寝台特急列車の計算 ・団体の扱い			
11回	時刻表検索①	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
12回	時刻表検索②	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
13回	時刻表検索③	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
14回	時刻表検索④	・条件に沿ってJR時刻表を使って検索(列車の時刻・所要時間・経路)			
15回	確認テスト(期末試験)	・確認テスト実施			

・この講義では**運賃・料金等計算**をしますので、**電卓の使用**を認めます。  
 (スマートフォンの電卓機能は使用不可)  
 ・講師作成プリントは講義時に配布します。  
**マーカーを用意**してください。  
 ・**小テスト**(数回実施)は**Google Forms**を使用し、**スマートフォンで解いてもらいます**。



対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	国内地理 I			クラス	N
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やす。国内地理検定(中級)/国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	旅行地理検定対策	1. 山岳 2. 峠・峡谷・溪谷 4. 高原・湿原 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
2回	旅行地理検定対策	小テスト 7. 岬・半島 8. 海岸・砂丘 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
3回	旅行地理検定対策	小テスト 11. 神社 12. 寺院 21. 城・城跡 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
4回	旅行地理検定対策	小テスト 温泉(東日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック			
5回	旅行地理検定対策	小テスト 23. 日本の世界遺産 25. 国立公園 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
6回	過去問を解く	過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
7回	過去問を解く	過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
8回	北海道	北海道 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ			
9回	東北②	宮城、秋田 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
10回	関東①	栃木、群馬 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
11回	中部①	石川、福井、富山 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
12回	中部③	長野、岐阜、愛知、三重 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
13回	関西②	京都、滋賀、奈良 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
14回	九州①	福岡、佐賀、長崎、熊本 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
15回	沖縄、前期のまとめ	沖縄 名所・観光地・名産について学ぶ。サブノートに記入 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	国内地理Ⅱ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やす。国内地理検定(中級)/国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 地理検定の問題を解いてみよう 今年、話題の観光地を考える		
2回	旅行地理検定対策		小テスト 3. 滝・鍾乳洞 5. 湖・沼・池 6. 河川 テキスト、プリントのキーワードをチェック		
3回	旅行地理検定対策		小テスト 9. 島 テキスト、プリントのキーワードをチェック		
4回	旅行地理検定対策		小テスト 13. 庭園・名園 15. 美術館・博物館 16. 文学館・記念館 18. テーマパーク 19. 祭り など テキスト、プリントのキーワードをチェック		
5回	旅行地理検定対策		小テスト 温泉(西日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック		
6回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える		
7回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える		
8回	東北①		青森、岩手 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
9回	東北③		山形、福島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
10回	関東②		茨城、埼玉、千葉、東京、千葉 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
11回	中部②		山梨、静岡、新潟 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
12回	関西①		大阪、兵庫、和歌山 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
13回	四国		徳島、香川、愛媛、高知 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
14回	中国		岡山、広島、山口、鳥取、島根 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		
15回	九州		大分、宮崎、鹿児島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入		

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	自己分析を行い、自分の強みを知る。 鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。			授業形態	講義	
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。					
使用テキスト	・専門学校生のための就職内定基本テキスト ・就職ノート ・鉄道業界大研究 ・講師作成プリント					
成績評価方法	・課題点100%(ただし、平常点も含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明			
2回	講師JR九州での経験①		工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで			
3回	講師JR九州での経験②		本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師			
4回	就職活動の流れ		就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール			
5回	自己分析①		自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する			
6回	自己分析②		自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする			
7回	他己分析		クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する			
8回	自己分析③		自己分析まとめ			
9回	自己PR作成①		自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする			
10回	自己PR作成②		300字程度で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について			
11回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)		運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる			
12回	職種研究 (駅員・パーサー)		駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる			
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)		個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認			
14回	志望動機の作成 (鉄道業界編)		300字以内で書いてみよう			
15回	前期の振り返り		自分自身をどれだけ知ることができたかを確認する 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策 I			クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナウイルス禍後テスト形式はWeb 鉄道系企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。玉手箱SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進みません。キツイけど一緒に頑張ります。			授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、便覧どおり出席率の75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認 テキストp20~42	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推論し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。			
2回	鶴亀算1 連立方程式 テキスト p50~80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。			
3回	鶴亀算2 連立方程式賠償算 テキスト p50~80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げる、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか?			
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算 p86~109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いついた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつきますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。			
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算 流水算p86~109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。			
6回	食塩水の濃度1 p109~119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の濃度の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、鉄道の駅 ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?			
7回	食塩水の濃度2 p109~119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといいですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント			
8回	年齢算 テキストに無し	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。			
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)テキストに無し	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割り・割り増しの考え方を理解できるようになります。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの日が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内まさに時間との闘い。			
10回	確率1 Probability テキストp158~177	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイント(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?			
11回	順列1 Permutation p136~145	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。公式は、 $nPr = \text{permutation} = \text{順列}$ nは全体の数字(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけで絶対落とせません。順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません			
12回	組み合わせ1 Combination テキストpp146~157	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違えば別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC~CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。公式 $nCr = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。			
13回	仕事算1 テキストに無し	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量 = $1 \div \text{かかった日数(時数分秒数)}$ Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとても多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=allの意味に使われています。詳しくは講義の中で。			
14回	仕事算2 推論 暗号問題 テキストに無し	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する?など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためられます。			
15回	構造的把握力検査 前期学習の総まとめ テキストp280~283	新傾向の問題 鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 後期学習の最重要分野の推論について			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策事業			授業形態	講義
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す				
使用テキスト	内定ナビ！時事&一般常識(高橋書店)				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	目指せ「漢検2級」	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定模擬試験(現在取得している級より上の級の問題にチャレンジします)			
2回	地理基礎知識(1)	都道府県庁所在地を確認 日本の国土に関する基礎知識			
3回	地理基礎知識(2)	主要国の首都を確認 世界の国土に関する基礎知識			
4回	地理基礎知識(3)	地理学・地図に関する基礎知識 時事問題で扱われる国や地域			
5回	国際(1)	国際連合のしくみ 新型コロナウイルスの感染対策で奔走しているWHOなど、国連の専門機関とその役割を学びます			
6回	国際(2)	EU及び地域協定 世界の平和・発展には国同士の付き合いが大切です。世界の地域協定を学びます			
7回	国際(3)	主要国首脳会議(G7サミット) 年1度開かれるG7サミットについて学び、主要国の首脳をおぼえます。 今年のG7サミットは広島で開催されます。			
8回	政治(1)	日本国憲法の基礎知識 三権分立			
9回	政治(2)	国会・内閣のしくみ 内閣と省庁			
10回	政治(3)	裁判所のしくみ 裁判員制度			
11回	政治(4)	地方自治の役割			
12回	経済(1)	経済の三主体			
13回	経済(2)	日本銀行の役割			
14回	経済(3)	為替相場、主要国の通貨単位 経済用語の基礎知識			
15回	前期のまとめ	前期の復習 夏休みの課題説明			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有
授業概要(内容)	学生のレベルに合わせて、外国人と話す時に ①困らない、 ②言われている内容を理解する、③伝えたい事を言える。			授業形態	講義
到達目標	主に、リスニングとスピーキングがメインで英語のコミュニケーションが上手になる。				
使用テキスト	English for daily conversation				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Introduction	Self Introduction Decide the dialogs order for the first semester			
2回	Dialog 1	Warm-up and simple conversation Dialog 1 Remarks			
3回	Dialog 2	Warm-up and simple conversation Dialog 2 Remarks			
4回	Presentation 1	3mn presentation Native English			
5回	Q&A 1	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
6回	Dialog 3	Warm-up and simple conversation Dialog 3 Remarks			
7回	Dialog 4	Warm-up and simple conversation Dialog 4 Remarks			
8回	Presentation 2	3mn presentation Native English			
9回	Q&A 2	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
10回	Dialog 5	Warm-up and simple conversation Dialog 5 Remarks			
11回	Dialog 6	Warm-up and simple conversation Dialog 6 Remarks			
12回	Presentation 3	3mn presentation Native English			
13回	Q&A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
14回	Dialog Test	Oral test on various topics			
15回	English Games	Enjoy while using English			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける 車両運用手配を学び異常時に対する取扱いを身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識と概要を身に着ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する説明を行う ・行路作成について入力説明を行う			
2回	ダイヤグラム作成作業		1.作業用記号を行路ごと列車に記入する 2.乗務員の動きを把握するための説明を行い、各自が乗務員の作業を把握する			
3回	ダイヤグラム作成作業		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
4回	ダイヤグラム作成作業		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
5回	乗務員行路表作成作業①		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する			
6回	乗務員行路表作成作業②		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する			
7回	乗務員行路表作成作業③		1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う			
8回	乗務員勤務①		1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる			
9回	乗務員勤務②		1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を経験し、乗務員に対する意識を実感させる			
10回	運用手配実践①		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する			
11回	運用手配実践②		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行			
12回	運用手配実践③		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	鉄道用語説明		1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ			
2回	異常時		1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける			
3回	列車遅延		1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う			
4回	車両故障①		1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける			
5回	車両故障②		1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける			
6回	保安装置故障①		1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする			
7回	保安装置故障②		1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う			
8回	急病人対応		1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2.習熟度確認			
9回	踏切及び人身事故①		1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付ける			
10回	踏切及び人身事故②		1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱いを学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2.人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施			
11回	異常時対応全般説明		1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める			
12回	異常時発生時の車両・運用手配		1.車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2.運用変更手配表の説明 3.運用手配表に沿った車両運用・乗務員手配を行う			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ		1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策			



対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両 I (電車)			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ			
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他 ) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ			
3回	空気ブレーキ方式と保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
5回	補助電源装置の用途と回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ			
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)			
7回	鉄道車両に設置すべき設備①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)			
8回	鉄道車両に設置すべき設備②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3.習熟度確認			
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける			
10回	運転理論の基礎知識と計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける			
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ			
12回	車両メンテナンス	1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両Ⅱ(気動車)			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ) 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	電気配線に対する理解力を向上させる				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ			
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ			
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ			
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ			
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N~5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する			
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進) 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る			
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(後進) 2.習熟度確認(結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する)			
10回	変速回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
11回	直結回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道業界研究			クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			授業形態	講義
到達目標	鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト			
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社			
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など			
4回	鉄道業界最新事情③	今年に入ってからの鉄道トピックスの新聞報道を紹介する			
5回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす			
6回	鉄道システム	近年導入されている鉄道システムについて学ぶ			
7回	鉄道会社の 財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する			
8回	鉄道会社の 企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる			
9回	鉄道業界最新事情④	今年に入ってからの鉄道トピックスの新聞報道を紹介する			
10回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする			
11回	グループディスカッション 事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする			
12回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ			
13回	期末テスト対策	鉄道従事員として最低限知っておきたい項目について学ぶ			
14回	期末テスト	期末テスト実施			
15回	前期のまとめ	前期のまとめ 鉄道従事員としての心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義	
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から確実に内定を得ることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		一年生の振り返り、前期説明 一般常識、就活マナーテスト			
2回	受験対策		実習経験を活かした志望動機や自己PRの作り方 文章作成の基本(三段構成法、PREP法など)			
3回	受験対策		最終模擬面接の振り返り 適性検査、一般常識、小論文			
4回	受験対策		就活方法の再確認及び反省 PDCAサイクル			
5回	受験対策		座右の銘を知り、自身の価値観を分析する			
6回	受験対策		キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する			
7回	受験対策		全就活生の就活進行状態を知る 若年者の就職率 就活で落ち込んだ時のためのセルフコーチング			
8回	受験対策		他己分析を行い、組織・グループ内での立場を認識する			
9回	受験対策		先輩の声を活かした志望動機の作成			
10回	受験対策		鉄道業界最新事情を知り、小論文を作成する			
11回	先輩の声 (運転士・車掌)		鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究			
12回	先輩の声 (駅員)		鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究			
13回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
14回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
15回	これまでの就職活動の 振り返り		未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 早期就業者に対する心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策 I			クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナウイルス禍後形式はWebがメイン 鉄道系企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。玉手箱・SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な言語分野(国語・英語)一般常識社会の学力を修得することが出来ます				
使用テキスト	無し (5冊のテキストを参考)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	テキストP234～249 40 41 42 43 講		同意語 対義語 二語の関係性の基本問題他		
2回	テキストP250～261 44 45 46 講		文法問題 敬語問題 ことわざ 慣用句の問題 漢字検定準2級問題 二語の関係性他SPI類似問題		
3回	テキストP262～279 47 48 49 講		文章構成 文章整序 長文問題 漢字検定準2級問題 二語の関係性他SPI類似問題		
4回	Webテスト①		熟語の成り立ち 文章の整序 問題 社会 一般常識		
5回	Webテスト②		空欄補充 長文の読解 問題 社会 一般常識		
6回	Webテスト③		空欄補充 長文の読解 総合問題の過去問		
7回	玉手箱① 国語 選択肢 は ABCの三択		人文系文章 自然科学系 エッセイ 論理的読解		
8回	玉手箱① 国語 選択肢 は ABCの三択		総合予想問題 論理的読解		
9回	玉手箱① 国語 選択肢 は ABCの三択		趣旨判定の文章 就職活動に関する文章		
10回	テストセンター 英語 1年次の続き ①		反意語 空欄補充 言葉の説明 和文英訳		
11回	テストセンター 英語 1年次の続き ②		反意語 空欄補充 言葉の説明 和文英訳		
12回	玉手箱① 国語 選択肢 ABCの三択問題		長文読解 論理的判断 本文の論理から明らかに正しい 本文の論理から明らかに間違っている 本文の内容からでは 正しいか 間違っているかは判断できない		
13回	玉手箱① 国語 選択肢 ABCの三択趣旨		長文読解 論理的判断 筆者の趣旨が述べられている 筆者はそのことに触れてはいるが趣旨ではない この文章と関係ないことが述べられている		
14回	玉手箱① 国語 選択肢 は ○○○○の四択肢		非常に長い文章を読んで、筆者の訴えに最も近いものを、○が4個ある選択肢の中から適切な選択肢の○をマウスでクリックする		
15回	1年2年の総復習		文法問題 敬語問題 ことわざ 慣用句の問題 その他国語の問題		

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後の形式はWeb 鉄道系各会社の過去問を中心に問題が出題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI検査試験に合格しないと面接に進めません。検査試験合格に向けて一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	無し (5冊のテキストを参考)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	表の読み取り	統計資料 (日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)			
2回	表の読み取り	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)			
3回	テストセンター推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
4回	テストセンター推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかけるの公式など 表を短時間に読み取ることがポイント			
5回	テストセンター推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
6回	玉手箱	四則逆算 整数の計算 小数と%の計算 分数の計算 □がある計算(1次方程式)			
7回	玉手箱 C-GAB	GAB計数 統計表の読み取り 円グラフ 折れ線グラフ 棒グラフ			
8回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも=余事象の問題がポイント) 順列と組合せ			
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)			
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)			
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。			
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受検(能力検査試験なので受験ではなく、受検の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分			
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チュールリップ パラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理			
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいついるとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出た目の条件 Kら50			
15回	1年次2年次総復習	連立方程式 集合 確率 順列(円順列) 組み合わせ(重複組み合わせ) 食塩水 などの公式の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	面接対策			クラス	M
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職活動において、企業から選ばれる人物になり得よう内面と外面の表現について実践を通して考え体得する			授業形態	実技
到達目標	適材適所の表現力を身につける				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	就職面接について	一年時の面接対策のまとめ 現在の就職面接の流れを説明する それぞれに目標を掲げる			
2回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方			
3回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と表情			
4回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と行動			
5回	振り返り	第1回~第4回までの振り返りを行い、課題を明確にする			
6回	集団討議演習	テーマ1 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
7回	集団討議演習	テーマ2 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
8回	集団討議演習	テーマ3 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)			
9回	集団面接演習	面接実技			
10回	集団面接演習	面接実技			
11回	集団面接	面接実技			
12回	集団面接	面接実技			
13回	個人面接	面接実技			
14回	個人面接	面接実技			
15回	まとめ	組織人としての考え方			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での簡単日常会話と接客法					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聴覚障がい者と手話	聞こえないとは 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	伝え合ってみましょう	ものの形や身振り表情でコミュニケーション あいさつ				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介 名前の表し方・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう	数の表し方 数に関する接客手話				
6回	手話で表現してみましょう	自分のことを手話で伝える 趣味の表現				
7回	仕事について話しましょう	職業の手話表現 職場でつかう手話				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 交通手段の表現				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	一日のことを話しましょう	時の表し方 過去の表現				
11回	過去・現在・未来	時間の経過を表す 行事				
12回	接客手話	聴覚障がいのあるお客様に対するサービスの在り方				
13回	きこえないとは	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活 実技テスト練習				
14回	実技テスト	学んだ手話で実技テスト				
15回	まとめ	手話学習まとめ				



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道 科	
科目名	コンピュータ			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	IT基礎		OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力			
2回	Word基礎		キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について			
3回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など			
4回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など			
5回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
6回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
7回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど			
8回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習			
9回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
10回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
11回	前期期末試験		前期期末試験実施			
12回	Excel基礎		Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
13回	Excel基礎		表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
14回	Excel基礎		表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
15回	Excel基礎		表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ) 学期内小テスト実施			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	M
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Tim Orris			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Dialog sheet 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Presentation: Cuisine Interview Pair work and role playing for Dialog 1		
2回	Warm Up: P7, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Dialog sheet 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Presentation: My favorite restaurant Pair work and role playing for Dialog 1		
3回	Warm Up: P8, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Dialog sheet 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Presentation: My favorite restaurant Pair work and role playing for Dialog 2		
4回	Warm Up: P9, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Dialog sheet 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Presentation: School Memory Lane Pair work and role playing for Dialog 2		
5回	Warm Up: P10, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Dialog sheet 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Presentation: School Memory Lane Pair work and role playing for Dialog 3		
6回	Warm Up: P11, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Dialog sheet 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Presentation: My Best School Trip Pair work and role playing for Dialog 3		
7回	Warm Up: P12, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Dialog sheet 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Presentation: My Best School Trip Pair work and role playing for Dialog 4		
8回	Warm Up: P13, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Dialog sheet 4 Oral Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with L Presentation: My School Club Pair work and role playing for Dialog 4 <b>Oral Test</b>		

# 国際ホテルマネジメント

学年	科目名
1	フロントサービス
1	レストランオペレーション
1	現代国語
1	日本語ビジネス会話
1	日本地理
1	コンピュータ
1	ビジネスマナー
1・2	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）
1・2	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）
1・2	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）
1・2	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）
2	バンケット
2	ホテル実務技能認定試験
2	日本語ビジネス会話
2	TOEICⅠ・Ⅱ
2	ペン字
2	SPI対策（言語・非言語）
2	就職活動講座
2	コンピュータ
3	マーケティング
3	外食産業
3	マネジメント
3	マナープロトコール
3	日本語読解
3	コミュニケーションイングリッシュ
3	SPI対策（言語・非言語）
3	面接対策
3	就職活動講座
3	コンピュータ
3	日本語能力試験対策Ⅰ
3	ビジネス能力検定
3	日本語能力試験対策Ⅱ
3	BJT対策

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)業務の習得。また、それに関連する他部署の業務についての知識を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		自己紹介 成績評価と授業スケジュールの説明 ホテルとは…			
2回	宿泊部とは		ホテルでは何をすることができる? ⇒ 宿泊部の役割とは なぜホテルを利用する?			
3回	宿泊部とは		宿泊部の組織と業務内容			
4回	ドアマンの業務		ドアマンの日常業務 身だしなみ・心構え お客様の送迎			
5回	ドアマンの業務		玄関周辺での業務 バレーサービス 案内業務			
6回	ドアマンの業務		お客様の送迎(実技)			
7回	ベルマンの業務		ベルマンとは ベルマンの日常業務 身だしなみ・心構え			
8回	ベルマンの業務		チェックイン・チェックアウト			
9回	ベルマンの業務		団体客への対応 ページング・ルームチェンジ			
10回	ベルマンの業務		待機中の要点 ロビー周辺の整理・整頓・チェック ロビー管理			
11回	ベルマンの業務		デリバリー・バゲッジイン ドアオープン 宅配便の取り扱い			
12回	ベルマンの業務		新聞の配達と発注 タクシー、ハイヤー、リムジンバス 旗の取り扱い(掲揚・降納)			
13回	クローク係の業務		クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順			
14回	前期授業のまとめ		前期授業の復習を行う			
15回	期末試験		前期期末試験を実施□			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	長野美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ 企業実習を意識した講義と実践を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	企業実習にむけて日本のホテルの料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング			
2回	料飲部門の概要		レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス			
3回	フランス料理①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践			
4回	フランス料理②		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う			
5回	フランス料理③		グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス			
6回	フランス料理④		レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践			
7回	その他の西洋料理		イタリア料理を知る トレーサービス復習			
8回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
9回	ドリンク②		ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
10回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践			
11回	日本料理①		会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践			
12回	日本料理②		箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お銚子の扱い方			
13回	アルコールについて		日本酒・焼酎について サーバー(ウェスタン)サービス			
14回	期末試験課題発表		期末試験の課題を発表 練習			
15回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本語の昔話や文学作品を読みます 時事についての文を読んで、時事用語を学びます			授業形態	講義	
到達目標	日本の文学作品を読んで、日本語の表現をたくさんおぼえます					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、授業を受けるときの注意、評価方法についての説明 自己紹介			
2回	日本の詩		日本の詩 原稿用紙の使い方 宿題の答えあわせと説明			
3回	日本の昔話(1)		日本の昔話を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
4回	日本の昔話(2)		日本の昔話を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
5回	時事ニュース(1)		時事ニュースを読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
6回	時事ニュース(2)		時事ニュースを読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
7回	日本の文学(1)		日本の文学作品を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
8回	日本の文学(2)		日本の文学作品を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
9回	日本の文学(3)		日本の文学作品を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
10回	日本の文学(4)		日本の文学作品を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
11回	日本の文学(5)		日本の文学作品を読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
12回	時事ニュース(3)		時事ニュースを読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
13回	時事ニュース(4)		時事ニュースを読んで、内容についての問題にこたえます 宿題の答えあわせと説明			
14回	前期のまとめ		宿題の答えあわせと説明 前期に勉強した内容を確認して、期末テストの準備をします			
15回	期末テスト		期末テスト 夏休みの課題について			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無	
授業概要(内容)	・ビジネス会話を練習しながら、日本事情を学ぶ。 ・日本語能力試験(JLPT)でも必要になる敬語表現を練習する。			授業形態	講義	
到達目標	仕事で使う日本語表現を学び、状況に応じて自然な対応ができる。					
使用テキスト	『初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語—場面に合わせて適切に話そう—』(スリーエーネットワーク)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	1課	新任の挨拶	・授業について説明 ※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題／ロールプレイ1			
2回	1課	新任の挨拶	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
3回	2課	電話がこわい	・1課小テスト(語彙、表現)／※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
4回	2課	電話がこわい	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
5回	3課	ミスをして謝る	・2課小テスト(語彙、表現)／※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
6回	3課	ミスをして謝る	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
7回	4課	仕事が山積み	・3課小テスト(語彙、表現)／※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
8回	4課	仕事が山積み	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
9回	5課	飲みニケーション	・4課小テスト(語彙、表現)／※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
10回	5課	飲みニケーション	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
11回	6課	夏休みはいつ取る？	・5課小テスト(語彙、表現)／※敬語表現の練習 ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
12回	6課	夏休みはいつ取る？	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
13回	7課	いとこを空港まで迎えに	・6課小テスト(語彙、表現) ・聞くタスク／モデル会話／練習問題 ・ロールプレイ1			
14回	7課	いとこを空港まで迎えに	・復習／※敬語表現の練習 ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク			
15回		期末試験	・会話／筆記(会話表現、敬語表現)、どちらも行う			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本のホテル業界を目指すにあたって知っておくべき日本地理を学び自分が旅をする時や、旅行者に案内するために必要な知識を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	都道府県の名前を正しく覚える。代表的な観光資源は正しく読む。どのような観光地か知る。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験50% 提出物50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	47都道府県の確認		P1 全国図			
2回	九州・沖縄地方		P8 九州・沖縄地方 地図 P49 福岡県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
3回	九州・沖縄地方		P51 長崎県 P55 鹿児島県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
4回	中国・四国地方		P7 中国四国地方 地図 P41 広島県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
5回	中国・四国地方		JR 私鉄 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
6回	関西地方		P6 関西地方 地図 P38 大阪府 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
7回	関西地方		P39 兵庫県 P35 京都府 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
8回	関西地方		航空 P36 奈良県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
9回	予備日		ホテル			
10回	中部地方		P5 中部地方 地図 P28 愛知県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
11回	中部地方		P26 長野県 P31 石川県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
12回	関東地方		P4 関東地方 地図 P22 東京都 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
13回	関東地方		P23 神奈川県 P22 栃木県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
14回	予備日		祭			
15回	期末試験		期末試験			



対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 日本のパソコンが問題なく扱えるようになる。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっつた日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	IT基礎		OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力			
2回	Word基礎		キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)			
3回	Word基礎		キーボード操作(キーボードの使用、変換と予測変換の使い分け) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)			
4回	Word基礎		キーボード操作(キーボードの使用、変換と予測変換の使い分け) ファイル、フォルダの管理 タイピング練習(ひらがな・カタカナ・50音・カタカナ語・単語・短文)			
5回	Word基礎		タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)			
6回	Word基礎		タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)			
7回	Word基礎		タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)			
8回	Word基礎		タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)			
9回	Word基礎		タイピング練習 短文入力 ビジネス文書作成(社内文書)			
10回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど			
11回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習			
12回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
13回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
14回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
15回	前期期末試験		前期期末試験実施			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	Sクラス	
担当講師(フルネーム)	池田 香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ビジネスマナー、コミュニケーションについて学び社会人になるための準備をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	日本社会で仕事をする上で必要な態度や行動を学ぶ。					
使用テキスト	ビジネスマナーワークブック(西文社)・プリント					
成績評価方法	・小テスト・提出物50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	なぜビジネスマナーを学ぶのか	この授業を受けるときの約束について 「マナー」とは何か考えてみよう 「マナー」と「エチケット」の違い				
2回	あいさつとおじぎ	あいさつの意味と大切さ 第一印象を決めるあいさつ 表情や態度の重要性				
3回	あいさつとおじぎ	さまざまな場面でのあいさつ言葉 立ち姿とお辞儀				
4回	あいさつとおじぎ	あいさつとおじぎを出来るようになる あいさつ実技テスト				
5回	身だしなみ、立ち居振る舞い	身だしなみとおしゃれ ※スーツを着て受講のこと				
6回	身だしなみ、立ち居振る舞い	立ち居振る舞いの基本 立ち方、座り方、歩き方、物の渡し方、方向の示し方、前傾姿勢 立ち居振る舞い実技テスト				
7回	言葉遣い・敬語	敬語について学ぶ① 敬語の種類・使い方				
8回	言葉遣い・敬語	敬語について学ぶ② 敬語の誤り				
9回	言葉遣い・敬語	来客対応の言葉遣いを学ぶ① 接遇用語について学ぶ 言葉遣いの間違い探し				
10回	言葉遣い・敬語	来客対応の言葉遣いを学ぶ② 接客をやってみよう				
11回	なぜビジネスマナーを学ぶのか	組織の形とそこで働く人々 なぜ「ビジネスマナー」を学ぶのか				
12回	社会人とビジネスマナー	ビジネス社会のルールやビジネスマナー 情報の取り扱い				
13回	社会人とビジネスマナー	チームで働くということ グループワークをしよう				
14回	指示の受け方、報告・連絡・相談	職場でのコミュニケーション 指示を受ける 報告をする				
15回	指示の受け方、報告・連絡・相談	連絡と相談 ロールプレイング				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	SU①	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1語彙対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント(とりあえず日本語能力試験対策N1文字・語彙、スピードマスターN1語彙、パワードリルなど)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1文字・語彙		授業の進め方・評価について 第1回			
2回	N1文字・語彙		宿題FB 第1回			
3回	N1文字・語彙		宿題FB 第2回			
4回	N1文字・語彙		宿題FB 第2回			
5回	N1文字・語彙		宿題FB 第3回			
6回	N1文字・語彙		宿題FB 第3回			
7回	N1文字・語彙		宿題FB 第4回			
8回	N1文字・語彙		宿題FB 第4回			
9回	N1文字・語彙		クラス内模擬テスト+FB			
10回	N1文字・語彙		模擬テスト・FB			
11回	N1文字・語彙		宿題FB 第5回			
12回	N1文字・語彙		宿題FB 第5回			
13回	N1文字・語彙		宿題FB 復習			
14回	N1文字・語彙		期末テスト			
15回	N1文字・語彙		期末テストFB			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	SU②	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	問題集を解く(自宅での予習・復習は必要) 小テストを行う			授業形態	講義	
到達目標	N2合格					
使用テキスト	新完全マスター N2 語彙 パワードリル 文字・語彙 N2 N3 総まとめ N2 N3					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	語彙1	1章 1課 親類・友人 パワードリル N3 1回				
2回	語彙2	1章 2課 人の性格 前回復習テスト パワードリル N3 2回				
3回	語彙 3	1章 3課 人の感情 前回復習テスト パワードリル N3 2回				
4回	語彙4	2章 1課 食生活 前回復習テスト パワードリル N3 4回				
5回	語彙5	2章 2課 家事 前回復習テスト パワードリル N3 5回				
6回	語彙6	2章 3課 健康 前回復習テスト 総まとめ N3 第1週				
7回	語彙7	3章 趣味・娯楽 前回復習テスト パワードリル 6回				
8回	語彙8	4章 旅行・交通 前回復習テスト パワードリル N3 7回				
9回	語彙9	4章 自然 前回復習テスト パワードリル N3 8回				
10回	JLPT模試					
11回	JLPT 解説	模試FB 5章 1課 学校				
12回	語彙10	5章 2課 仕事 前回復習テスト 総まとめ N3 第2週				
13回	前期のまとめ	6章 1課 報道・広告 試験対策問題				
14回	定期試験・解説	試験FB ・ パワードリル N3 9回				
15回	文法11	6章 2課 メディア パワードリル N3 10回				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ 漢字・聴解			クラス	SU①クラス
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	NHKのウェブニュースを読む・漢字の確認 聴解を聞いて スクリプトで語彙・文法の確認			授業形態	講義
到達目標	N1合格				
使用テキスト	ベスト問題集・スピードマスター N1 漢字・ウェブニューススクリプト				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	聴解1 漢字1	第9週 1日目 課題理解・ポイント理解 Unit1 衣食住			
2回	聴解2 漢字2	第9週 2日目 課題理解 ポイント理解 Unit 1 衣食住			
3回	聴解3 漢字3	第9週 3日目 課題理解 ポイント理解 Unit 2 仕事			
4回	聴解4 漢字4	第10週 1日目 概要理解 Unit 2 仕事			
5回	聴解5 漢字5	第10週 2日目 概要理解 Unit 3 趣味・活動			
6回	聴解6 漢字6	第10週 3日目 概要理解 Unit 3 趣味・活動			
7回	聴解7・漢字7	第11週 1日目 即時応答 Unit 4 他者との関係			
8回	聴解8・漢字8	第11週 2日目 即時応答 Unit 4 他者との関係			
9回	聴解9・漢字9	第12週 1日目 統合理解 Unit 5 健康と自然			
10回	JLPT模試				
11回	JLPT 解説	模試FB Unit 5 健康と自然			
12回	聴解10・漢字10	第12週 2日目 統合理解 Unit 6 国と社会			
13回	聴解11・漢字11	試験対策問題 Unit 6 国と社会			
14回	定期試験・解説	試験FB・Unit 7 教養			
15回	聴解12・漢字12	第11週 3日目 即時応答 Unit 7 教養			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	SU②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2聴解・漢字対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2 合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2聴解・漢字		授業の進め方・評価方法について 聴解			
2回	N2聴解・漢字		ユニット7 聴解			
3回	N2聴解・漢字		ユニット7 聴解			
4回	N2聴解・漢字		ユニット7 聴解			
5回	N2聴解・漢字		ユニット8 聴解			
6回	N2聴解・漢字		ユニット8 聴解			
7回	N2聴解・漢字		ユニット8 聴解			
8回	N2聴解・漢字		ユニット9 聴解			
9回	N2聴解・漢字		ユニット9 聴解			
10回	N2聴解・漢字		模擬テスト+FB(全体)			
11回	N2聴解・漢字		模擬テスト+FB(クラス)			
12回	N2聴解・漢字		ユニット9 聴解			
13回	N2聴解・漢字		復習 聴解			
14回	N2聴解・漢字		期末テスト			
15回	N2聴解・漢字		期末テストFB			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ 文法			クラス	SU①クラス	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	問題集を解く(自宅での予習・復習は必要) 小テストを行う			授業形態	講義	
到達目標	N1合格					
使用テキスト	耳から覚える文法トレーニング N1 パワードリル N2 耳から覚える文法トレーニング N2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文法1	Unit 1 説明 パワードリル N2 1回				
2回	文法2	Unit 1 問題 パワードリル N2 2回				
3回	文法3	Unit 2 説明 パワードリル N2 3回				
4回	文法4	Unit 2 問題 パワードリル N2 4回				
5回	文法5	Unit 3 説明 パワードリル N2 5回				
6回	文法6	Unit 3 問題 パワードリル N2 6回				
7回	文法7	Unit 1-3 復習 Unit 4 説明				
8回	文法8	Unit 4 問題 パワードリル N2 7回				
9回	文法9	Unit 5 説明 パワードリル N2 8回				
10回	JLPT模試					
11回	JLPT 解説	模試FB Unit 5 問題				
12回	文法10	Unit 6 説明 パワードリル N2 9回				
13回	前期のまとめ	Unit 6 問題 試験対策問題				
14回	定期試験・解説	試験対策FB				
15回	文法11	まとめテスト 2 パワードリル N2 10回				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	SU②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2対策 N2文法の使い方を確認し、問題を解く			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2 合格					
使用テキスト	プリント(TRY! 日本語能力試験N2・パワードリル)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について テキスト5(1)				
2回	N2文法	テキスト5(1) パワードリル1				
3回	N2文法	テキスト5(2) パワードリル2				
4回	N2文法	テキスト5(2)				
5回	N2文法	テキスト6(1) パワードリル3				
6回	N2文法	テキスト6(1) パワードリル4				
7回	N2文法	テキスト6(2) パワードリル5				
8回	N2文法	テキスト6(2)				
9回	N2文法	テキスト7(1) パワードリル6				
10回	N2文法	模擬テスト + FB				
11回	N2文法	テキスト7(1) パワードリル7				
12回	N2文法	テキスト7(2)				
13回	N2文法	テキスト7(2)				
14回	N2文法	期末テスト				
15回	N2文法	期末テストFB				



対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ			クラス	SU①クラス	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験読解対策・ピアラーニングで様々な解き方を見る。 問題の型を意識して読む練習をする。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格・語彙、文法知識の再確認					
使用テキスト	読解攻略！日本語能力試験N1レベル・日本語N1文法読解丸ごとマスター などコピー対応					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	模擬試験(実力チェック)				
2回	短文	指示語				
3回	短文	キーワード穴埋め				
4回	短文	句や文の穴埋め				
5回	短文	下線部の意味				
6回	短文	下線部の理由				
7回	短文	全体を問う				
8回	中長文	説明文				
9回	中長文	説明文				
10回	中長文	論説文				
11回	模擬試験	模擬試験				
12回	中長文	論説文				
13回	中長文	随筆				
14回	中長文	小説				
15回	期末試験					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ<読解>			クラス	SU②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2読解対策 できるだけ多くの読解問題を解き、解き方を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解くポイント				
2回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
3回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
4回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
5回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
6回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
7回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
8回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
9回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
10回	N2読解	模擬テスト+FB				
11回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
12回	N2読解	新聞を読む				
13回	N2読解	新聞を読む				
14回	N2読解	期末テスト				
15回	N2読解	期末テストFB				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケット			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	小西翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	バンケット業務とブライダルについての基礎知識を身につける。			授業形態	講義&演習	
到達目標	ホテルの料飲(宴会)部で即戦力となれるよう、備品の名前を覚え、課題実技を習得する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・筆記試験55% 実技試験15% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 宴会の種類		自己紹介 後期の授業の進め方、評価方法の説明 ホテルで行われる『宴会』とは(催し物の種類)			
2回	宴会形式		宴会形式の種類とサービス方法 テーブルプラン			
3回	宴会サービスの基本		サービス方法 トレーサービス・プレートサービス・プラッターサービス			
4回	宴会クローク 会場設営		宴会クロークの業務内容を解説・実践 催し物に合わせた会場を設営する			
5回	宴会サービスの手順		会場設営から後片付けまで テーブルセッティング どんでんについて			
6回	実技試験に向けて		課題を発表 反復練習を行う			
7回	実技試験		実技試験を行う			
8回	ブライダルの基礎知識		ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル			
9回	婚約について		みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ			
10回	日本における ブライダルのしきたり		六輝・結納 招待状が届いたら…			
11回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリ			
12回	挙式について		挙式の流れと演出について			
13回	披露宴について①		披露宴の流れと演出について			
14回	披露宴について② 前期授業のまとめ		披露宴の流れと演出について 前期授業の復習を行う			
15回	期末試験		前期期末試験を実施□			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル実務技能認定試験			クラス	U
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。			授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。				
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点(予習の有無を含む)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション テキスト解説	資格試験について説明 前期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答、解説			
2回	テキスト解説	接客分野の解答、解説			
3回	テキスト解説	接客分野の解答、解説			
4回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
5回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
6回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説			
7回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
8回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
9回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説			
10回	テキスト解説	語学分野の解答、解説			
11回	テキスト解説	語学分野の解答、解説			
12回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
13回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
14回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説			
15回	期末試験	前期期末試験を実施			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無	
授業概要(内容)	・ビジネスで想定されるさまざまな場面での会話練習する。 ・日本語能力試験(JLPT)でもよく出る敬語表現を練習する。			授業形態	講義	
到達目標	ビジネスの場面で必要になる知識を理解し、丁寧な会話ができるようになる。					
使用テキスト	『中級レベルロールプレイで学ぶビジネス日本語—就活から入社まで—』(スリーエーネットワーク)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	1課 インターンシップ情報を得る	・授業について ※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①(会話)				
2回	1課 インターンシップ情報を得る	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話) ・タスク③(性格を表す言葉と表現)				
3回	2課 インターンシップに応募する	※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①、②(会話)				
4回	2課 インターンシップに応募する	※敬語表現の練習 ・タスク③自己アピール文を考える				
5回	3課 インターンシップに参加する-1	※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①(会話)				
6回	3課 インターンシップに参加する-1	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話) ・タスク③(意見を言う)				
7回	4課 インターンシップに参加する-2	※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①(会話)				
8回	4課 インターンシップに参加する-2	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話) ・タスク③(意見を言う)				
9回	復習(1～4課)	・敬語表現の復習 ・テキスト1～4課(会話表現の復習)				
10回	5課 面接を受ける-1	※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①、②(会話)				
11回	5課 面接を受ける-1	※敬語表現の練習 ・タスク③(学生時代に熱心に取り組んだことを考え、発表する)				
12回	6課 面接を受ける-2	※敬語表現の練習 ・モデル会話／文型・表現／タスク①(会話)				
13回	6課 面接を受ける-2	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話) ・タスク③(ビジネスメール)				
14回	復習(5、6課)	・敬語表現の復習 ・テキスト5、6課(会話表現の復習)				
15回	期末試験	・会話/筆記(会話表現、敬語表現)両方を行う				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高める。 リスニング力を強化する。TOEICの試験形式に慣れる。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	KEY STRATEGIES FOR SUCCESS ON THE TOEIC L&R TEST Level 600					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方・評価方法の説明 TOEICテストの説明 ミニ模試を解く			
2回	Unit L-1		Part1の解き方 人物、風景、物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題			
3回	Unit L-2		Part1の攻略法 頻出表現 練習問題			
4回	Unit L-3		Part2の解き方 応答問題 WH疑問文			
5回	Unit L-4		Part2の攻略法 YES/NO疑問文、その他の疑問文 練習問題			
6回	Unit L-5		Part2 平叙文、意外な応答 練習問題			
7回	Unit L-6		Part2 機能別疑問文 練習問題			
8回	Unit R-1		Part5 短文穴埋め問題 概略と基本戦略 品詞			
9回	Unit R-2		Part5 短文穴埋め問題 動詞の形(1) 能動態、受動態、分詞			
10回	Unit R-3		Part5 短文穴埋め問題 動詞の形(2) 時制、その他			
11回	Unit R-4		Part5 短文穴埋め問題 前置詞、接続詞 練習問題			
12回	Unit R-5		Part5 短文穴埋め問題 代名詞、関係代名詞 練習問題			
13回	Unit R-6		Part6 長文穴埋め問題 概略と基本戦略 重要表現、練習問題			
14回	総復習		Part5 Part6 文法・語彙の復習 Part7 TOEIC試験対策			
15回	総復習		Part1 Part2 Part3 TOEIC 試験対策 Part4 TOEIC試験対策			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ペン字			クラス	u	
担当講師(フルネーム)	白石 真紀			実務経験	無	
授業概要(内容)	文字(平仮名・片仮名・数字・漢字)の形とバランスの習得			授業形態	講義	
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2本					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	文字の基本を学ぶ①		文字を書くための基本 姿勢、ペンの持ち方・筆記用具の種類など 自分の名前～名前の配字・配列			
2回	文字の基本を学ぶ②		片仮名① 片仮名の特徴と書き取り練習			
3回	文字の基本を学ぶ③		片仮名② 片仮名の特徴と書き取り練習			
4回	文字の基本を学ぶ④		平仮名① 平仮名の特徴と書き取り練習			
5回	文字の基本を学ぶ⑤		平仮名② 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
6回	文字の基本を学ぶ⑥		平仮名・片仮名まとめ～言葉の書き取り 平仮名・片仮名の名前のまとめ			
7回	文字の基本を学ぶ⑦		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】①			
8回	文字の基本を学ぶ⑧		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】②			
9回	文字の基本を学ぶ⑨		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス【漢字編】③			
10回	文字の基本を学ぶ⑩		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～マス目 縦書きの書式を学ぶ～縦書きの名前の練習			
11回	文字の基本を学ぶ⑪		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～3行			
12回	文字の基本を学ぶ⑫		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～6行			
13回	文字の基本を学ぶ⑬		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～3行 横書きの書式を学ぶ～横書きの名前の練習			
14回	文字の基本を学ぶ⑭		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名・数字交じりの文章の練習 ～9行			
15回	文字の基本を学ぶ⑮		読みやすい文字を書くための基本 まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際語ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	山本真美・榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	就職試験対策 授業は言語・非言語を隔週で実施			授業形態	講義	
到達目標	SPI(一般常識・時事問題を含む)、玉手箱などの採用試験が解ける学力の向上をめざします。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)一般常識&SPI					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	言語①		授業の進め方、評価方法等の説明 SPIの問題を解き、取り組み方を考える			
2回	非言語①		SPI非言語の説明 四則計算(分数小数を使った計算演習)と一次方程式を解く			
3回	言語②		SPI言語 同意語、反意語 一般常識 世界各国の位置と情勢			
4回	非言語②		割合の問題を解く			
5回	言語③		SPI言語 原料 一般常識 国際連合と地域協定			
6回	非言語③		金銭の問題(損益を求める基本問題 p.64)を解く			
7回	言語④		SPI言語 ことわざ 一般常識 G7とG20			
8回	非言語④		金銭の問題(損益を求める標準問題 p.68)を解く			
9回	言語⑤		SPI言語 四字熟語① 一般常識 世界の産地産物と気候			
10回	非言語⑤		金銭の問題(精算を求める p.76)を解く			
11回	言語⑥		SPI言語 二語の関係① 一般常識 経済連携協定と域内人口			
12回	非言語⑥		金銭の問題(分割払いの問題 p.82)を解く			
13回	言語⑦		SPI言語 二語の関係② 一般常識 経済			
14回	非言語⑦		速度の問題(p.86)を解く			
15回	言語⑧		SPI言語 四字熟語② 夏休みの課題説明			



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・就職試験に真摯に向き合う姿勢を徹底し就職に必要な言葉や文章力を身に付けさせる。			授業形態	講義	
到達目標	・面接までの文章作成能力の向上					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・プロフィール作成。				
2回	日本における就職活動	・就職活動の一連の流れの説明 ・就職活動用日本語テスト				
3回	就職活動に必要なスキル	・ホテル業界の就職活動に必要なスキルと理由 ・就職活動用日本語テスト				
4回	職業を知る	・業界が求める人を知り自分との接点を探す ・就職活動用日本語テスト				
5回	身だしなみの重要性	・身だしなみチェックシートの作成 ・就職活動用日本語テスト				
6回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする				
7回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする				
8回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする				
9回	自己分析	・自己分析シートを使って自分自身の洗い出しをする				
10回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
11回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
12回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
13回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ				
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ				
15回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	甲斐奈々、田中友加利			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。			授業形態	講義	
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率・実技試験により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・面接の種類と心構えを理解する 第一印象の重要性について自覚する 身だしなみ、お辞儀、挨拶			
2回	面接練習		・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方			
3回	面接練習		・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方			
4回	面接練習		・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方			
5回	面接練習		・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方			
6回	面接練習		・自己分析 長所(長所に対するエピソードのオリジナル化)			
7回	面接練習		・自己分析 長所(長所に対するエピソードのオリジナル化)			
8回	面接練習		・自己分析 短所(短所の改善策)			
9回	面接練習		・自己分析 短所(短所の改善策)			
10回	面接練習		・基本的な質問に答える (志望動機、自己PR)			
11回	面接練習		・基本的な質問に答える (志望動機、自己PR)			
12回	面接練習		・いろいろな質問に答える			
13回	面接練習		・いろいろな質問に答える			
14回	期末試験		面接の実技試験			
15回	期末試験		面接の実技試験			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	1年で学習したOffice基礎内容を再確認しながら、日本語のパソコンスキルを高める。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験50% 課題発表20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Word基礎	タイピング練習 出身地紹介のポスター作成 ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
2回	Word基礎	タイピング練習 出身地紹介のポスター作成 ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
3回	Word基礎	タイピング練習 出身地紹介のポスター作成 発表				
4回	PowerPoint基礎	テーマ:日本の都道府県を紹介するスライドを作る 場所決め、表紙、目次作成 その他データ収集				
5回	PowerPoint基礎	テーマ:日本の都道府県を紹介するスライドを作る 本編スライド作成、画像の貼り方、デザインを考える				
6回	PowerPoint基礎	テーマ:日本の都道府県を紹介するスライドを作る アニメーション、画面切り替え、効果音などの各種効果を付ける				
7回	PowerPoint基礎	発表用資料作成 リハーサル				
8回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
9回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
10回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
11回	Excel基礎	表作成 総合演習				
12回	Excel基礎	表作成 総合演習				
13回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
14回	Excel基礎	表作成 関数(IF・VLOOKUP関数など)				
15回	期末試験	期末試験実施				

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマーケティング			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルの管理部門(マーケティング、総務・人事、施設管理、仕入・購買、経理・会計)の基礎知識を学習する。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル・マーケティングの基礎的な知識やホテル・サービスの価値を理解し、即戦力として現場で活躍できるようになる。					
使用テキスト	適宜プリント配布 【参考文献】ホテルビジネス基礎編テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について説明する ホテル・マーケティングとは お菓子から学ぶマーケティングを構成する4つの「P」とマーケティングにおける商品の考え方			
2回	マーケティング部門の基本		マーケティング部門の組織、マーケティング戦略、マーチャンダイジングについて学習する			
3回	マーケティング部門の基本		セールス実務: 広報、危機管理、広告宣伝、販売促進について学習する			
4回	マーケティング部門の基本		セールス実務: セールス・スタッフに必要な心構え、セールスの手順、セールストークを学習する			
5回	マーケティング部門の基本		セールス実務: コンプレイン対応、法人セールス、宴会の種類、顧客管理について学習する			
6回	マーケティング部門の基本		ブランディング戦略、収益管理について学習する			
7回	総務・人事部門		総務・人事部門の組織、業務役割を学習する			
8回	総務・人事部門		総務・人事部門の実務を学習する			
9回	施設管理部門		施設管理部門の組織と業務役割について学習する ホテルの主要設備と付帯設備の知識、ISO活動への取り組みと運用について学習する			
10回	施設管理部門		ホテルのIT設備、廃棄物処理管理、関係法令について学習する			
11回	仕入・購買部門		仕入・購買部門の組織と業務役割について学習する 食品衛生、仕入れ・購買部門の実務について学習する			
12回	経理・会計部門		経理・会計部門の組織と業務役割について学習する 経理の仕事始める前に知っておきたい常識			
13回	経理・会計部門		経理・会計部門の業務、ホテルの収益会計、予算管理、経営分析について学習する			
14回	経理・会計部門		税の知識、各部門の会計実務について学習する			
15回	期末テスト		期末テスト			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	外食産業			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	島崎満美子			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	レストランマネジメント			授業形態	講義	
到達目標	日本のレストランマネジメントについて 経営、宣伝、竣工、等幅広く学ぶ。					
使用テキスト	レストランマネジメント総論(日英)					
成績評価方法	・小テスト 40% 提出課題 30% 授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	自己紹介	自己紹介 レストラン業界の現状について			担当: 島崎	
2回	レストラン経営	1) レストラン業界の課題 2) レストラン経営の問題点 3) レストラン経営の今後の方向性			担当: 島崎	
3回	レストランマネジメント①	1) 今後求められるレストランマネジメント 2) 開業までの手順と留意点			担当: 島崎	
4回	レストランマネジメント②	1) 基本構想 2) 基本計画			担当: 島崎	
5回	レストランマネジメント③	1) 実施計画			担当: 島崎	
6回	レストランマネジメント④	1) 着工、竣工			担当: 島崎	
7回	レストラン開業後のマネジメント①	1) 開業前、開業後マネジメント活動の違い			担当: 島崎	
8回	レストラン開業後のマネジメント②	1) レストラン運営			担当: 茂木	
9回	レストラン開業後のマネジメント③	1) コスト・マネジメント			担当: 茂木	
10回	レストラン開業後のマネジメント③	1) 財務管理			担当: 茂木	
11回	レストラン開業後のマネジメント④	1) 販売促進管理			担当: 島崎	
12回	レストランのリスクマネジメント①	1) 危機管理 2) 安全衛生管理			担当: 島崎	
13回	レストランのリスクマネジメント②	1) クレーム対応			担当: 島崎	
14回	レストランのリスクマネジメント③	1) クレームマネジメント 小テスト			担当: 島崎	
15回	まとめ	レポート提出			担当: 島崎	

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマネジメント			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル実務経験、ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する			授業形態	講義	
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学習しホテルで活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・授業進度に合わせた小テスト、提出物、平常点50%、期末試験50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マネジメントの基本		マネジメントの基本認識と定義 (1)経営者の仕事～(5)企業文化			
2回	マネジメントの基本		(6)人事戦略～(10)モチベーション			
3回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (1)外資と日本ホテル～(2)日本進出の背景			
4回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (3)所有・経営・運営の分離～(7)マネジメント契約方式			
5回	マネジメントの基本		ホテルの収益構造			
6回	ホテルの会計基準		ホテルの会計基準の特徴			
7回	部門別のマネジメント		ホテルの収益会計と費用会計 ユニフォーム・システム			
8回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(1)KPIと計数計算～ADR			
9回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(4)RevPAR～(5)定員稼働率			
10回	部門別のマネジメント		宿泊料金体系			
11回	部門別のマネジメント		3つの宿泊料金体系			
12回	部門別のマネジメント		レベニューマネジメント			
13回	部門別のマネジメント		料飲部門のマネジメント			
14回	部門別のマネジメント		宴会部門のマネジメント			
15回	まとめ		前期復習			

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マナープロトコール			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際的に通用するマナーと日本のしきたりや礼儀作法の基本を講義と演習により習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	知識を習得し「社会人としてコミュニケーション能力を高める表現」を身につける。					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識 プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	マナーとは何か、マナーを学ぶ意義 シラバスの説明 お辞儀の仕方、自己紹介、前期の目標				
2回	第1章マナーの歴史と意義	日本と西洋のマナー ・歴史や相違点を話し合いながら理解する ・異文化に接した自分の体験を話す				
3回	第2章国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 ・社交の場での好ましい話題・好ましくない話題を考え、その理由を説明する				
4回	第3章社会人に必要なマナー	1 好印象を与えるコミュニケーション (服装、挨拶、お辞儀、表情、身だしなみ、言葉遣い、聴き方、話し方)				
5回	第3章社会人に必要なマナー	2 言葉遣い①				
6回	第3章社会人に必要なマナー	2 言葉遣い②				
7回	第3章社会人に必要なマナー	3 手紙のマナー/演習(書式のルールにそって書く)				
8回	まとめ	第1～7回までのまとめ				
9回	第4章ビジネスマナー	1 ビジネスマナーとは、その必要性について考える 2 社会人としての心構え ・社会人の印象についてGRPワーク				
10回	第4章ビジネスマナー	3 「社会人が求められる能力について」考えてみる				
11回	第4章ビジネスマナー	4上手な聴き方・話し方の実践				
12回	評価週	期中評価				
13回	評価週	期中評価				
14回	第4章ビジネスマナー	テーマにそった討議				
15回	まとめ	第1～14週のまとめ				

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解			クラス	Tクラス	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	自然科学、社会科学、人文科学など広範なテーマの文章を読み、「調べ・考え・伝える」活動をする			授業形態	講義	
到達目標	N1レベルの文章を読み、グループ内で調べたことを共有し、発表できるようになる。					
使用テキスト	日本語で考えたい科学の問い 上 (ワークシートはコピー対応)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	テキスト説明、進め方				
2回	LESSON3 ①	科学の問い・LABCAST 個人精読 ⇒ 語彙・文法ワークシート				
3回	LESSON3 ②	本文精読・グループ話し合い				
4回	LESSON3 ③	発表・語彙クイズ				
5回	LESSON4 ④	表現のための語彙・文法練習ノート				
6回	LESSON6 ①	科学の問い・LABCAST 個人精読 ⇒ 語彙・文法ワークシート				
7回	LESSON6 ②	本文精読・グループ話し合い				
8回	LESSON6 ③	発表・語彙クイズ				
9回	LESSON6 ④	表現のための語彙・文法練習ノート				
10回	LESSON7 ①	科学の問い・LABCAST 個人精読 ⇒ 語彙・文法ワークシート				
11回	LESSON7 ②	本文精読・グループ話し合い				
12回	LESSON7 ③	発表・語彙クイズ				
13回	LESSON7 ④	表現のための語彙・文法練習ノート				
14回	復習					
15回	期末試験					



対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Tim Orris			実務経験	無	
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義	
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	*期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Role play with Take off!			
2回	Warm Up: P2, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Role play with Take off!			
3回	Warm Up: P3, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Role play with Take off!			
4回	Warm Up: P4, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff! Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Role play with Take off!			
5回	Warm Up: P5, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Role play with Take off!			
6回	Warm Up: P6, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff! Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Role play with Take off!			
7回	Warm Up: P7, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Role play with Take off!			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff! Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Role play with Take off!			
9回	Warm Up: P9, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Role play with Take off!			
10回	Warm Up: P10, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff! Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Role play with Take off!			
11回	Warm Up: P11, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Role play with Take off!			
12回	Warm Up: P12, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Role play with Take off!			
13回	Warm Up: P13, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Role play with Take off!			
14回	Warm Up: P14, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Role play with Take off!			
15回	Warm Up: P15, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 8, Test		<b>Oral Test</b> Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab, Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Role play with Take off!			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	無	
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI、一般常識など)対策			授業形態	講義	
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集(2年次に使用したもの)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	必ず復習する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は、時事問題用語解説や新聞記事読解に取り組みます。			
2回	新聞のコラムが読める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自分の日本語読解力の向上に新聞や小説を利用しましょう。			
3回	最新のニュース		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎日、NHKの「NEWS WEB EASY」で最新のニュースチェックを忘れずに。			
4回	情報を分析する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題傾向がわかります。			
5回	はじめてにあわてない		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題や、準備していない質問にあわてない。落ち着いて取り組みます。			
6回	範囲を絞る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 自信をつけるには、範囲を絞って、その分野を得意分野にする。達成感の積み重ねが大事。			
7回	時間配分を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 日々の時間は足りていますか？足りていないと思う人は、時間配分を考えてみましょう。			
8回	今日から始める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定は「スタート」。就業までの時間を大切に。「自分の知識を増やす」を常に心がけましょう。			
9回	みんながデキル問題		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができている証拠。みんながデキル問題は間違えない。			
10回	過去を振り返る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正していくことは大事。			
11回	ニュースを気にする		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく。			
12回	ニュースを読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える。			
13回	自分の意見を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える。			
14回	目標を持つ		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？			
15回	ゴールはスタート		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策は前期で終了。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう。			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成</li> <li>・面接での受け答えのロールプレイング</li> </ul>			授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・オリジナルワークシート					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験70% 平常点30%</li> <li>※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。</li> </ul>				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	自己PRの作成		・面接時での自己PRの発表練習。			
2回	面接対策		・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う			
3回	面接対策		・自分のベスト自己PRを作成し、反復練習を行う			
4回	受験企業の研究シート作成		・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。			
5回	受験企業の研究シート作成		・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。			
6回	受験企業の志望動機作成		・受験企業の志望動機を完成させ、反復練習を行う。			
7回	受験企業の志望動機作成		・受験企業の志望動機を完成させ、反復練習を行う。			
8回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
9回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
10回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
11回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
12回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
13回	企業研究・面接対策		・受験企業研究と共に面接での受け答え用文章を作成し、反復練習を行う。			
14回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック			
15回	入社後に必要なこと		・日本企業のあり方や組織内での最小限の必要知識を身に付ける			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	それぞれの進路目標に沿って受験準備を進める。			授業形態	講義	
到達目標	志望企業への内定。					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	・授業態度、提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	内定お礼状を書こう	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P156 内定先へのお礼状(課題①)、受験報告書の作成(課題②) 【未内定者】応募書類作成				
2回	送付状を作ろう	新着求人案内～スケジュール確認、企業への送付状作成 【内定者】P122、157 作文「就職活動を振り返って」(800文字)(課題③) 【未内定者】応募書類作成				
3回	封筒の書き方	新着求人案内～スケジュール確認、封筒のあて名書き 【内定者】企業研究シート～内定企業(課題④) 【未内定者】応募書類作成				
4回	企業への電話のかけ方	新着求人案内～スケジュール確認、小論文 【内定者】企業研究シート～その他企業(課題⑤) 【未内定者】応募書類作成				
5回	小論文の書き方	新着求人案内～スケジュール確認、 【内定者】P36,37 自己分析シート 【未内定者】応募書類作成				
6回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P39 ライフラインチャート 【未内定者】応募書類作成				
7回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P53 55 56 【未内定者】応募書類作成				
8回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P59 61 62 【未内定者】応募書類作成				
9回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P89 【未内定者】応募書類作成				
10回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P91 【未内定者】応募書類作成				
11回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P107 【未内定者】応募書類作成				
12回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】P109 【未内定者】応募書類作成				
13回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】課題研究 【未内定者】応募書類作成				
14回	企業研究	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】課題研究 【未内定者】応募書類作成				
15回	就職活動の振り返り	提出課題 【内定者】内定先へのお礼状(課題①)、受験報告書の作成(課題②)、「就職活動を振り返って」(課題③)企業研究～2社(課題④、⑤)その他自己課題 【未内定者】受験報告書の作成(課題①)、「就職活動を振り返って」(課題②)企業研究～2社以上(課題③、④)				

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	1、2年で学習したOffice総合的な内容を再確認しながら、日本語のパソコンスキルが戦力となるように定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・課題発表50% 小テスト20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書の基本 履歴書送付状を作る			
2回	Word基礎		タイピング練習 ビジネスメールの基本 企業にメールを送る			
3回	Word応用		メッセージカードを作る			
4回	Excel基礎		2年次で学習したExcel基礎の復習 表作成とグラフ作成			
5回	Excel基礎		2年次で学習したExcel基礎の復習 表作成とグラフ作成 小テスト実施			
6回	Excel基礎・Word応用		WordとExcelを組み合わせて、報告書作成			
7回	Excel応用		関数の練習 IF関数・RANK関数			
8回	Excel応用		関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUMIF関数 小テスト実施			
9回	Excel応用		関数の練習 スケジュール表作成			
10回	PowerPoint課題作成		課題作成(チームまたは個別) テーマ:ホテルの紹介、国際ホテルマネジメント科の紹介など 素材の準備、シナリオ作成			
11回	PowerPoint課題作成		課題作成(チームまたは個別) スライド作成			
12回	PowerPoint課題作成		課題作成(チームまたは個別) 各種効果の設定			
13回	PowerPoint課題作成		課題作成(チームまたは個別) 発表準備 リハーサルと動画ファイルの準備			
14回	発表					
15回	発表					

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策 I			クラス	T①クラス	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	語彙問題集を解く(自宅で予習・復習を必ずする) 模試問題の中の語彙の活用と確認を図る			授業形態	講義	
到達目標	N1・N2合格					
使用テキスト	20日で合格 N1 文字語彙文法 ドリ&ドリN1 読解					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	語彙・長文		20日で合格 6日目 ドリ&ドリ 長文			
2回	語彙・意見の理解		20日で合格 7日目 ドリ&ドリ 統合理解			
3回	語彙・意見の理解		20日で合格 8日目 ドリ&ドリ 統合理解			
4回	語彙・筆者の気持ち		20日で合格 9日目 ドリ&ドリ 主張理解			
5回	語彙・意見の理解		20日で合格 10日目 ドリ&ドリ 主張理解			
6回	語彙・意見の理解		20日で合格 11日目 ドリ&ドリ 主張理解			
7回	語彙・情報の読み取り		20日で合格 12日目 ドリ&ドリ 情報検索			
8回	語彙・長文		20日で合格 13日目 ドリ&ドリ 長文 1回			
9回	語彙・長文		20日で合格 14日目 完マス N1 長文55			
10回	JLPT模試					
11回	JLPT 解説					
12回	語彙・統合理解		20日で合格 15日目 完マス N1 25			
13回	前期のまとめ		復習と確認			
14回	定期試験・解説		試験とFB			
15回	語彙・中文		20日で合格 16日目 完マス N1 中文22			

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネス能力検定			クラス	T①	
担当講師(フルネーム)	池田 香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2023年度版					
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業内容、成績評価方法			
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第2章 仕事の基本となる8つの意識			
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、工作中的のマナー			
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性			
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第6章 来客対応と訪問の基本マナー			
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第7章 会社関係での付き合い			
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第3章 電話対応			
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第4章 統計・データの読み方・まとめ方			
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第5章 情報収集とメディアの活用			
15回	期末試験対策		期末試験前対策 前期授業のまとめ			

対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	T①	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解・漢字対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1 合格					
使用テキスト	プリント(N1漢字スピードマスターなど)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1聴解・漢字		授業の進め方・評価方法について ユニット1-1・2			
2回	N1聴解・漢字		ユニット1-3・4 聴解			
3回	N1聴解・漢字		ユニット1-5・6 聴解			
4回	N1聴解・漢字		ユニット2-1・2 聴解			
5回	N1聴解・漢字		ユニット2-3・4 聴解			
6回	N1聴解・漢字		ユニット2-5・6 聴解			
7回	N1聴解・漢字		ユニット3-1・2 聴解			
8回	N1聴解・漢字		ユニット3-3・4 聴解			
9回	N1聴解・漢字		クラス内模擬テスト+FB			
10回	N1聴解・漢字		模擬テスト + FB			
11回	N1聴解・漢字		ユニット3-5 聴解テスト + FB			
12回	N1聴解・漢字		ユニット3-6 漢字復習 聴解			
13回	N1聴解・漢字		漢字復習 聴解			
14回	N1聴解・漢字		期末テスト			
15回	N1聴解・漢字		期末テストFB			



対象学年	3年	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	BJT対策			クラス	T②クラス	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	BJTの問題形式に慣れ、語彙、表現を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	BJT J2 以上を目指す					
使用テキスト	BJT日本語能力テスト実力養成問題集 第2版 聴解・聴読解、読解					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	模擬試験①	レベルチェック				
2回	聴解	場面把握				
3回	聴読解	状況把握				
4回	読解	語彙・文法				
5回	聴解	発言・聴解				
6回	聴読解	資料聴読解①				
7回	読解	表現読解				
8回	聴解	総合聴解①				
9回	聴読解	総合聴読解①				
10回	読解	総合読解①				
11回	聴解	総合聴解②				
12回	聴読解	総合聴読解②				
13回	読解	総合読解②				
14回	模試試験②	レベルチェック②				
15回	期末試験					



# 国際ビジネス

学年	科目名
1	やり直し英文法
1	TOEIC I II
1	オンライン英会話
1	英会話 (TGG)
1	コンピュータMOS
1	観光業界概論
1	国内観光地理
1	TOPIK対策 I
1	TOPIK対策 II
1	韓国語文法
1	英語発音演習
1	韓国語会話
2	Grammar/英作文中級
2	時事英語
2	TOEIC I
2	オンライン英会話
2	英会話
2	コンピュータMOS
2	就職活動講座
2	ITパスポート講座
2	TOEIC II
2	TOPIK対策 I
2	ビジネス英語
2	韓国語会話
2	英語で日本文化紹介
2	韓国文化研究

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	やり直し英文法			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	英語の基礎文法の学び直しをし、基礎的な文法知識を習得する。 英作文のトレーニングも併せて行うことで、文法の定着を図る。			授業形態	講義	
到達目標	英語の基礎文法を理解し、アウトプットできるようになる。					
使用テキスト	高校英文法をひとつひとつわかりやすく					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 自分の考えや意見を英語で表現できることの重要性を認識する。 自分のレベルを知るために英作文を書いてみる。			
2回	基本文型(第1～第3文型)を理解する		基本文型の基本を理解し、問題を解く。 基本文型を用いた英作文トレーニングを行う。			
3回	基本文型(第4～第5文型)を理解する		基本文型の基本を理解し、問題を解く。 基本文型を用いた英作文トレーニングを行う。			
4回	現在形、過去形、未来を表す表現を理解する		時制の基本を理解し、問題を解く。 時制の文型を用いた英作文トレーニングを行う。			
5回	現在完了形を理解する		現在完了形の基本を理解し、問題を解く。 現在完了形を用いた英作文トレーニングを行う。			
6回	過去完了形を理解する		過去完了形の基本を理解し、問題を解く。 過去完了形を用いた英作文トレーニングを行う。			
7回	未来完了形、現在進行形を理解する		未来完了形や現在進行形の基本を理解し、問題を解く。 現在進行形を用いた英作文トレーニングを行う。			
8回	過去進行形、現在完了進行形を理解する		過去進行形、現在完了進行形の基本やいろいろな意味を理解し、問題を解く。 過去進行形を用いた英作文トレーニングを行う。			
9回	受動態を理解する		受動態の基本やいろいろな意味を理解し、問題を解く。 受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
10回	進行形と完了形の受動態を理解する		進行形と完了形の受動態の基本を理解し、問題を解く。 進行形の受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
11回	助動詞を理解する		助動詞の基本を理解し、問題を解く。 助動詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
12回	不定詞を理解する		不定詞の基本を理解し、問題を解く。 不定詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
13回	総復習		これまでの英文法の復習を行う。			
14回	期末試験		期末試験の実施 理解度の確認			
15回	まとめと復習		期末試験の解説 前期の総まとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC I & II			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	岩切 郁美 / 脇谷 奈々			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語学力を高める。 シャドーイングなどリスニング力を強化			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500/TOEIC L&R TEST 出る単特急銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方について TOEICについて 単語テストの進め方			
2回	品詞問題		品詞の見分け方(名詞、形容詞、副詞) part5の解き方 単語テスト			
3回	part1・時制		part1の解き方・練習 時制 単語テスト			
4回	自動詞&他動詞・part2		自動詞・他動詞の見分け方・part5を使用し自動詞・他動詞の見分け 単語テスト part2の解き方			
5回	不定詞・part2		不定詞 part2 単語テスト			
6回	動名詞・part2		動名詞 part2シャドーイング 単語テスト			
7回	分詞の形容詞的用法 part2		分詞の形容詞的用法 part2			
8回	part1・2模擬テスト 単語総復習テスト		模擬テスト			
9回	名詞・冠詞 part3		名詞・冠詞 part3 単語テスト			
10回	接続詞 part3		接続詞 part3 単語テスト			
11回	関係代名詞 part4		関係代名詞 単語テスト			
12回	仮定法 part4		仮定法 単語テスト			
13回	文法復習		文法総復習 単語総復習			
14回	part6 part1-4		part6 part1-4模擬テスト			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	Dクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「やりとり」に特化したレッスンを行う。自分の話したい内容を英語で考える。実際の会話のような「即興性」を身に付ける。			授業形態	講義&演習	
到達目標	質問に対して付加情報を加えて話せるようになる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介 Myself		Lesson1 学校・友達・町・家族			
2回	好きなもの My favorite Things		Lesson2 スポーツ・食べ物・漫画/アニメ・ゲーム			
3回	日常生活 Daily Routine		Lesson3 朝やること・寝る前にやること・通学・休み			
4回	食べ物 Food		Lesson4 好きな食べ物・日本食・朝食・料理			
5回	家での生活 Life at Home		Lesson5 テレビ・音楽・インターネット・読書			
6回	英語 English		Lesson6 海外旅行・英語学習・外国人・アプリ			
7回	健康 Health		Lesson7 風邪・運動・睡眠・リラックス			
8回	特別な日 Special Days		Lesson8 正月・クリスマス・夏休み・誕生日			
9回	目標 My Goals		Lesson9 尊敬する人・将来の夢・今年目標・英語学習の目標			
10回	予定 Plans		Lesson10 週末・長期休暇・放課後・卒業後			
11回	旅行 Trip		Lesson11 遠足/旅行・日本の観光・行きたい国・行った旅行			
12回	最近のこと Your Latest Experiences		Lesson12 楽しかったこと・美味しかったもの・週末したこと・行った旅行			
13回	四季 Seasons		Lesson13 春・夏・秋・冬			
14回	私の国 My Country スピーキングアセスメント		Lesson14 食事・学校・天気・観光			
15回	インターネット The Internet		Lesson15 携帯/スマートフォン・動画・SNS・学習			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話 TGG			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown, Yoko Akimitsu			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	We will study and practice using natural phrases in different situations. We will do roleplays as the customer and the worker.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students the language, practice and confidence so they can communicate effectively with customers at work.					
使用テキスト	No textbook is needed for this course.					
成績評価方法	・3の試験75% 平常点25% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Orientation Restaurant 1 (Customer)	Introduction to the Syllabus / Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
2回	Restaurant 2 (Customer)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
3回	Restaurant 3 (Server)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
4回	Restaurant 4 (Server)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
5回	Restaurant Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				
6回	Airline 1 (Passenger)	Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
7回	Airline 2 (Passenger)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
8回	Airline 3 (Flight Attendant)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
9回	Airline 4 (Flight Attendant)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
10回	Airline 5 Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				
11回	Hotel 1 (Guest)	Warm-Up Activities / Vocabulary 1 Language Introduction and Practice Roleplay				
12回	Hotel 2 (Guest)	Warm-Up Activities / Review / Vocabulary 2 Language Introduction and Practice Roleplay				
13回	Hotel 3 (Receptionist)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
14回	Hotel 4 (Receptionist)	Warm-Up Activities / Review of Phrases Language Introduction and Practice Roleplay				
15回	Hotel 5 Assessment	Assessment (Written and Roleplay)				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科
科目名	コンピュータMOS			クラス	D
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	MOS WORD検定合格に向け、対策テキスト&問題集を操作しながらパソコンスキルを身につける			授業形態	実技
到達目標	MOS WORD 365&2019検定合格				
使用テキスト	よくわかるマスターMOS Word 365 & 2019 対策テキスト&問題集 (FOM出版)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション (MOS検定)	・MOS検定の概要や学習スケジュールの説明 ・WORDの基本操作の説明(ページ設定・保存・効率の良い変換) ・テキスト: 出題範囲2 2-2文字列や段落の書式を設定する			
2回	文字列、段落、 セクションの挿入と書式設定	・テキスト: 出題範囲2 2-1文字列や段落の挿入 2-3文書にセクションを作成する、設定する			
3回	文書の管理①	・テキスト: 出題範囲2 確認テスト ・テキスト: 出題範囲1 1-1文書内を移動する			
4回	文書の管理②	・テキスト: 出題範囲1 1-2文書の書式を設定する 1-3文書を保存する			
5回	文書の管理③	・テキスト: 出題範囲1 1-3文書を共有する 1-4文書を検査する			
6回	表やリストの管理①	・テキスト: 出題範囲1 確認テスト ・テキスト: 出題範囲3 3-1表を作成する			
7回	表やリストの管理②	・テキスト: 出題範囲3 3-2表を変更する 3-3リストを作成する、変更する			
8回	模擬試験	・テキスト: 出題範囲3 確認テスト ・模擬試験の使い方や学習方法の説明 ・テキスト: 出題範囲1~3の模擬試験にチャレンジ(30分)			
9回	グラフィック要素の 挿入と書式設定①	・テキスト: 出題範囲5 5-1図やテキストボックスを挿入する 5-2図やテキストボックスを書式を設定する			
10回	グラフィック要素の 挿入と書式設定②	・テキスト: 出題範囲5 5-3グラフィック要素にテキストを追加する 5-4グラフィック要素を変更する			
11回	模擬試験	・テキスト: 出題範囲5 確認テスト ・テキスト: 出題範囲1~3・5の模擬試験にチャレンジ(30分)			
12回	参考資料の 作成と管理	・テキスト: 出題範囲4 4-1参照のための情報や記号を作成する、管理する 4-2標準の参考資料を作成する、管理する			
13回	文章の共同作業 の管理①	・テキスト: 出題範囲4 確認テスト ・テキスト: 出題範囲6 6-1変更履歴を管理する 6-2変更履歴を管理する			
14回	文章の共同作業 の管理②	・テキスト: 出題範囲6 確認テスト ・模擬試験にチャレンジ(30分)			
15回	期末試験	MOS WORD模擬試験(50分) ※本試験と同様に実施する			



対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	観光業界概論			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義・説明に加え、学生自身で考え発表することを繰り返すことで、社会人としての基礎力を身につける練習をする。			授業形態	講義	
到達目標	将来進路の選択肢の1つとしての「観光産業」を理解し、説明できるようになる。					
使用テキスト	観光学基礎(JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ガイダンス		自己紹介、講義概要説明 進路希望調査			
2回	観光のさまざまな知識		現代社会と観光 観光がもたらす効果			
3回	観光に関わる言葉		旅と旅行 観光 ホスピタリティ			
4回	観光のしくみ		観光を構成する要素 観光事業の意味としくみ			
5回	観光資源と観光対象		観光資源 観光対象			
6回	観光産業の構成と特徴		観光産業の種類 観光ビジネスの特徴			
7回	旅行業		旅行業の業務 旅行商品と携帯			
8回	宿泊産業		様々な宿泊施設の分類 宿泊業の業務			
9回	交通運輸業		交通運輸業の種類 観光交通ビジネスの特性			
10回	様々な観光産業		テーマパーク リゾート 通訳ガイド			
11回	観光と情報		観光行動と情報 観光情報の媒体			
12回	観光政策と観光行政		観光政策 観光行政			
13回	インバウンドと異文化理解		インバウンドの動向 観光と国際社会・文化の関り 異文化理解			
14回	期末試験		期末試験			
15回	期末試験のFB		まとめ 期末試験のフィードバック			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	国内観光地理			クラス	D
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本国内の自然、温泉、年中行事、寺社仏閣、史跡、世界遺産など多角的な視点で旅行地理の知識を習得する。			授業形態	講義
到達目標	観光ポイントの名前と位置、特徴について詳しく述べるができる。(旅行業務取扱管理者試験・観光地理合格)				
使用テキスト	旅行業務取扱管理者試験テキスト1 観光地理(国内・海外)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	九州沖縄エリア1	北九州・西九州ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
2回	九州沖縄エリア2	西九州・中九州ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
3回	九州沖縄エリア3	南九州・沖縄ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
4回	中国四国エリア1	山陽ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
5回	中国四国エリア2	山陰ブロック・四国ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
6回	近畿エリア1	紀伊半島ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
7回	近畿エリア2	北近畿ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
8回	発表の準備	グループワーク 観光ポイントを調べて資料を作る プレゼンテーションのリハーサルをする			
9回	発表	プレゼンテーション 他のグループのプレゼンテーションを講評する			
10回	中部エリア	東海・甲信・北陸ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
11回	関東エリア1	南関東ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
12回	関東エリア2	東京・北関東ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
13回	東北エリア	東北ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
14回	北海道エリア	北海道ブロック 観光ポイント・年中行事 温泉・名所・観光地・名産			
15回	まとめと復習	前期の復習 観光ポイントの名称・位置・特徴			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK 対策 I			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	李尚恩 / 朴潤姬			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIKの過去問、解き方を工夫して聞き取りや読解練習			授業形態	講義	
到達目標	1年次に全員がTOPIK I 合格を目指す					
使用テキスト	読みたい韓国語 初級から中級へ・レベルアップ韓国語表現(朝日出版社)					
成績評価方法	期末試験50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
2回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
3回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
4回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
5回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
6回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
7回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
8回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
9回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
10回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
11回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
12回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
13回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
14回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
15回	復習・期末試験		復習・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK 対策Ⅱ			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	李尚恩 / 朴潤姫			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIKの過去問、解き方を工夫して聞き取りや読解練習			授業形態	講義	
到達目標	1年次に全員がTOPIK I 合格を目指す					
使用テキスト	読みたい韓国語 初級から中級へ・レベルアップ韓国語表現(朝日出版社)					
成績評価方法	期末試験50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
2回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
3回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
4回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
5回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
6回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
7回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
8回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
9回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
10回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
11回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
12回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
13回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
14回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
15回	復習・期末試験		復習・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語文法			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の体系的な文法の基礎を理解させ、「語彙と表現」及び「文型」練習を通して文章の読み書き能力を養うように務める。			授業形態	講義	
到達目標	さまざまな文法や表現を学んで韓国語の文法を確実に身につける。					
使用テキスト	いよいよ韓国語(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	イントロダクション		母音・子音・パッチム・ハングルの読み書き練習			
2回	挨拶表現		名前を尋ねる・国を尋ねる			
3回	この人は誰ですか？		家族・指示詞・数詞(固有語)			
4回	まとめチェック I		練習問題を解く			
5回	これは何ですか？		品物・果物・助数詞			
6回	今どこに行きますか？		場所・位置と方向・動詞①			
7回	趣味は何ですか？		趣味・時			
8回	～を買いたいです。		曜日・数字(漢数字)・形容詞①			
9回	まとめチェック II		練習問題を解く			
10回	天気はどうですか？		季節・天気・形容詞②・食べ物の味			
11回	いつですか？		時刻・日付・動詞表現①			
12回	まとめチェック II		練習問題を解く			
13回	～に乗ってください。		交通・動詞②			
14回	～をするつもりですか。		動詞表現②			
15回	総まとめ		練習問題を解く・期末試験対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	英語発音演習			クラス	D-1
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	We will practice reading and discussing different topics. We will also practice pronouncing key English sounds.			授業形態	講義
到達目標	Our goal is for students to speak English in a more natural way and learn how to discuss a topic in a group.				
使用テキスト	Selected Readings (Second Edition) - Elementary by Linda Lee, Erik Gundersen & Jean Bernard - Oxford University Press				
成績評価方法	・中期と期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Course Introduction and Explanation Unit 1	Introduction and explanation of this semester's goals Unit 1 Build Vocab / Homework			
2回	Unit 1 The Most Popular Sport in the World	Pronunciation Practice Discuss Unit 1 / Learn how to scan and skim when reading Build Vocab / Homework			
3回	Unit 2 Are You a Healthy Eater?	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 2 / Learn about previewing Build Vocab / Homework			
4回	Unit 2 & Unit 4 Kiss, Bow or Shake Hands	Pronunciation Practice Discuss Unit 2 and Read Unit 4 / Practice previewing Build Vocab / Homework			
5回	Unit 4	Pronunciation Practice Discuss Unit 4 Build Vocab / Homework			
6回	Unit 5 A City Without Oil	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 5 / Learn about predicting Build Vocab / Homework			
7回	Unit 5 & Unit 7 Across the Desert	Pronunciation Practice Discuss Unit 5 / Read Unit 7 / Practice predicting Build Vocab / Homework			
8回	Unit 7 中期試験	Discuss Unit 7 Test about the chapters we did. Be prepared to share your opinion about the topics.			
9回	Unit 8 Denmark Loves Bicycles	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 8 / Practice identifying main idea and details Build Vocab / Homework			
10回	Unit 8 & Unit 9 A Passion for Cooking	Pronunciation Practice Discuss Unit 8 / Read and discuss Unit 9 Build Vocab / Homework			
11回	Unit 9	Pronunciation Practice Discuss Unit 9 Build Vocab / Homework			
12回	Unit 11 A Very Able Man	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 11 / Learn how to understand context clues and make inferences. Build Vocab / Homework			
13回	Unit 12 Protecting Cultural Traditions	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 12 Build Vocab / Homework			
14回	Unit 13 Emergency in the Air	Pronunciation Practice Read and discuss Unit 13 Build Vocab / Homework			
15回	期末試験	Test about the chapters we did. Be prepared to share your opinion about the topics.			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	権京愛 / 朴潤姫			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の自然な発音とアクセントを習得させ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、韓国語の日常会話を学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	初級レベルの会話から始め、日常会話や簡単な接客案内ができる会話力を身につける。					
使用テキスト	韓国語の世界へ(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介		韓国語で自己紹介をしてみよう			
2回	丁寧表現①		「해요体」			
3回	丁寧表現②		「합니다体」			
4回	授業で使う表現		自分の意思を言う・相手の意思を聞く			
5回	聞いてみよう		聞き取り練習			
6回	買い物		物を買ってみよう			
7回	お店の紹介		行きたいお店や食べたいメニューを調べよう			
8回	注文		食べ物注文してみよう			
9回	趣味		趣味について話してみよう			
10回	尊敬表現①		目上の人との会話練習			
11回	尊敬表現②		上司との会話練習			
12回	電話表現		電話での会話練習			
13回	文化紹介		食べ物やK-POP、韓ドラなどを映像で紹介する			
14回	聞いてみよう		聞き取り練習			
15回	総まとめ		復習と期末対策			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	Grammar			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	英語の基礎文法の学び直しをし、基礎的な文法知識を習得する。 英作文のトレーニングを併せて行うことで、文法の定着を図る。			授業形態	講義	
到達目標	英語の基礎文法をしっかりと理解し、簡単な英文をスピーディーに作成できるようになる。					
使用テキスト	どンドン話すための瞬間英作文トレーニング、高校英文法をひとつひとつわかりやすく					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 自分の考えや意見を英語で表現できることの重要性を認識する。 自分のレベルを知るために英作文を書いてみる。			
2回	仮定法を使った表現		仮定法を復習し、問題を解く。 仮定法を用いた英作文トレーニングを行う。			
3回	原級を使った表現		原級の表現を理解し、問題を解く。 原級を用いた英作文トレーニングを行う。			
4回	比較級を使った表現		比較級の表現を理解し、問題を解く。 比較級の表現を用いた英作文トレーニングを行う。			
5回	最上級を使った表現		最上級の表現を理解し、問題を解く。 最上級表現を用いた英作文トレーニングを行う。			
6回	関係代名詞の用法		関係代名詞の基本を理解し、問題を解く。 関係代名詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
7回	関係代名詞(前置詞+関係代名詞)の表現		関係代名詞の基本を理解し、問題を解く。 関係代名詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
8回	関係副詞を使った表現		関係副詞の基本を理解し、問題を解く。 関係副詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
9回	接続詞を使った表現		接続詞を用いたいろいろな表現を理解し、問題を解く。 接続詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
10回	強調構文、形式主語の表現		形式主語の基本を理解し、問題を解く。 形式主語を用いた英作文トレーニングを行う。			
11回	時制の一致の表現		時制の一致を用いた表現を理解し、問題を解く。 時制の一致を理解した英作文トレーニングを行う。			
12回	疑問詞を用いた表現		疑問詞を用いた表現を理解し、問題を解く。 疑問詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
13回	総復習		これまでの英文法の復習を行う。			
14回	期末試験		期末試験の実施 理解度の確認			
15回	まとめと復習		期末試験の解説 前期の総まとめ			



対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	時事英語			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will read or listen to news about things that are happening in the world and discuss them using natural English expressions.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students the chance to learn more formal vocabulary and how to have a discussion about serious topics.					
使用テキスト	No official textbook is needed for this course. I have give you the articles that we will discuss.					
成績評価方法	・中期と期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Orientation Explanation of the Syllabus How to Summarize	Introduction and explanation of this semester's goals Students study and practice how to summarize a simple article. Vocab Sheet Explanation / Discussion Phrases 1 / First Article Homework				
2回	Article #1	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #2				
3回	Article #2	Summarize story. New Vocabulary / Discussion				
4回	Video #1	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #3				
5回	Article #3	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #4				
6回	Article #4	Summarize story. New Vocabulary / Discussion				
7回	Video #2	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Study for MidtermTest				
8回	中期テスト	Summarize and state your opinion about some articles. Discussion Phrases 2 (Homework)				
9回	Article #5	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #6				
10回	Article #6	Summarize story. New Vocabulary / Discussion				
11回	Video #3	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #7				
12回	Article #7	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Read Article #8				
13回	Article #8	Summarize story. New Vocabulary / Discussion				
14回	Video #4	Summarize story. New Vocabulary / Discussion Study for Final Test				
15回	期末試験	Summarize a video and some articles and give your opinion about them.				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC I			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。問題を数多く解き、トレーニングする。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ(1年で使ったものを継続使用する)					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1&Part5		1年の復習 Part1 Part5			
2回	Part2&Part5&7		能動態、受動態 Part2 Part5,7 単語テスト			
3回	Part3&Part6		分詞 Part3 Part6 単語テスト			
4回	Part4&Part5		時制 Part4 Part5 単語テスト			
5回	Part3&Part7		前置詞、接続詞 Part3 Part7 単語テスト			
6回	Part5&6		代名詞、関係代名詞 Part5 Part6 (長文穴埋め問題の基本戦略) 単語テスト			
7回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト			
8回	Part1,2&Part6		リスニング Part6 単語テスト			
9回	Part3,4&Part5		リスニング Part3,4&Part5 単語テスト			
10回	Part7		広告、チャット問題の攻略 Part7 単語テスト			
11回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答 単語練習			
12回	模擬テスト (リーディング)		模擬テストリーディング 解答 単語練習			
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説 単語テスト			
14回	文法総復習		これまでの文法の総復習 Part7 単語テスト			
15回	期末テスト		期末テスト(授業中に期末テストを行います)			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語でロジカルに説明するための「主張→根拠→結論」という型を繰り返し練習し定着させる			授業形態	講義&演習	
到達目標	さまざまな分野のトピックで意見を述べる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson31 趣味について【自分のこと】				
2回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson32 行ってみたい都市や国【自分のこと】				
3回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson33 将来の夢【自分のこと】				
4回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson34 インターネットは子供に良くないか【テクノロジー】				
5回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson35 ペットは飼うべきか【動物】				
6回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson36 都会は田舎より住みやすいか【社会】				
7回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson37 小学生から英語を教えることは良いか【言語・教育】				
8回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson38 高校生は積極的にアルバイトをすべきか【生活・教育】				
9回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson39 公共交通機関に優先席は必要か【社会】				
10回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson40 紙の本は電子書籍に切り替えるべきか【テクノロジー】				
11回	英検2次試験対策 トレーニング	Lesson41 準1級～3級の2次試験を想定した模擬試験				
12回	英検2次試験対策 トレーニング	Lesson42 準1級～3級の2次試験を想定した模擬試験				
13回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson43 大学に行くべきか【教育】				
14回	スピーキングアセスメント	Lesson44 スピーキングアセスメント				
15回	ロジカルスピーキング スタンダード	Lesson45 ある年齢を超えたら自動車の運転はすべきではないか【社会】				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科
科目名	英会話			クラス	C
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無
授業概要(内容)	We will practice using everyday English to make conversation and talk about different topics. We will also practice asking questions to make long conversations.			授業形態	講義
到達目標	This course's goal is to give students the language, practice and confidence to start and maintain conversations in English.				
使用テキスト	Side by Side, Book 2, Third Edition by Steven J. Molinsky and Bill Bliss				
成績評価方法	・中期と期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Orientation Syllabus Explanation Textbook	Introduction and explanation of this semester's goals Introduce the textbook and explain how we will practice speaking English Start Unit 1			
2回	Unit 1	Review of basic English tenses (present, past and future) Roleplays / Conversation Homework			
3回	Unit 1	Review of basic English tenses (present, past and future) Roleplays / Conversation Journal			
4回	Unit 2	Learning count and non-count nouns (food - whole) Roleplays / Conversation Homework			
5回	Unit 2	Learning count and non-count nouns (food - whole) Roleplays / Conversation Journal			
6回	Unit 3	Learning count and non-count nouns (portions) Roleplays / Conversation Homework			
7回	Unit 3	Learning count and non-count nouns (portions) Roleplays / Conversation Journal			
8回	中期テスト	Units 1 - 3 Writing and Speaking			
9回	Unit 4	Talking about the Future and Possibilities Roleplays / Conversation Homework			
10回	Unit 4	Talking about the Future and Possibilities Roleplays / Conversation Journal			
11回	Unit 5	Comparatives - Comparing 2 things. Roleplays / Conversation Homework			
12回	Unit 5	Comparatives - Comparing 2 things. Roleplays / Conversation Journal			
13回	Unit 6	Superlatives - Comparing 3 or more things. Roleplays / Conversation Homework			
14回	Unit 6	Superlatives - Comparing 3 or more things. Roleplays / Conversation Journal			
15回	期末試験	Units 4 - 6 Writing and Speaking			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	コンピュータMOS			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	MOS Word 365&2019 Expert試験合格に向け、対策テキスト&問題集を操作しながら、パソコンスキルを身につける			授業形態	実技	
到達目標	MOS Word 365&2019 Expert試験					
使用テキスト	よくわかるマスターMOS Word 365 & 2019Expert 対策テキスト&問題集 (FOM出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション (MOS検定)		・学習スケジュールの説明 ・MOS Word 365&2019 Expertに求められるスキルについて、一般の復習テスト、予習について ・テキスト: 出題範囲1 文章のオプションを設定の管理			
2回	高度な編集機能や書式設定の利用		・テキスト: 出題範囲2 2-1~2-3 文章のコンテンツを検索、置換、貼り付け 段落レイアウトのオプション、スタイル設定			
3回	ユーザー設定のドキュメント要素の作成①		・テキスト: 出題範囲3 3-1、3-2 文章パーツを作成、変更、ユーザー設定のデザイン要素作成 確認問題			
4回	ユーザー設定のドキュメント要素の作成②		・テキスト: 出題範囲3 3-3、3-4 牽引を作成、管理、図表一覧を作成 確認問題			
5回	実力テスト		出題範囲1~3の実力テストを実施 自分の弱点を再学習する為に実力テストを実施します。			
6回	高度なWord機能を利用		・テキスト: 出題範囲4 4-1~4-3 フォーム、フィールド、コントロールを管理、マクロ作成、差込文書作成 復習問題			
7回	実力テスト		出題範囲4の実力テストを実施 自分の弱点を再学習する為に実力テストを実施します。			
8回	復習学習		出題範囲1~4で苦手な所を復習 各自どこができないかをリスト化し、重点的に学習			
9回	模擬試験①		実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習			
10回	模擬試験②		実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習			
11回	模擬試験③		実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習			
12回	模擬試験④		実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習			
13回	模擬試験⑤		実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習			
14回	期末試験		成績評価として使用します。			
15回	試験当日の心構え		申し込み用紙記入、日程確認、試験注意点確認			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	就職活動講座			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	岩切 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	全員内定を目指す。					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート					
成績評価方法	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み、特技・趣味) 現在の志望状況と就職活動状況の確認				
2回	自己PR・志望動機	自己PR志望動機の見直し 発表→フィードバック				
3回	模擬面接① 面接の印象力・身だしなみ	面接の印象力・身だしなみについて グループ面接(入室～自己PRまで) フィードバック				
4回	模擬面接②	グループ面接(入室・基本パターン) フィードバック				
	模擬面接③	グループ面接(応用) フィードバック				
6回	就職活動報告会	就職活動報告と今後のスケジュール				
7回	模擬面接④	グループ面接(応用) フィードバック				
8回	内定者報告会	面接シチュエーション及び内容の共有				
9回	模擬面接⑤	グループ面接(応用) ※内定者については、入社に向けての課題準備				
10回	未内定者対策	グループ面接(個人・グループ) →内定者面接官・フィードバック ※内定者については、入社に向けての課題準備				
11回	未内定者対策	グループ面接(個人・グループ) →内定者面接官・フィードバック ※内定者については、入社に向けての課題準備				
12回	未内定者対策	グループ面接(個人・グループ) →内定者面接官・フィードバック ※内定者については、入社に向けての課題準備				
13回	未内定者対策	グループ面接(個人・グループ) →内定者面接官・フィードバック ※内定者については、入社に向けての課題準備				
14回	未内定者対策	グループ面接(個人・グループ) →内定者面接官・フィードバック ※内定者については、入社に向けての課題準備				
15回	新社会人に向けて	新社会人に向けての決意発表 入社までの学校生活の送り方				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	ITパスポート講座			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	山中 勇輔			実務経験	無	
授業概要(内容)	ITパスポート試験に合格するために必要な知識と理解を深める			授業形態	講義	
到達目標	ITパスポート試験の合格					
使用テキスト	よくわかるマスター令和4-5年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 かんたん合格ITパスポート教科書(インプレス)					
成績評価方法	最終回試験で70%。平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	試験概要と企業活動	ITパスポート試験が何のためにあって、どのようなメリットがあるのかを理解する。 企業とは何か、経営とは何かを理解し、問題解決のための方法を身につける。 業務分析と業務計画の理解、経営および業務に必要なツールおよびグラフを理解する。				
2回	企業法務	知的財産権(著作権・産業財産権・その他の権利)を理解する。 セキュリティ・労働関連法規を理解する。 その他の法律(個人情報保護、コーポレートガバナンス)や標準化を理解する。				
3回	経営戦略マネジメント	経営戦略の概略、SWOT分析、経営戦略に必要な専門用語を理解する。 事業戦略に必要な専門用語を理解する。				
4回	技術戦略マネジメント	技術開発の手法、目的、用語を理解する。 世の中のビジネスシステムに使われている技術、機械学習(AI含む)を学ぶ。 製造現場でのエンジニアリング、生産方式、生産管理、IT取引の変革を学ぶ。				
5回	システム戦略	情報システム戦略の立て方、業務プロセス改善の方法を学ぶ。 ソリューションビジネスとは何かを理解する。				
6回	開発技術	ハードウェアとソフトウェアの違いを理解する。 システム開発技術として必要なフローとアクションを理解する。 世の中のさまざまな開発モデルを理解する。				
7回	プロジェクトマネジメント	制約条件、PMBOKを理解する。 プロジェクトマネジメントの手法、種類、それぞれの手法の役割を理解する。				
8回	サービスマネジメントとシステム監査	サービスマネジメント・サービスサポートの目的、役割を理解する。 経営管理における設備のマネジメントの意味を理解する。 システム監査とは何かを理解する。				
9回	基礎理論とアルゴリズム	数値の数え方、変換方法、集合と論理演算を身につける。 データ構造、アルゴリズム等を理解する。 プログラミング、関数、変数、選択処理を理解する。				
10回	コンピュータシステム・ハードウェア	ハードウェアとソフトウェアの分類を理解する。 サーバシステム、システム構成、システムの評価指標を理解する。 コンピュータの種類、役割、機能、入出力について理解する。				
11回	ソフトウェア・データベース	OS、マルチタスク、データ管理、ファイルシステム、バックアップの理解を深める。 アプリケーションソフトウエ、情報デザインの理解を深める。 データベースの設計、管理、SQLの理解を深める。				
12回	ネットワーク	LANとWANの違い、ネットワーク機器、伝送効率などを理解する。 インターネットの仕組み、IPアドレス、DHCP、インターネットサービスを理解する。 ネットワークの専門用語を理解する。				
13回	情報セキュリティ(1)	情報セキュリティの脅威、リスクマネジメントを理解する 情報セキュリティマネジメントの必要性、重要性を理解する。 ISMSの内容とその手続き、運用ポリシーを理解する。				
14回	情報セキュリティ(2)	暗号技術やデジタル署名について理解する。 セキュリティ対策について理解する。				
15回	試験対策と質疑応答	60分の試験実施 ITパスポート試験傾向講義と質疑応答				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC II			クラス	C1	
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOEICのリスニングを主とし、問題形式に慣れ、総合的なリスニング力をつける。 TOEIC頻出の表現を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	各自のTOEIC目標スコアを達成する。					
使用テキスト	公式TOEIC Listening&Reading トレーニング リスニング編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 公式問題集を解く。			
2回	Section1		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
3回	Section2		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
4回	Section3		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
5回	Section4		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
6回	Section5		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
7回	Section6		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
8回	Section7		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
9回	Section8		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
10回	Section9		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
11回	Section10		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
12回	リーディング		リーディング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施			
13回	復習		これまでのリスニングの総復習 語彙・文法・語法の確認			
14回	期末試験		期末試験 理解度の確認			
15回	まとめと復習		期末試験の解説 前期の総復習			



対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK対策 I			クラス	C2	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIKの過去問、解き方を工夫して聞き取りや読解練習			授業形態	講義	
到達目標	TOPIK2で中級に合格					
使用テキスト	今知りたい韓国を読む(朝日出版社)					
成績評価方法	期末試験50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
2回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
3回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
4回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
5回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
6回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
7回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
8回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
9回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
10回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
11回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
12回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
13回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
14回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
15回	期末試験		復習・期末試験			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	ビジネス英語			クラス	C-1	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will look at how to interact with people at work face-to-face and by e-mail. We will do role plays, listening practice and build business vocabulary.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students the language, practice and confidence interact with co-workers, customers at work.					
使用テキスト	Business Venture - (Student Book) by Roger Bernard and Jeff Cady - Oxford University Press					
成績評価方法	・中期と期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Course Introduction and Explanation Introduction to	Introduction and explanation of this semester's goals Introducing the basic elements of business e-mail writing. Practice writing a business e-mail.				
2回	Unit 1 Checking In	Checking in at a Hotel Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a reservation.				
3回	Unit 2 At a Trade Fair	Practice asking for information at a trade fair. Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a trade fair experience.				
4回	Unit 3 Schedules	Asking about meeting and practicing saying the time. Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about schedules.				
5回	Unit 4 Companies	Learn about companies and their products. Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about companies				
6回	Unit 5 Meeting People	Learn how to introduce yourself and other people and talking about travelling by air Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about people you met.				
7回	Unit 6 In the Office	Building vocabulary for office furniture and tools Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a reservation.				
8回	中期テスト	Roleplay and Written Test Test Review and Feedback				
9回	Unit 7 Work	Learn about duties in the office and the different jobs Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a jobs and duties				
10回	Unit 8 Appointments	Learn how to to make an appointment and saying dates Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about an appointment.				
11回	Unit 9 Directions and Shopping	Asking for and giving directions and talking about money Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about shopping and money.				
12回	Unit 10 Reservations	Learn to make hotel, car and restaurant reservations. Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a reservation.				
13回	Unit 11 Requests and Offers	Learn how to ask people to do something and offer to do something for others. Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a request or an offer.				
14回	Unit 12 Socializing	Practice interacting with co-workers and customers appropriately Learn phrases, practice listening and do role plays Write e-mail about a social event.				
15回	期末試験	Roleplay and Written Test Test Review and Feedback				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	C2	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	1年で学んだ知識を基に、より自然な会話ができるよう、よく使われる文型や表現を取り入れ、韓国語会話のステップアップに役立つように務める。			授業形態	講義	
到達目標	さらに会話レベルをあげていく。長い文章が言えるようになっていく。					
使用テキスト	楽しく学べる韓国語2(白水社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	1課	[最近ハマっていること]について話してみよう				
2回	2課	[理由]を言ってみよう				
3回	3課	[推測]について話してみよう				
4回	4課	[意外だったこと]について話してみよう				
5回	5課	[経験について]話してみよう				
6回	6課	[過去のことについて]話してみよう				
7回	7課	[これからのことについて]話してみよう				
8回	8課	[婉曲的]に言ってみよう				
9回	9課	[最近始めたこと]について話してみよう				
10回	10課	[発見したこと]について話してみよう				
11回	11課	[変化について]話してみよう				
12回	12課	[失敗したこと]について話してみよう				
13回	13課	[時間の経過]について話してみよう				
14回	14課	韓国語で日記や履歴書を書いてみよう				
15回	復習・期末対策	復習・期末対策				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	英語で日本文化紹介			クラス	C1	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	Students will use role plays to demonstrate to how to do things related to different parts of Japanese culture. They will make vlogs (video blogs) of these demonstrations.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to demonstrate and explain Japanese culture in English.					
使用テキスト	No official textbook is needed for this course but we will be using computers or smartphones.					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Course Introduction and Explanation	Warm-Up Introduce the idea of the course and its goals and explanation of the class and how it will be conducted.				
2回	Useful Japanese Language	Basic phrases used when explaining, listing and demonstrating. Review of basic phrases used when explaining, listing and demonstrating. Basic phrases used in everyday conversations.Start preparing vlog explaining and demonstrating Japanese language.				
3回	Useful Japanese Language	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
4回	Japanese Food	Introduce some popular food that foreigners usually like or want to try. Learn relevant vocabulary Start preparing vlog explaining about Japanese food and etiquette.				
5回	Japanese Food	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
6回	Japanese Festivals	Introduce 2 famous and popular festivals in Japan and relevant phrases associated with them. Explain what is done at these festivals and why? Start preparing vlog explaining and demonstrating Japanese festivals.				
7回	Japanese Festivals	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
8回	Japanese Holidays	Introduce and explain about 2 Japanese holidays. Vocabulary associated with them. Start preparing vlog explaining about Japanese holidays				
9回	Japanese Holidays	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
10回	Japanese Art & Music	Introduce 2 Japanese artform (for example, calligraphy, painting, pottery, kabuki, bon odori etc.) Vocabulary associated with it. Start preparing vlog explaining about Japanese art and music.				
11回	Japanese Art & Music	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
12回	Japanese Pop Culture	Introduce 2 aspects of Japanese pop culture such as anime, manga, J-Pop, K-pop and Korean dramas. Relevant vocabulary and phrases. Start preparing vlog explaining about Japanese pop culture.				
13回	Japanese Pop Culture	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				
14回	Japanese Sports and Recreation	Introduce 1 sport and 1 recreational activity that's popular in Japan Relevant vocabulary and phrases. Start preparing vlog explaining about Japanese sports and recreational activities.				
15回	Japanese Sports and Recreation	Finish preparing script for vlog Practice the role plays. Record vlogs.				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国文化研究			クラス	C②	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国の歴史、伝統、習慣、社会、文化、政治など全ての分野を理解し、韓国と外国の文化的特性と違いを理解する。			授業形態	講義	
到達目標	韓国語及び韓国の文化への理解を深め、より国際的な眼目を養う。韓国の文化や社会などの教養を涵養し、異文化とは何かその一面を理解する。					
使用テキスト	ワイワイ話そう中級韓国語					
成績評価方法	平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	취미생활		나의 취미생활 발표 한국 사람들의 취미			
2回	좋아하는 TV, 영화		한국영화 감상 감상소감 발표			
3回	내가 잘하는 것		나의 장점을 한국어로 발표			
4回	한국의 연휴		한국의 중요 연휴			
5回	추억여행		추억여행과 한국여행에 대해서			
6回	한국의 음식		한국의 식사			
7回	동네 소개하기		한국의 거리와 일본의 거리			
8回	아르바이트하기		아르바이트에 한국사람이 왔을 때			
9回	친구사귀기		한국친구 사귀기			
10回	추석		추석에 대해서			
11回	한국의 정치		일본정치와의 구조 비교			
12回	추천하고 싶은 물건		일본의 추천하고 싶은 물건 소개			
13回	패션		한국과일본의 다양한 패션			
14回	교통		한국의 교통에 대해서			
15回	나의 꿈		나의 꿈			



# 夜間総合観光

学年	科目名
1	マナープロトコール
1	就職対策
1	観光業界研究
1	筆記試験対策
1	観光地理
1	危険物取扱者
2	観光マーケティング
2	観光地理
2	英会話
2	筆記試験対策
2	面接対策

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	マナープロトコール			クラス	Y選択	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(国際儀礼・文化)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	国際人としての一般知識を身に着ける					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	マナーとは何か	マナー、エチケット、礼儀、作法の違いやプロトコールを学ぶ意義 新入社員としての多様性の事態のマナーについて				
2回	マナーの歴史と意味	日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴				
3回	マナーの歴史と意味	日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴				
4回	国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション				
5回	国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション				
6回	社会人として必要なマナー	好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー				
7回	社会人として必要なマナー	好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー				
8回	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応				
9回	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応				
10回	食事のマナー	食事の作法の基準 和食のマナー 和室の作法				
11回	お酒のマナー	お酒の種類 ワインの基礎知識 その他のお酒				
12回	国際儀礼について	国際人としての振る舞いについて				
13回	国際儀礼について	主要国の文化の違い				
14回	国際儀礼について	宗教における風習の違い				
15回	まとめ	新入社員として、必要なマナーを習得する				



対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)				
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間				
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？				
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ				
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える				
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き				
7回	自己PR	自己PRの作り方				
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)				
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
10回	質問事例	職業観についての質問				
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習				
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方				
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成				
15回	まとめ	履歴書完成				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	観光業界研究			クラス	Y
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義			授業形態	講義
到達目標	旅行・エアラインの基礎知識を習得する				
使用テキスト	国内カウンター販売 JTB総合研究所				
成績評価方法	【旅行】確認テスト実施(70%)+平常点(小テスト含む)(30%) / 【エアライン】確認テスト実施(80%)+平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	旅行①	旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義			
2回	旅行②	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について			
3回	旅行③	基礎知識① <鉄道> JRとは？JR各社と路線(新幹線・在来線特急)、営業規則を確認 JR時刻表の使い方			
4回	旅行④	基礎知識② <航空> 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認			
5回	旅行⑤	基礎知識③ <フェリー・バス> 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認			
6回	旅行⑥	旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践			
7回	旅行⑦	添乗業務/業務の流れ(準備・添乗・精算)、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践			
8回	確認テスト	確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り			
9回	エアラインビジネス	航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱い能力について学ぶ			
10回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ			
11回	空港業務の概要	空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ			
12回	航空業界の仕事	JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ			
13回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ			
14回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ			
15回	確認テスト	航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	筆記試験対策			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無	
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのがSPIと玉手箱です。SPI・玉手箱を学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI・玉手箱の能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りたいです。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。					
使用テキスト	就職筆記試験対策問題集(ウィネット)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション・基礎事項	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推論し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。				
2回	鶴亀算 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。				
3回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いかけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。				
4回	速さ・時間・距離 2 旅人算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、1.7km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。				
5回	食塩水の濃度 1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだだと思います。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水の濃度は何%?				
6回	食塩水の濃度 2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだだと思います。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮詰めて、蒸発するのは水だけがポイント				
7回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思えます。				
8回	確率 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?				
9回	順列 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ $n$ は全体の数字 $r$ は $n$ 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とさせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません				
10回	組み合わせ Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC~CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。				
11回	仕事算	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量 = $1 \div$ かかった日数(時数分数秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとても多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=allの意味に使われています。詳しくは講義の中で。				
12回	国語 二語の関係 1	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係①類似語関係(熟読・通読・精読・啓発・啓蒙・開発、歴然・当然・泰然・明白、性急・短慮・緊急・短気) 反対語関係(理論・実技・実践・実態、挫折・努力・貫徹・絶望、多弁・能弁・毒舌・寡黙)				
13回	国語 二語の関係 2	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係②原料と製品 人とその役目 原因と結果 対義語 目的と手段 など				
14回	難しい漢字 誤用の語句	プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 違いやすい漢字の意味、読み方、書き方(やぶさかでない ぞっとしない 気が置けない等)				
15回	前期数学国語分野の復習	前期復習 数学分野(各公式の確認) 特に確率 順列 組み合わせ 時間と速さの関係 国語 二語の関係性など				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	観光業界で働く上で知っておくべき地理知識を学ぶ 旅行の案内や販売に役立つ知識を学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	地方ごとの主な観光地、観光施設を知る。旅行プランを立てることが出来るようになる。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験50% 提出物50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	47都道府県の確認		P1 全国図			
2回	九州・沖縄地方		P8 九州・沖縄地方 地図 P49 福岡県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
3回	九州・沖縄地方		P51 長崎県 P55 鹿児島県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
4回	中国・四国地方		P7 中国四国地方 地図 P41 広島県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
5回	中国・四国地方		JR 私鉄 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
6回	関西地方		P6 関西地方 地図 P38 大阪府 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
7回	関西地方		P39 兵庫県 P35 京都府 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
8回	関西地方		航空 P36 奈良県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
9回	中部地方		P5 中部地方 地図 P28 愛知県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
10回	中部地方		P26 長野県 P31 石川県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
11回	関東地方		P4 関東地方 地図 P22 東京都 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
12回	関東地方		P23 神奈川県 P22 栃木県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
13回	東北地方		P3 東北地方 地図 P15 宮城県 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
14回	北海道		P2 北海道地方 地図 P10 北海道 主な観光地、山、川、温泉、入場施設、郷土料理、土産			
15回	期末試験		期末試験			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	危険物			クラス	Y選択
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	危険物取扱者(丙種合格)に向けて対策 空港における危険物資格の重要性の理解			授業形態	講義
到達目標	航空業界に必要な危険物知識習得				
使用テキスト	丙種 危険物取扱者試験 絶対合格 弘文社				
成績評価方法	確認テスト実施(80%)＋平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	法令知識について	物質の三態 気体の性質 熱			
2回	法令知識について	電気 物質の変化 科学の一般方式			
3回	燃焼の原理について	臨界温度・臨界圧力 静電気と科学			
4回	燃焼の原理について	丙種D勉強した部分で、丙種の出タイ範囲のおさらい 危険物概論			
5回	燃焼の原理について	臨界温度・臨界圧力 静電気と科学			
6回	基礎的な物理・化学	臨界温度・臨界圧力 静電気と科学			
7回	基礎的な物理・化学	丙種D勉強した部分で、丙種の出タイ範囲のおさらい 危険物概論			
8回	基礎的な物理・化学	丙種D勉強した部分で、丙種の出タイ範囲のおさらい 危険物概論			
9回	基礎的な物理・化学	丙種D勉強した部分で、丙種の出タイ範囲のおさらい 危険物概論			
10回	過去問題	過去問題の勉強により出題傾向を理解する。			
11回	過去問題	過去問題の勉強により出題傾向を理解する。			
12回	過去問題	過去問題の勉強により出題傾向を理解する。			
13回	過去問題	過去問題の勉強により出題傾向を理解する。			
14回	過去問題	過去問題の勉強により出題傾向を理解する。			
15回	まとめ	過去の出題傾向の確認			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光マーケティング			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義・説明に加え、学生自身で考え発表することを繰り返すことで、接客サービスやトラブル、社内でのコミュニケーション力を高める訓練をする。			授業形態	講義	
到達目標	希望職種の研究をし、現状と課題を自分の言葉で発表できるようになる					
使用テキスト	観光学基礎(JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ガイダンス		自己紹介、講義概要説明 進路希望調査			
2回	現代社会と観光①		観光が人間にもたらす効果 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
3回	現代社会と観光②		観光が企業にもたらす効果 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
4回	現代社会と観光③		観光が地域にもたらす効果と影響 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
5回	観光に関わる言葉①		旅と旅行、観光 業種研究 一般常識(諺・四字熟語)			
6回	観光に関わる言葉②		余暇(レジャー)とレクリエーション 業種研究 一般常識(諺・四字熟語)			
7回	観光に関わる言葉③		ホスピタリティ 業種研究 一般常識(諺・四字熟語)			
8回	観光を構成する要素		観光を構成する要素 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
9回	観光事業の意味と仕組み		観光事業の意味と仕組み グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
10回	観光資源と観光対象		観光資源と観光対象 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
11回	観光対象の特徴		観光対象の特徴 個人研究発表準備 一般常識(諺・四字熟語)			
12回	観光産業の定義と種類		観光産業の定義と種類 個人研究発表準備 一般常識(諺・四字熟語)			
13回	観光産業 ・観光ビジネスの特徴		観光産業・観光ビジネスの特徴 個人研究発表準備 一般常識(諺・四字熟語)			
14回	期末試験		まとめ 期末試験			
15回	期末試験のFB		期末試験のFB			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義	
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	九州の概要説明		九州各県の経済、特徴について説明			
2回	福岡県(観光、空港情報)		九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
3回	佐賀県(観光、空港情報)		有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
4回	長崎県(観光、空港情報)		南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
5回	大分県(観光、空港情報)		日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
6回	熊本県(観光、空港情報)		阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
7回	宮崎県(観光、空港情報)		高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
8回	鹿児島県(観光、空港情報)		幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
9回	沖縄県(観光、空港情報)		沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
10回	広島県(観光、空港情報)		世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
11回	兵庫県(観光、空港情報)		世界遺産姫路城について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
12回	香川県(観光、空港情報)		金毘羅さんなどの観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
13回	高知県(観光、空港情報)		よさこい祭りの歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	愛媛県(観光、空港情報)		道後温泉など観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
15回	まとめ		まとめ 期末試験について			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光学科	
科目名	英会話			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活で使う語彙や定番表現をはじめ、観光業界に必要な接客フレーズを学習し、訪日外国人観光客へ応対できる会話力を身につける。			授業形態	講義	
到達目標	よく使う表現をしっかりと覚え、スムーズに会話できるようになる。					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・スピーキングテスト70%(前半35%、後半35%) 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2	
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的・内容・成績評価方法の説明 ウォームアップ: 日本語と英語の違いを知ろう。挨拶のフレーズ				
2回	場所と時間①	売り場の場所や営業時間をこたえる 単語・語句を学習し、場所や時間を正しく案内できるようになる リスニング&スピーキング				
3回	場所と時間② 道案内	前回の復習&今日の一言フレーズ ロールプレイ: ロールプレイをしながら、実際に質問したり、質問に答える練習をする 表現の復習				
4回	会計案内①	金額提示や支払方法を案内する 今日の一言フレーズ 単語・語句を学習し、数字や金額の言い方、支払方法を正しく案内できるようになる リスニング&スピーキング				
5回	会計案内②	前回の復習&今日の一言フレーズ ロールプレイ: ロールプレイをしながら、実際に質問したり、質問に答える練習をする 表現の復習				
6回	飲食店①	注文を受ける、席の予約を受ける 今日の一言フレーズ 単語・語句を学習し、注文や予約、料理を説明するなどリクエストに正しく案内できるようになる リスニング&スピーキング				
7回	飲食店②	前回の復習&今日の一言フレーズ ロールプレイ: ロールプレイをしながら、実際に質問したり、質問に答える練習をする 表現の復習				
8回	スピーキングテスト	前半の確認テスト 場所と時間、会計、飲食店で使用するフレーズ ストーリーを考え、会話文を作成し、ロールプレイ形式で発表する				
9回	スピーキングテスト	前半の確認テスト 場所と時間、会計、飲食店で使用するフレーズ ストーリーを考え、会話文を作成し、ロールプレイ形式で発表する				
10回	交通機関①	バス、電車、タクシーなどの交通機関・切符の購入方法を案内する 今日の一言フレーズ 単語・語句を学習し、行先までの行き方や料金を案内できるようになる リスニング&スピーキング				
11回	交通機関②	前回の復習&今日の一言フレーズ ロールプレイ: ロールプレイをしながら、実際に質問したり、質問に答える練習をする 表現の復習				
12回	まちかど①	観光名所を案内する 今日の一言フレーズ 単語・語句を学習し、観光名所や土地の名物をお勧めしたり案内できるようになる リスニング&スピーキング				
13回	まちかど②	前回の復習&今日の一言フレーズ ロールプレイ: ロールプレイをしながら、実際に質問したり、質問に答える練習をする 表現の復習				
14回	スピーキングテスト	後半の確認テスト 交通機関、まちかどで使用するフレーズ ストーリーを考え、会話文を作成し、ロールプレイ形式で発表する				
15回	スピーキングテスト	後半の確認テスト 交通機関、まちかどで使用するフレーズ ストーリーを考え、会話文を作成し、ロールプレイ形式で発表する				



対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	筆記試験対策			クラス	Z
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのがSPIと玉手箱です。SPI・玉手箱を学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI・玉手箱の能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張ります。			授業形態	講義
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	表の読み取り	統計資料 (日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)			
2回	表の読み取り	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)			
3回	テストセンター推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
4回	テストセンター推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント			
5回	テストセンター推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
6回	テキストP234～249 40 41 42 43 講	同意語 対義語 二語の関係性の基本問題他			
7回	テキストP250～261 44 45 46 講	文法問題 敬語問題 ことわざ 慣用句の問題 漢字検定準2級問題SPI類似問題			
8回	テキストP262～279 47 48 49 講	文章構成 文章整序 長文問題 漢字検定準2級問題SPI類似問題			
9回	Webテスト①	熟語の成り立ち 文章の整序 問題 社会 一般常識			
10回	Webテスト②	空欄補充 長文の読解 問題 社会 一般常識			
11回	Webテスト③	空欄補充 長文の読解 総合問題の過去問			
12回	玉手箱	四則逆算 整数の計算 小数と%の計算 分数の計算 □がある計算(1次方程式)			
13回	玉手箱 C-GAB	GAB計数 統計表の読み取り 円グラフ 折れ線グラフ 棒グラフ			
14回	テストセンター 英語 1年次の続き ①	反意語 空欄補充 言葉の説明 和文英訳			
15回	テストセンター 英語 1年次の続き ②	反意語 空欄補充 言葉の説明 和文英訳			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科
科目名	面接対策			クラス	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	それぞれの進路目標に沿って受験準備を進める。			授業形態	講義
到達目標	志望企業への内定。				
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト				
成績評価方法	・授業態度、提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	新着求人案内～スケジュール確認 最終模擬面接に向けて			
2回	模擬面接①	新着求人案内～スケジュール確認 最終模擬面接の振り返り			
3回	模擬面接②	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】就職活動の振り返り 作文(800文字)課題① 【未内定者】P149 その他の質問①			
4回	模擬面接③	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】企業研究シート～内定(課題⑤) 【未内定者】P149 その他の質問②			
5回	模擬面接④	新着求人案内～スケジュール確認、 【内定者】企業研究シート～その他企業(課題⑤) 【未内定者】P149 その他の質問③			
6回	就職活動報告会	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】P149 その他の質問④			
7回	模擬面接⑥	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】P149 その他の質問⑤			
8回	内定者報告会	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】P149 その他の質問⑥			
9回	模擬面接⑦	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
10回	未内定者対策	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
11回	未内定者対策	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
12回	未内定者対策	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
13回	未内定者対策	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
14回	未内定者対策	新着求人案内～スケジュール確認 【内定者】自己設定課題 【未内定者】面接練習			
15回	新社会人に向けて	提出課題 【内定者】「就職活動を振り返って」(課題①)企業研究～2社(課題②)、その他自己設定課題(課題③)ノート提出) 【未内定者】課題プリント①～⑥(課題①)、「就職活動を振り返って」(課題②)企業研究～2社以上(課題③)			